

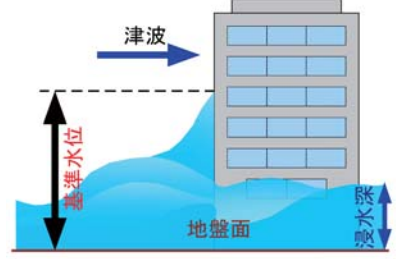
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

#### 【背景地図】

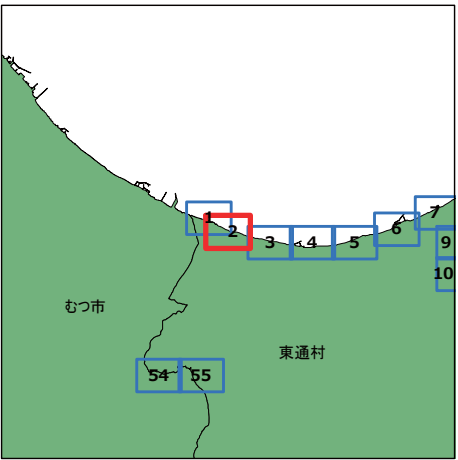
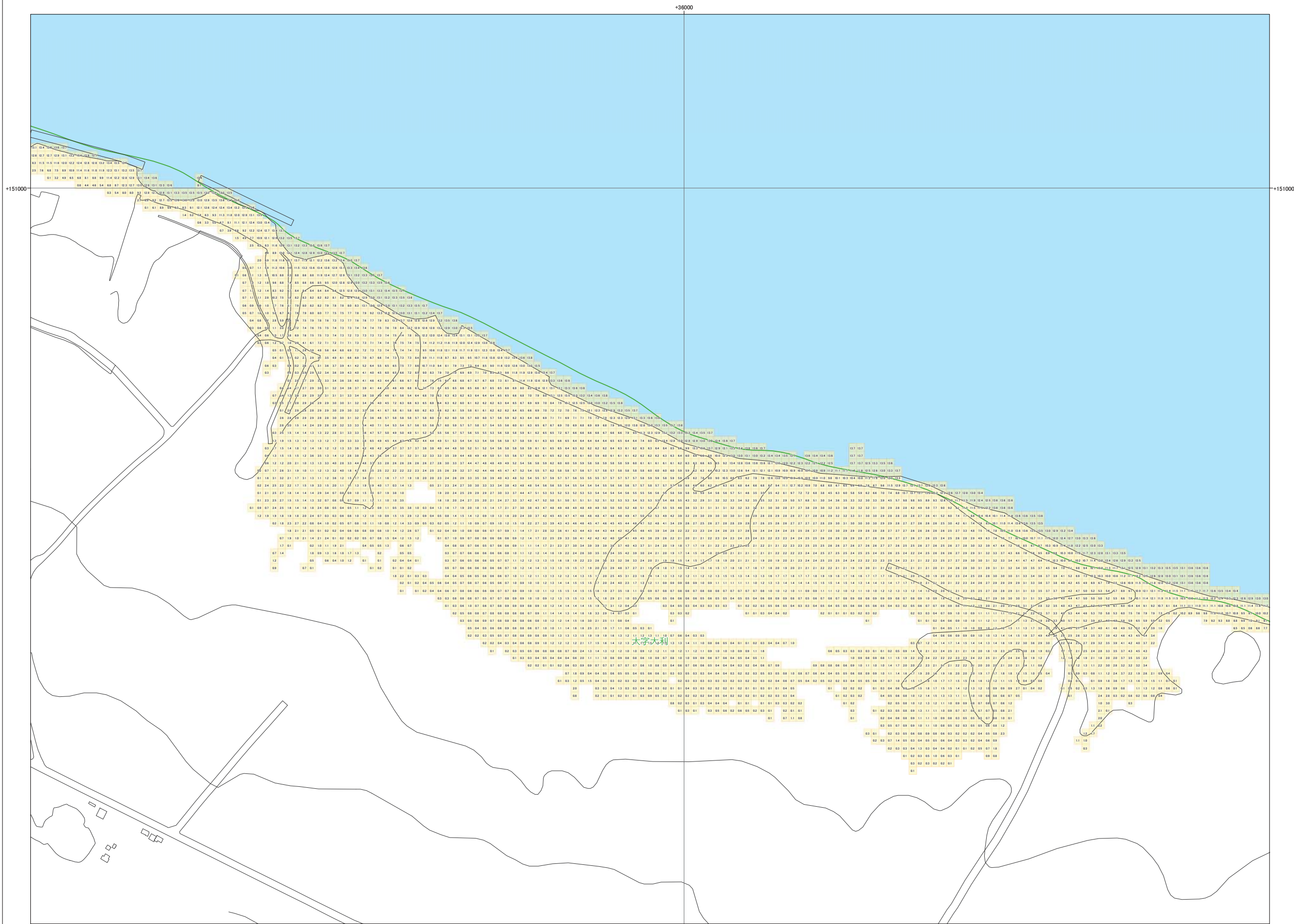
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	1 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



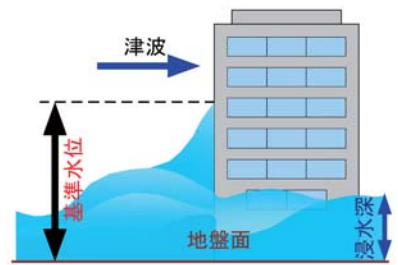
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

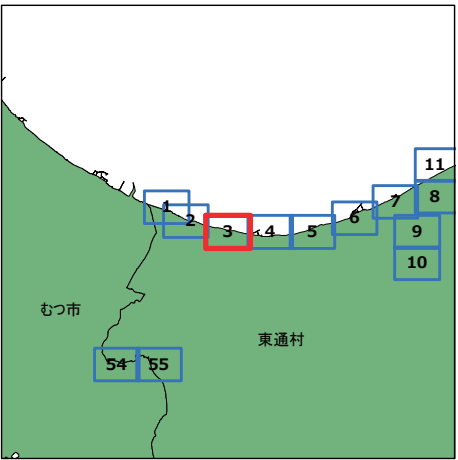
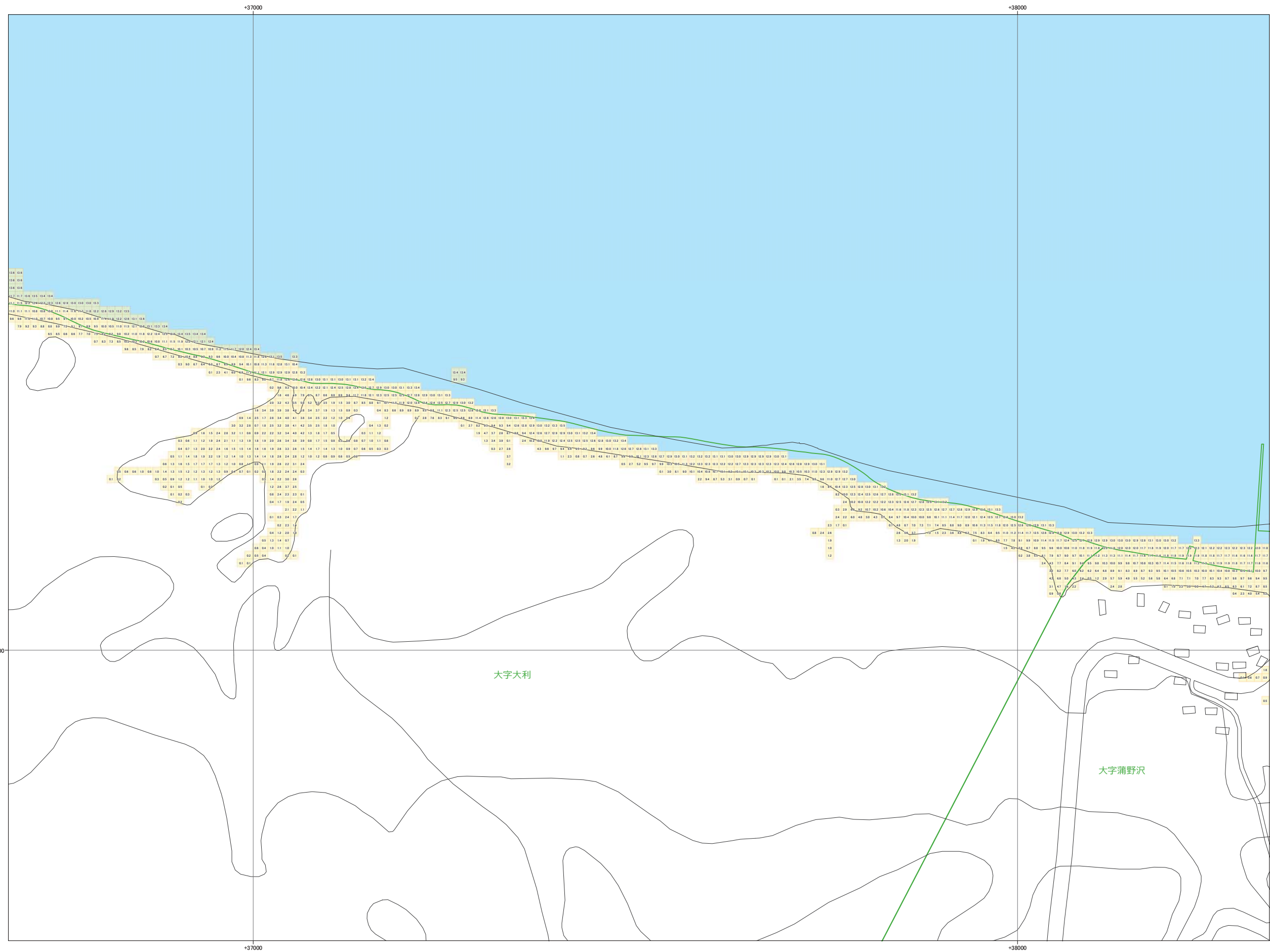
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	2 / 55	町丁・字等境界	
	縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	市町村界	



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



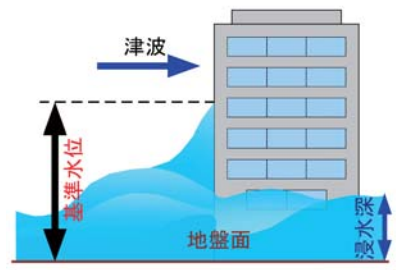
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

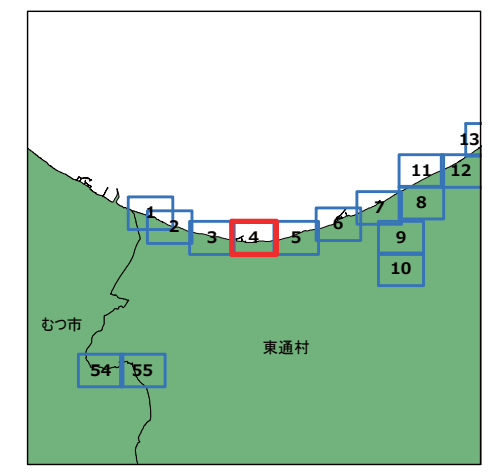
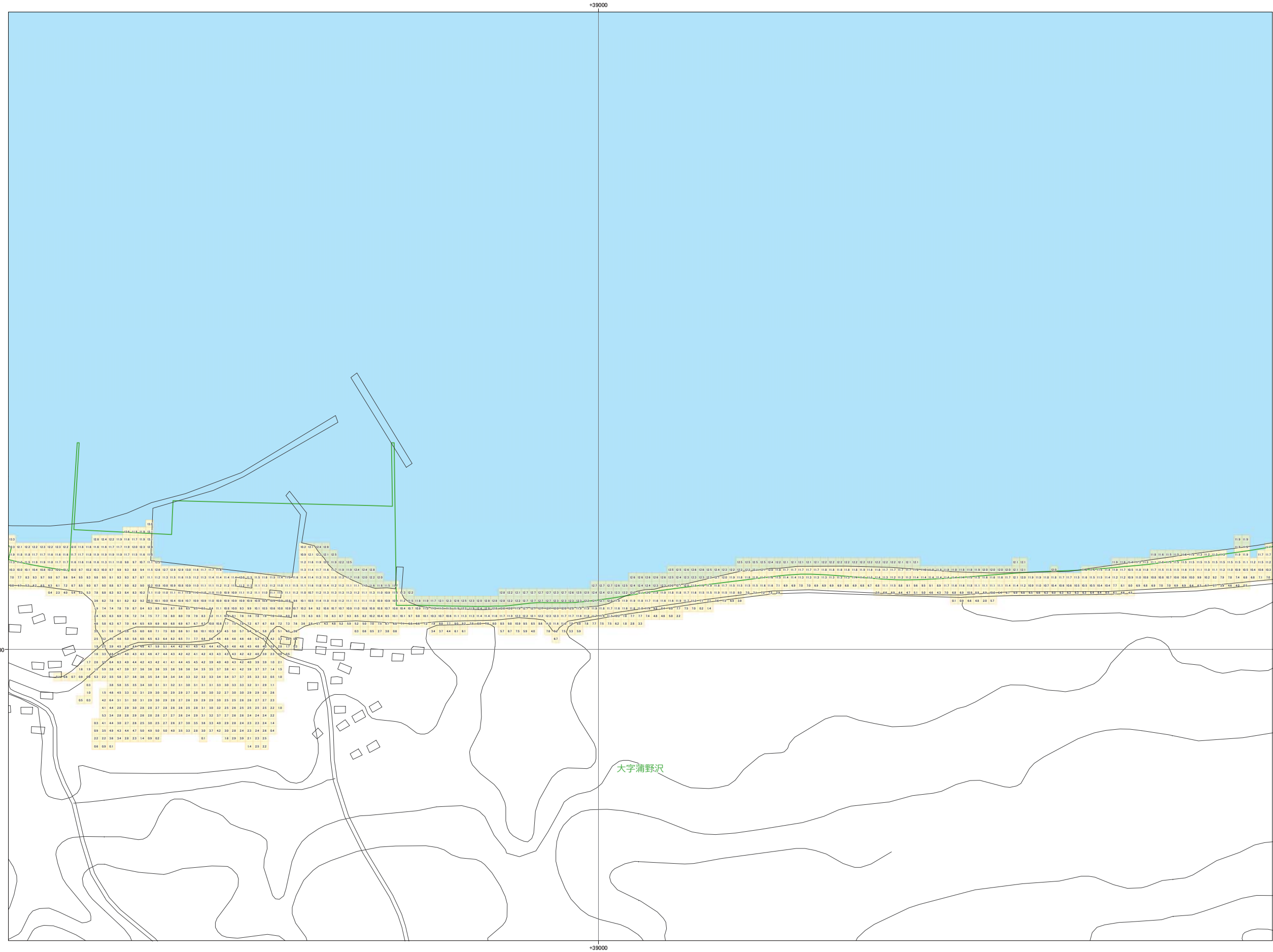
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	3 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出 典 等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



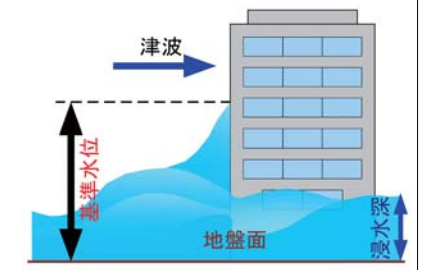
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

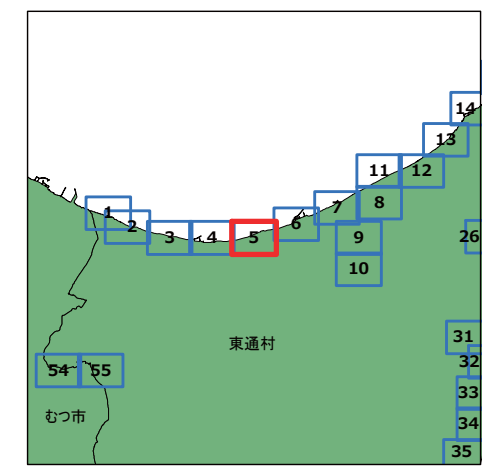
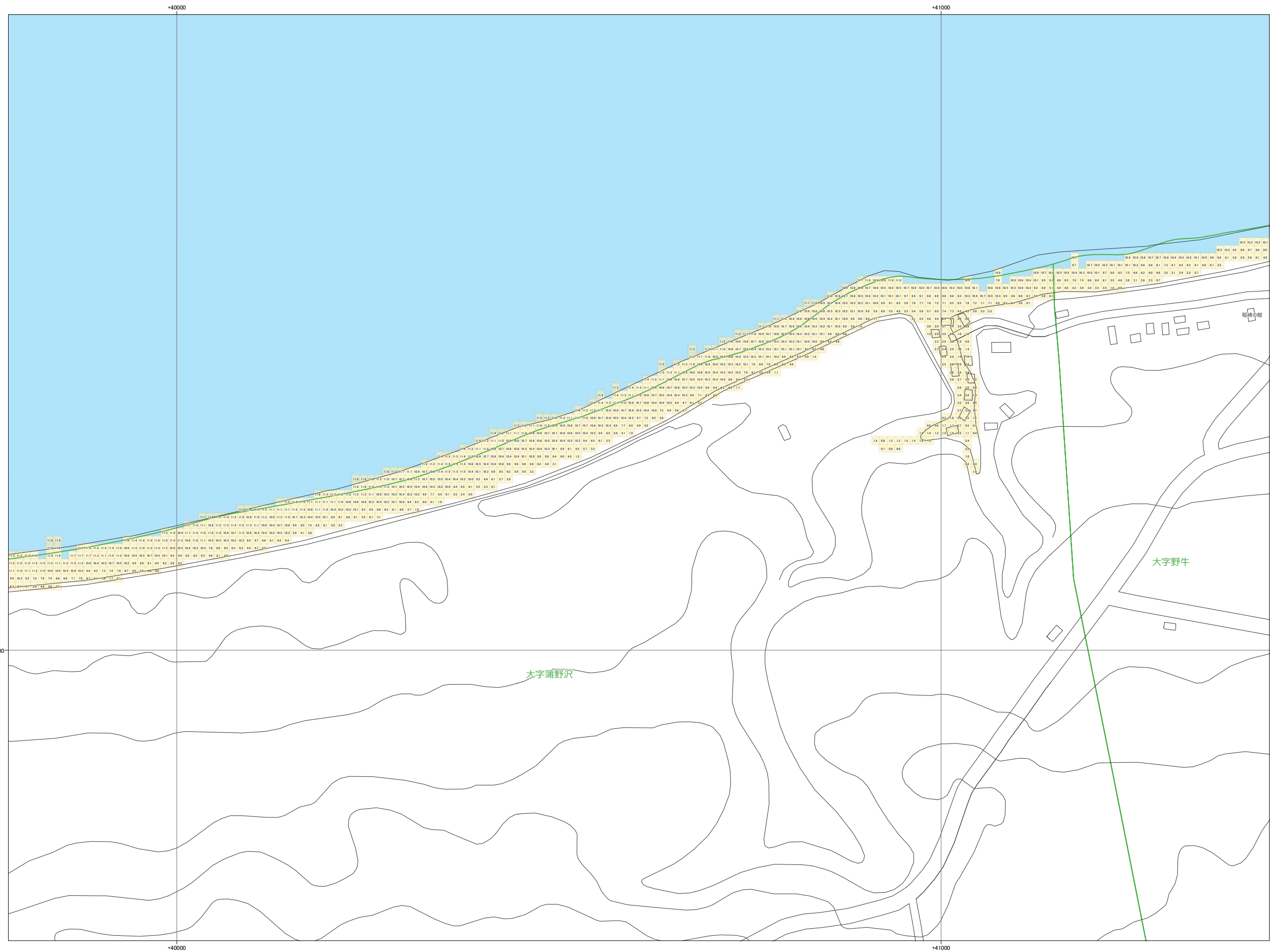
**【背景地図】**

- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	4 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等	
町丁・字等境界	平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ
背景地図	基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」
施設名称	東通村指定緊急避難場所
図枠外の座標値	世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



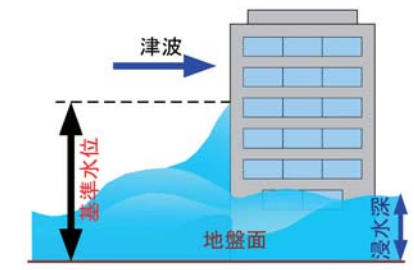
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

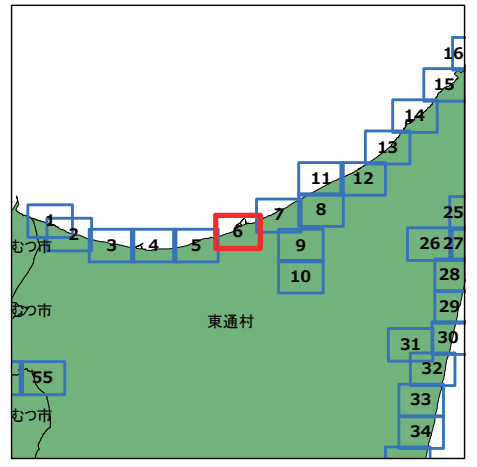
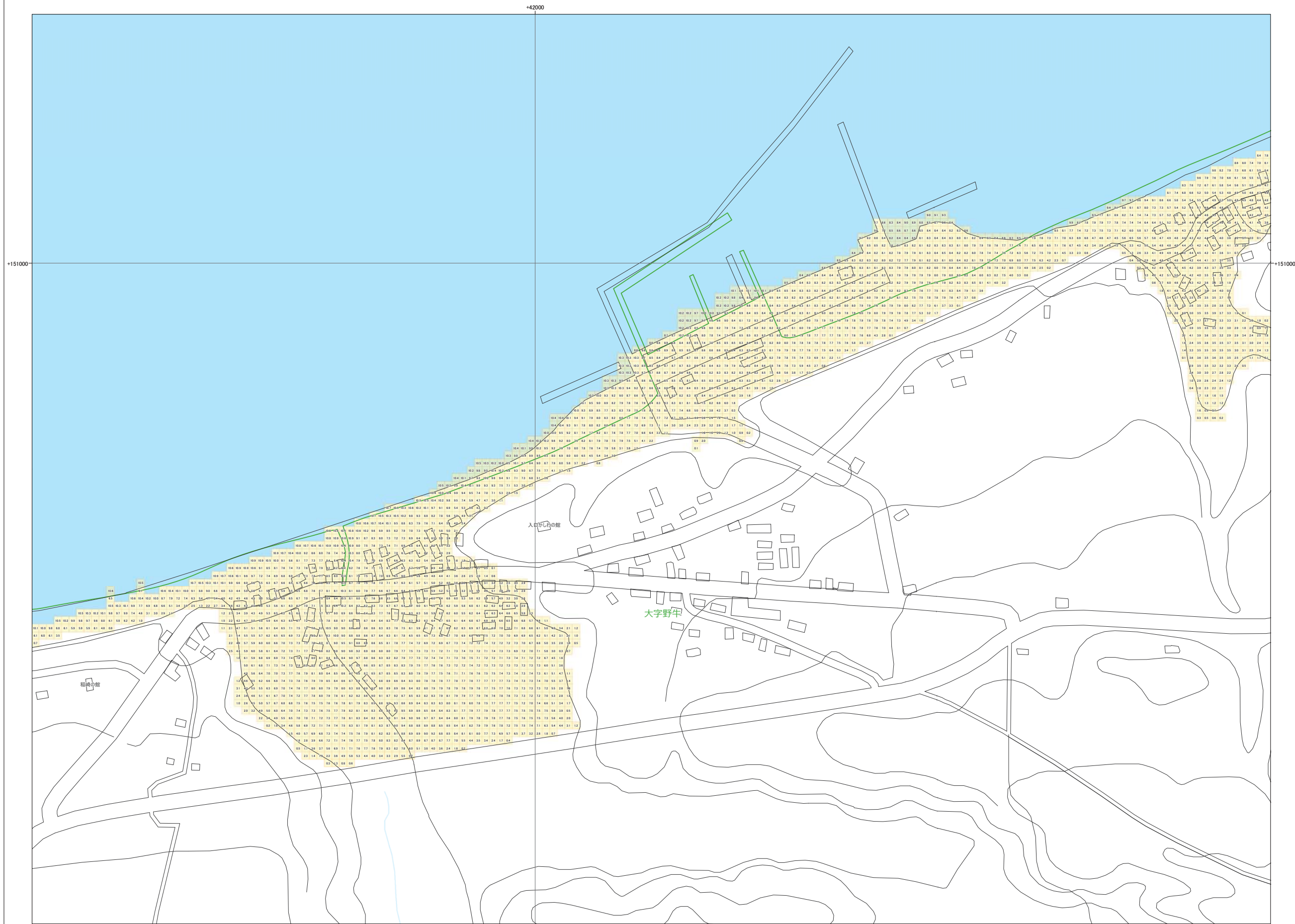
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	5 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

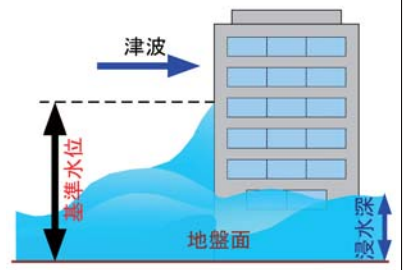
町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



**<留意事項>**

- 【津波災害警戒区域】**
- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
  - 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

- 【基準水位】**
- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
  - 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



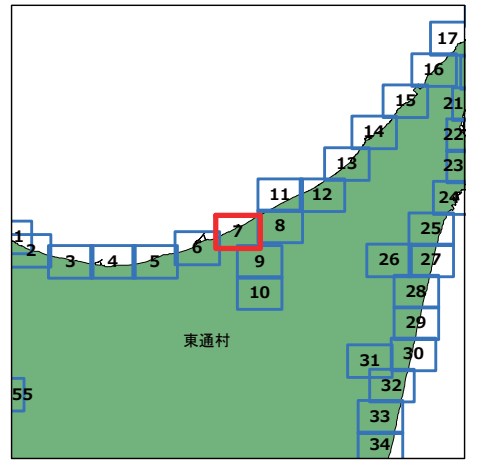
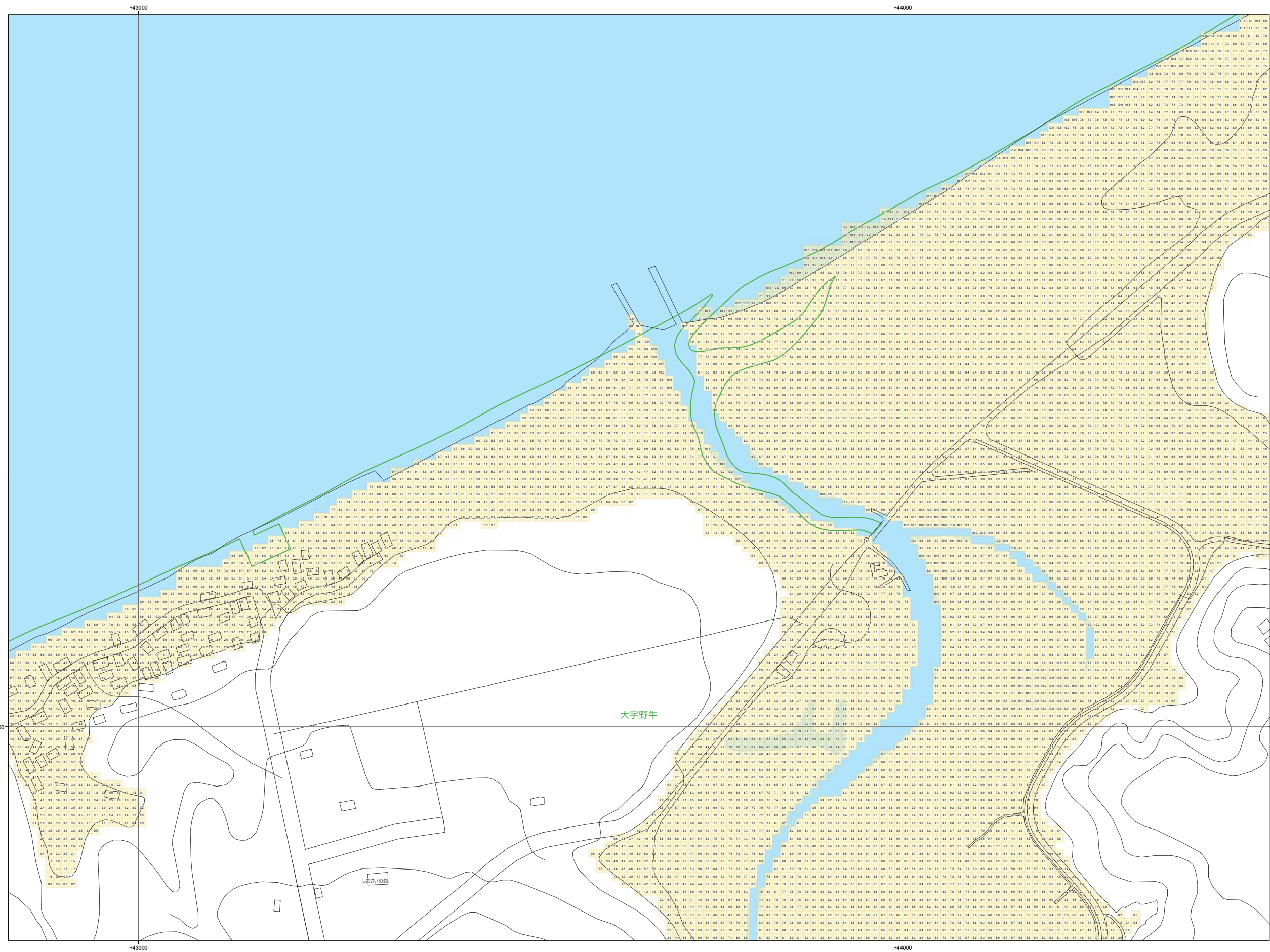
- 【地形（標高）データ】**
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】**
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	6 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



<留意事項>

【津波災害警戒区域】

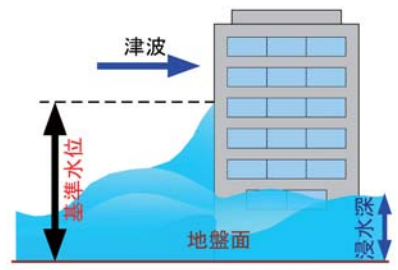
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

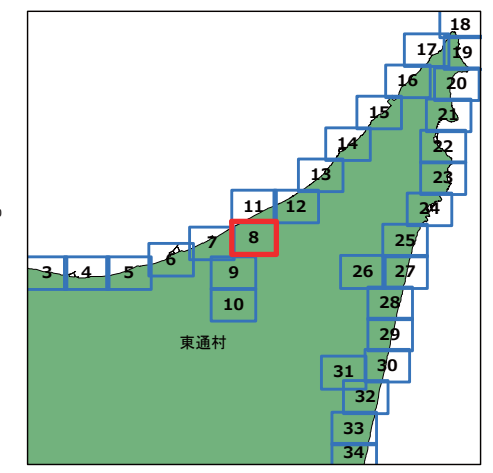
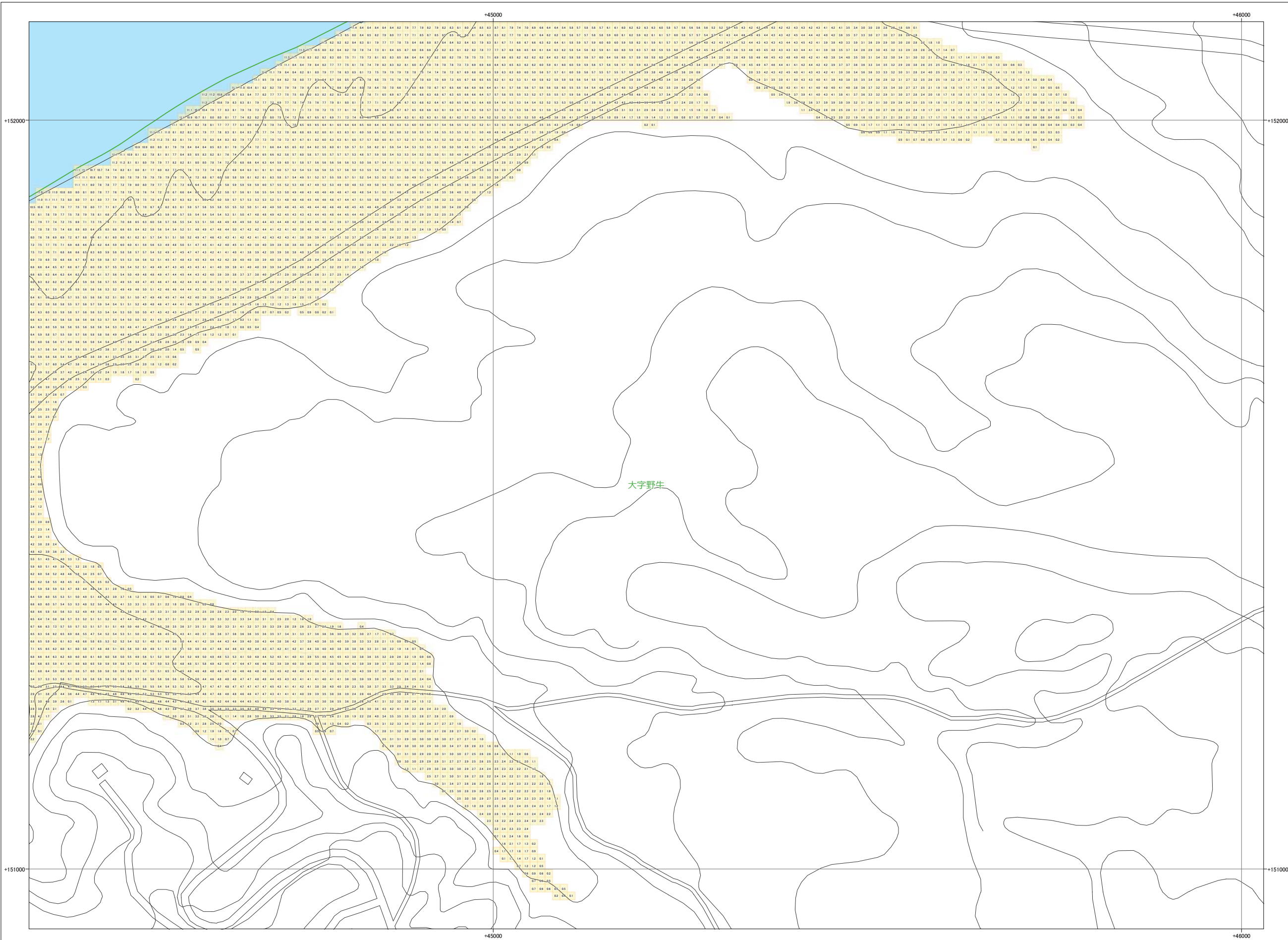
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	7 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

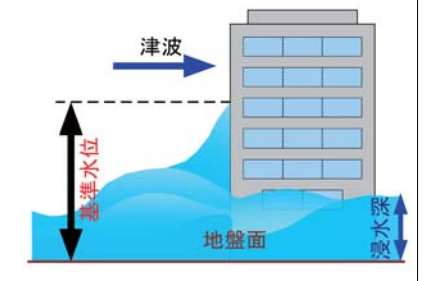
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	8 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)		市町村界	

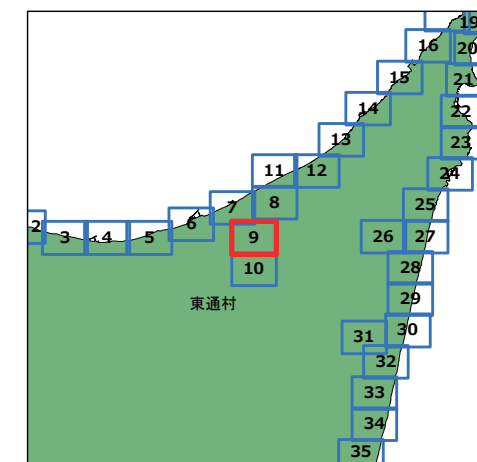
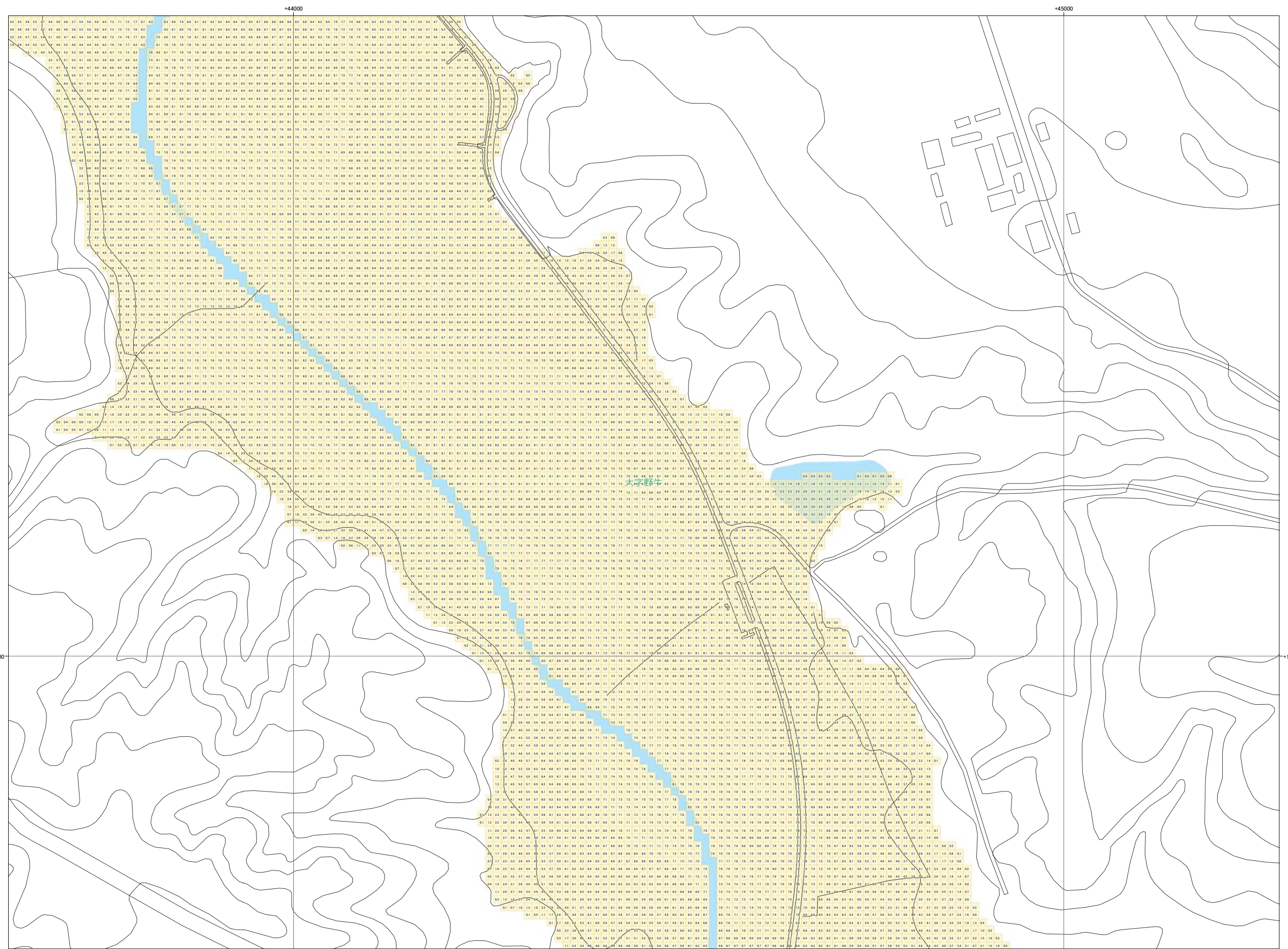
※基準水位の記載が無い区域は、付近の基準水位を参考とすること。



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

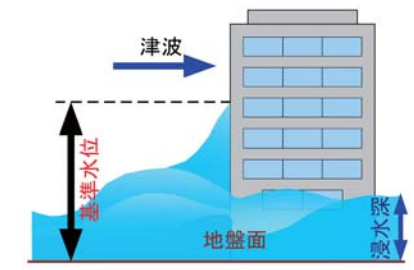




### <留意事項>

- 【津波災害警戒区域】
  - 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
  - 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

- 【基準水位】
  - 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
  - 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



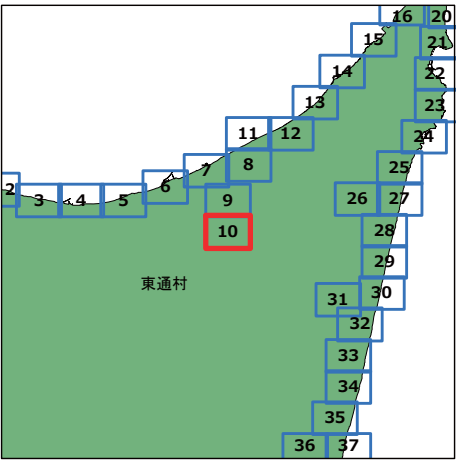
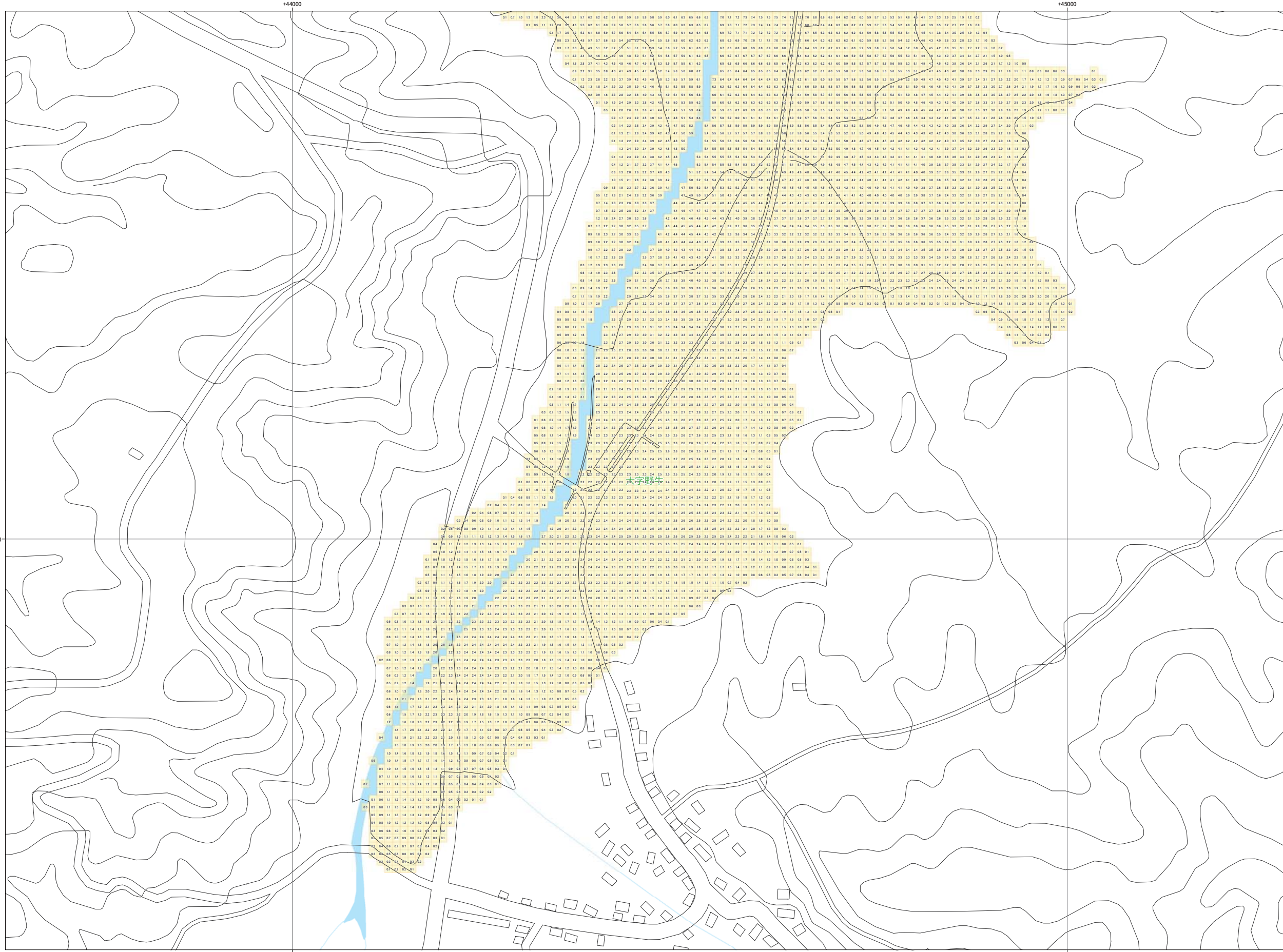
- 【地形（標高）データ】
  - 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
  - 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	9 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位:メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



### 出典等

町丁・字等境界: 平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図: 基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 3JHs 558」  
 施設名: 東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値: 世界測地系2011 平面直角座標系第X系 (単位: メートル)



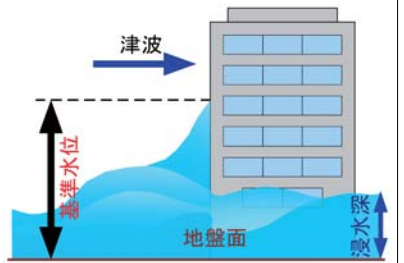
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

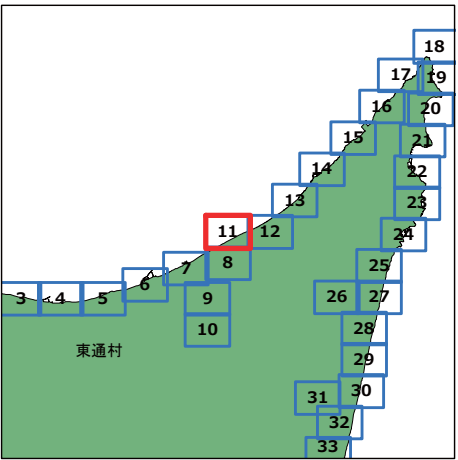
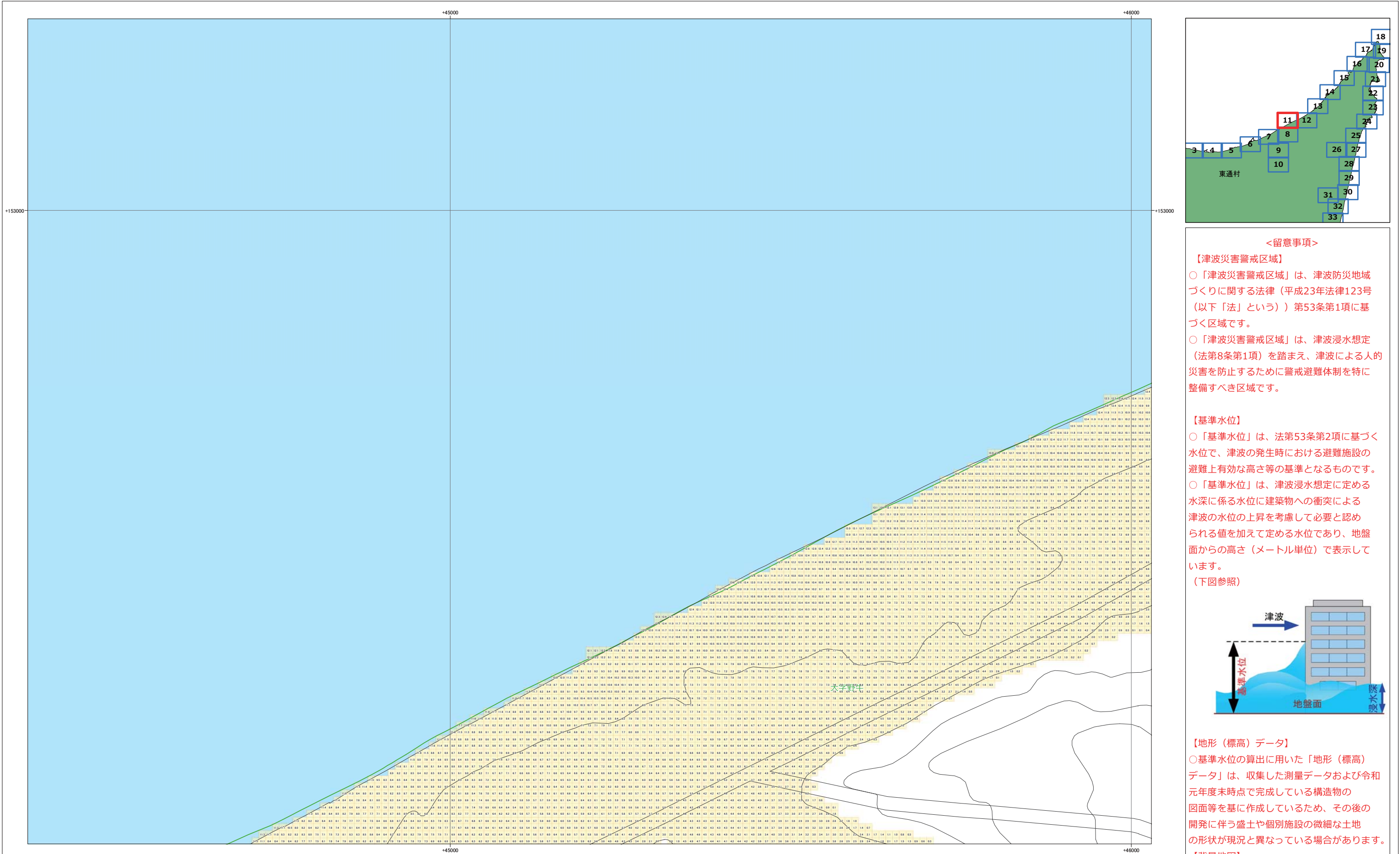
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	10 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





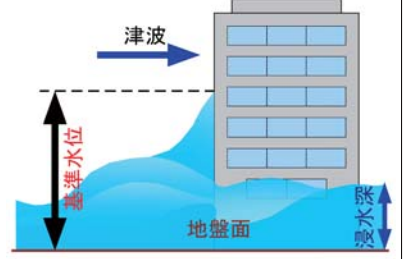
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

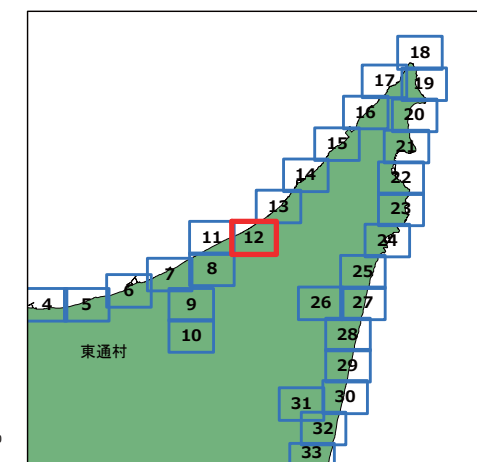
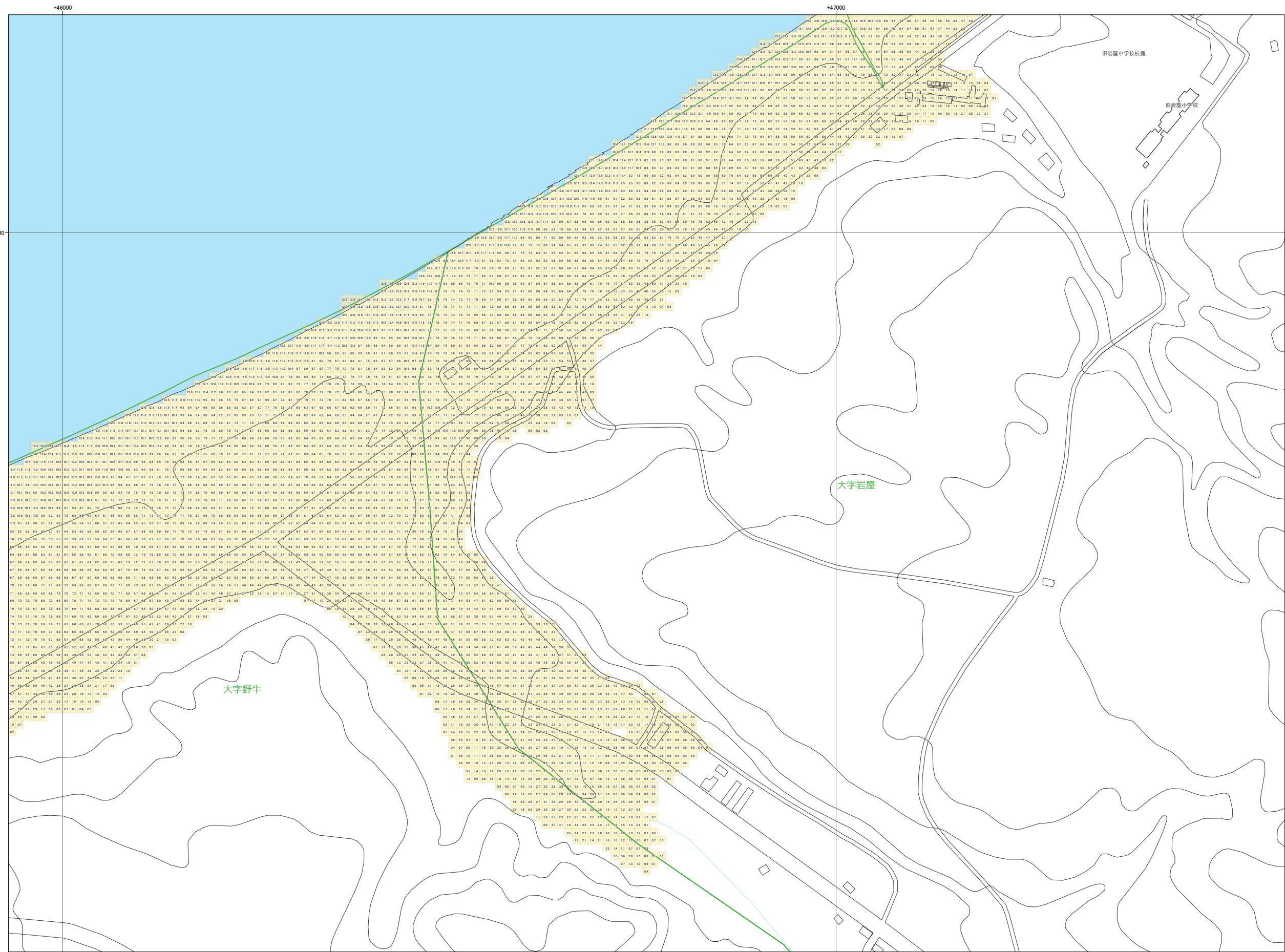
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	11 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

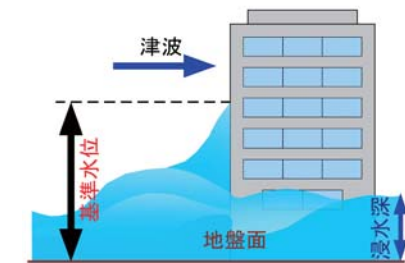
○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。

（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

#### 【背景地図】

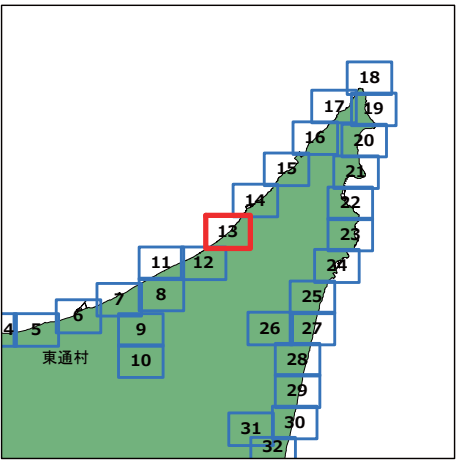
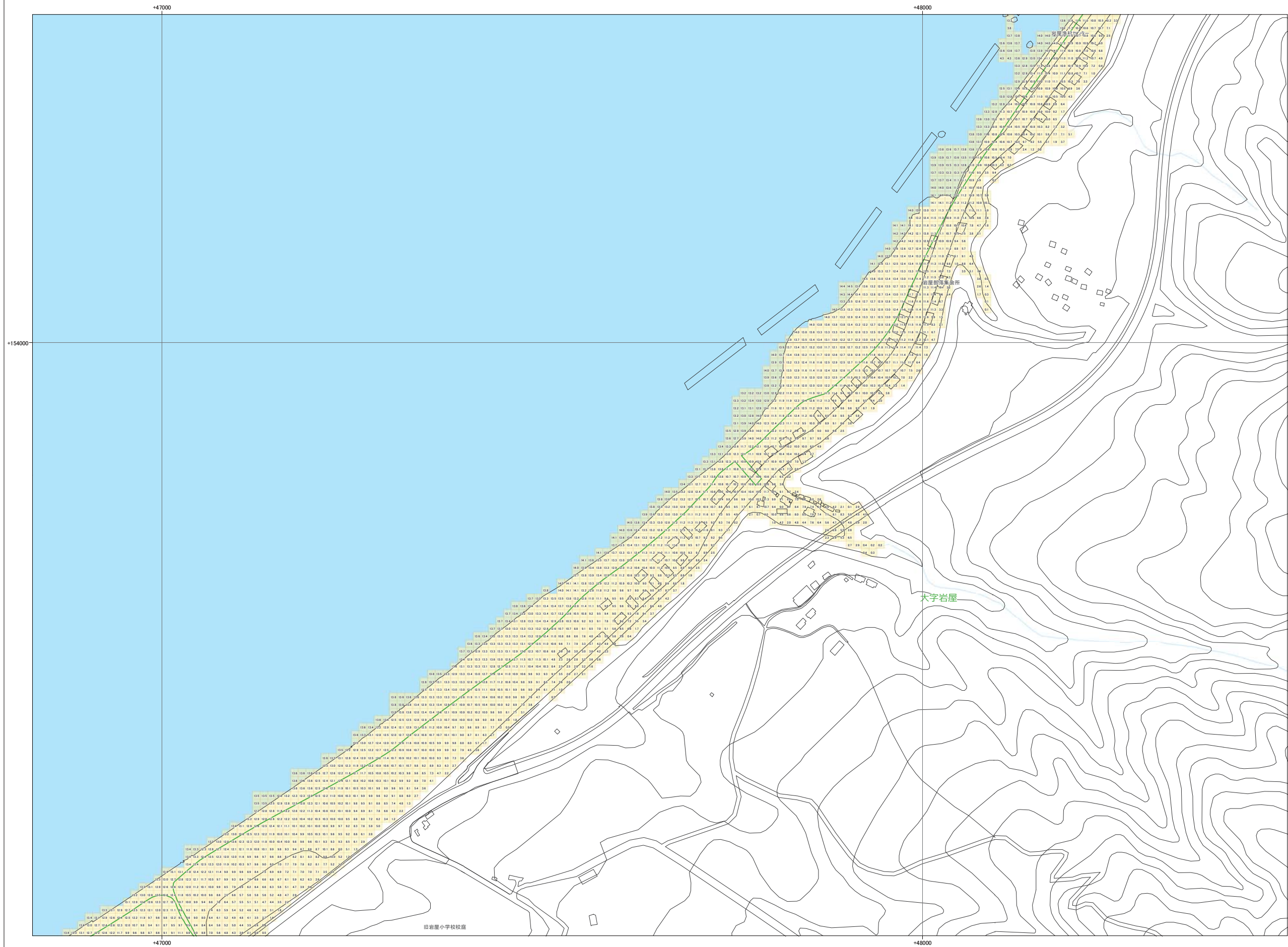
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	12 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





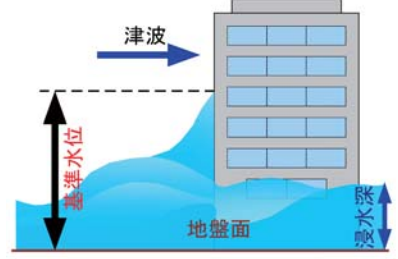
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

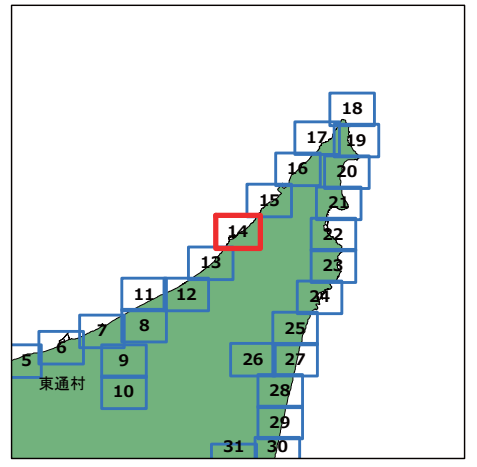
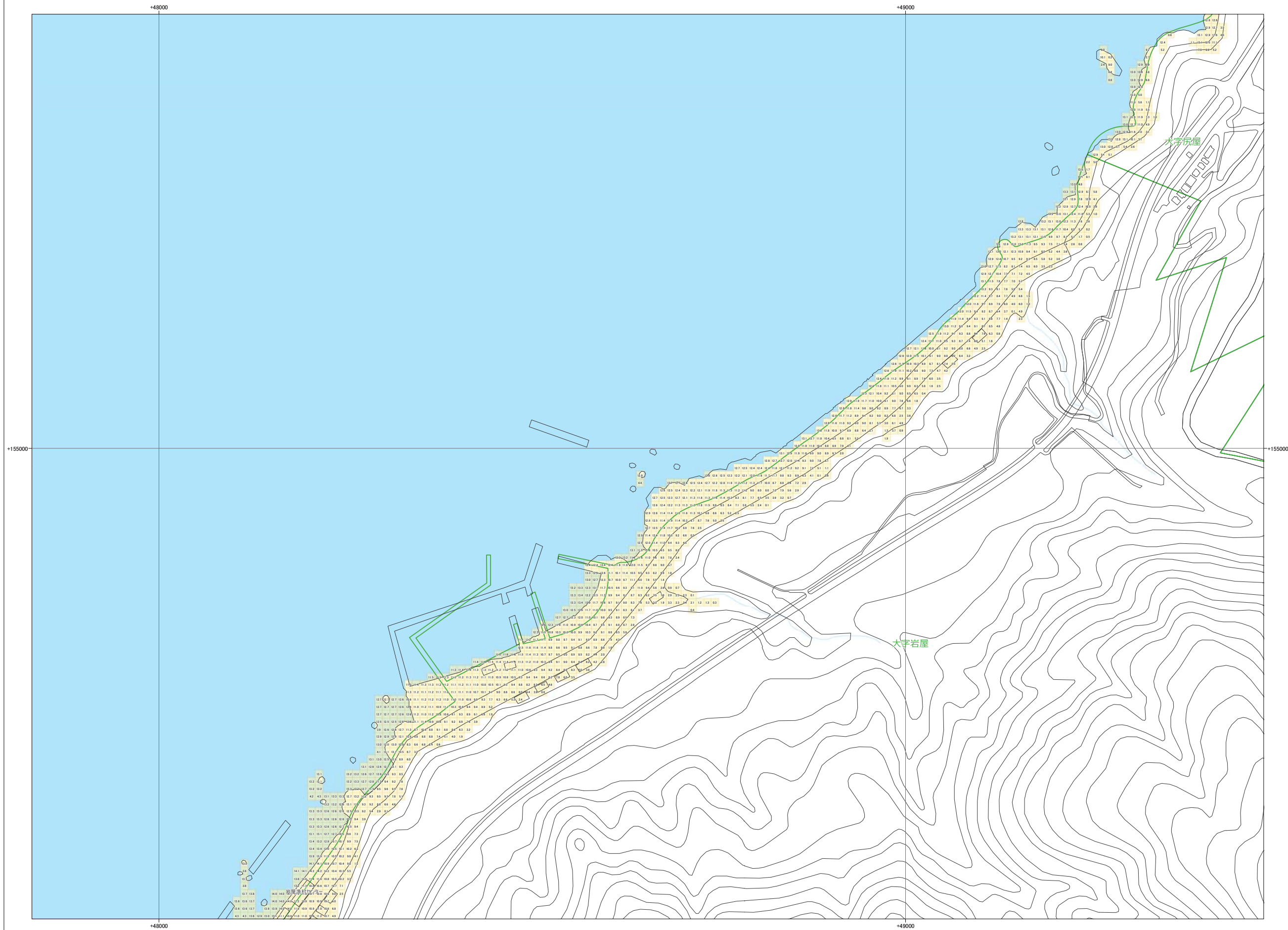
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	13 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



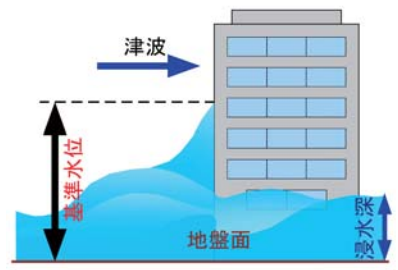
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

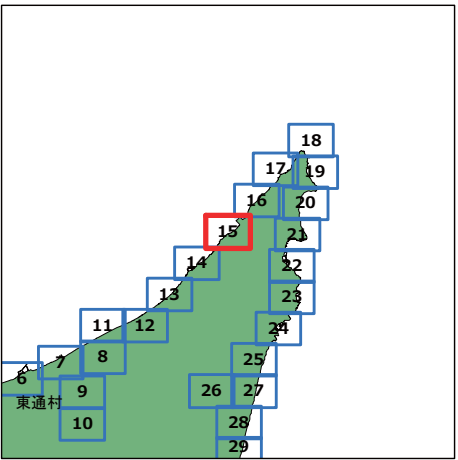
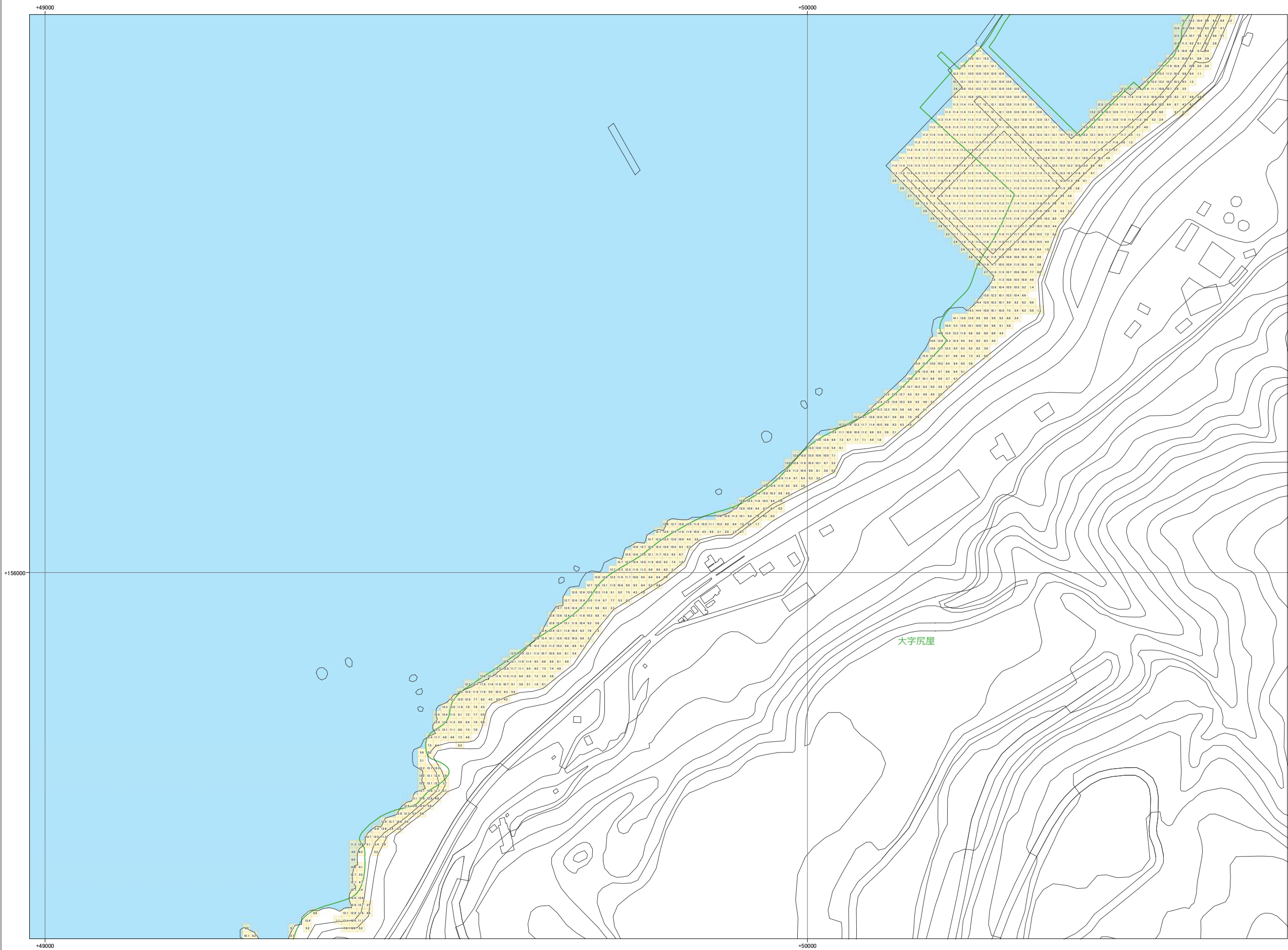
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	14 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





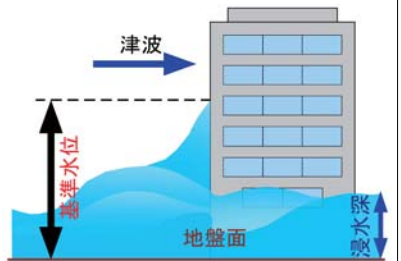
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

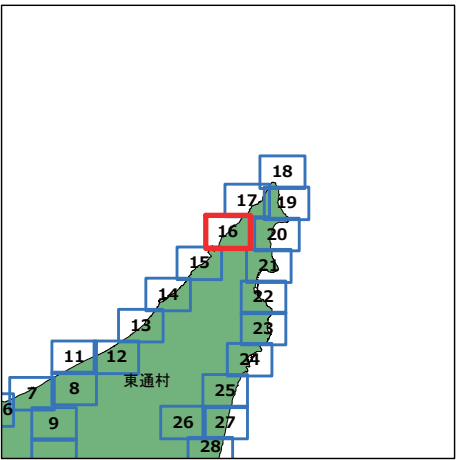
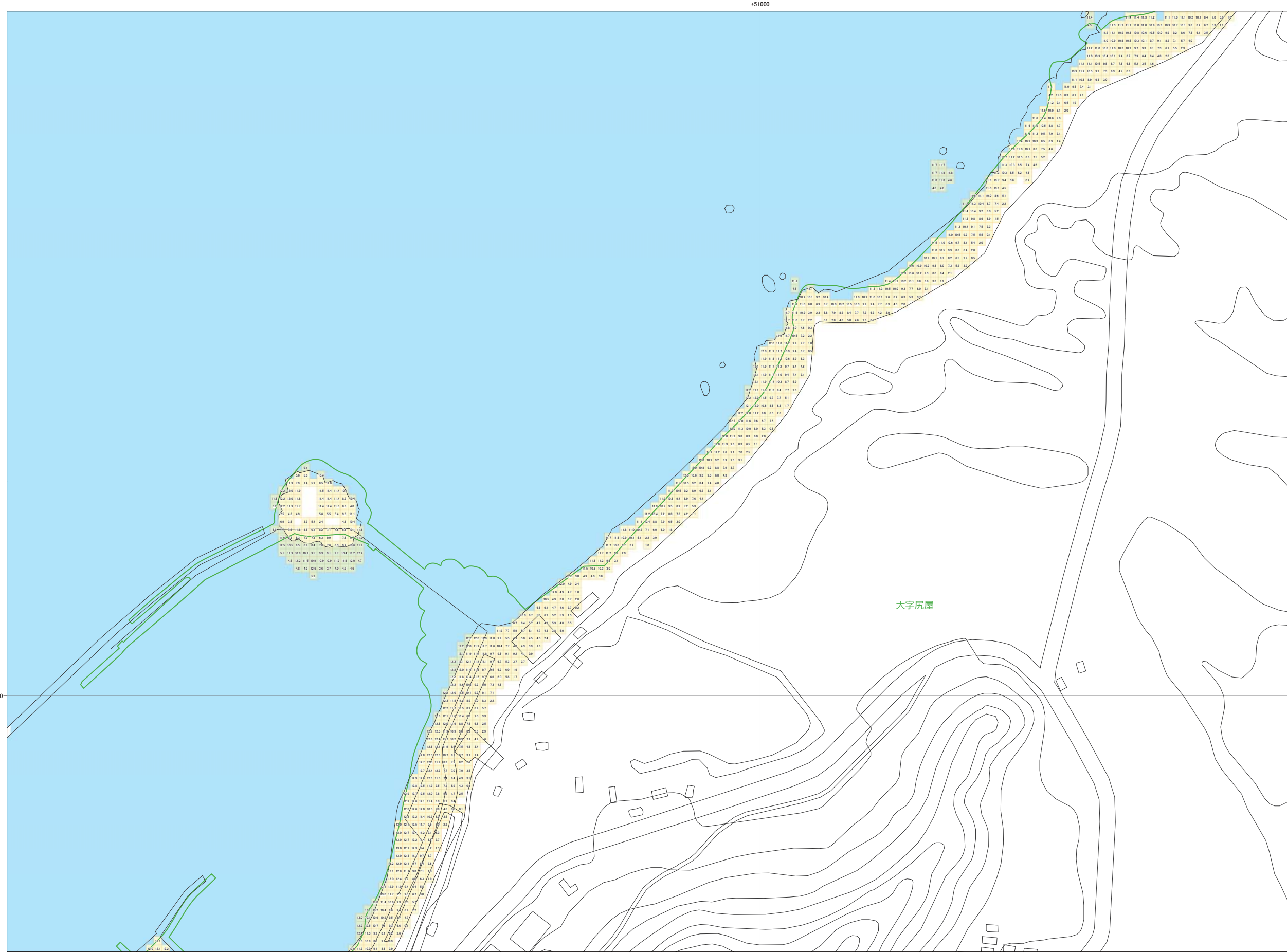
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	15 / 55	町丁・字等境界	
	縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基準水位 (単位：メートル)</div> <small>※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。</small>	市町村界





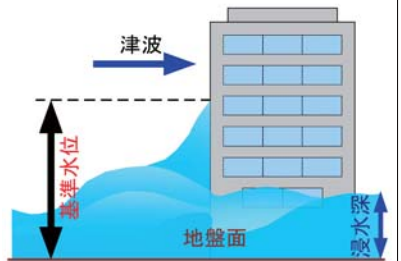
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

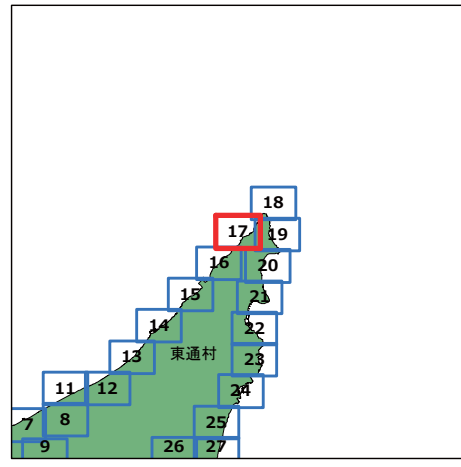
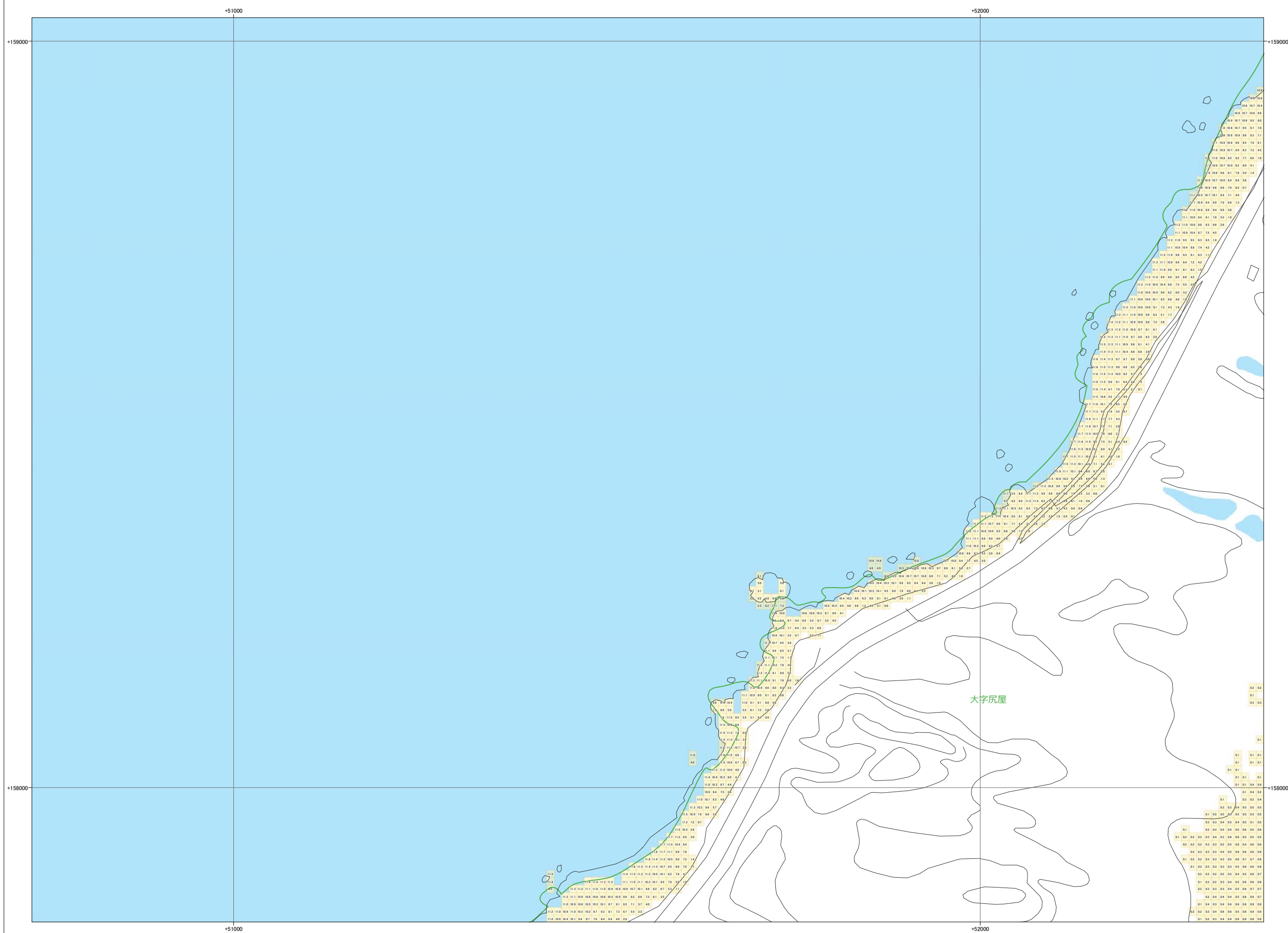
**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	16 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



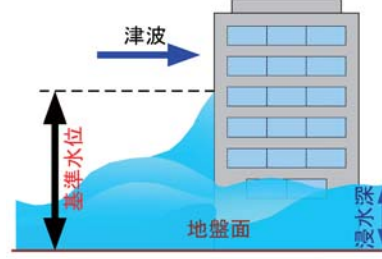




<留意事項>

**【津波災害警戒区域】**  
 ○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。  
 ○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**  
 ○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。  
 ○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。  
 （下図参照）

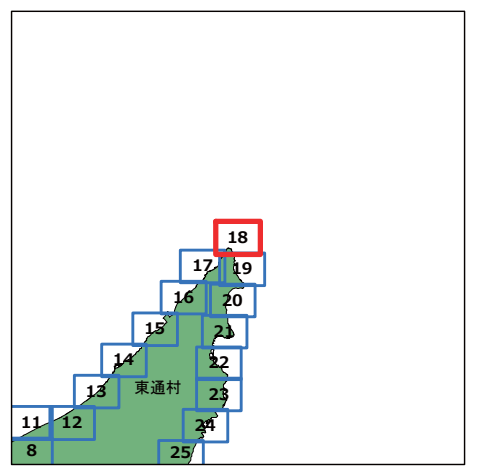
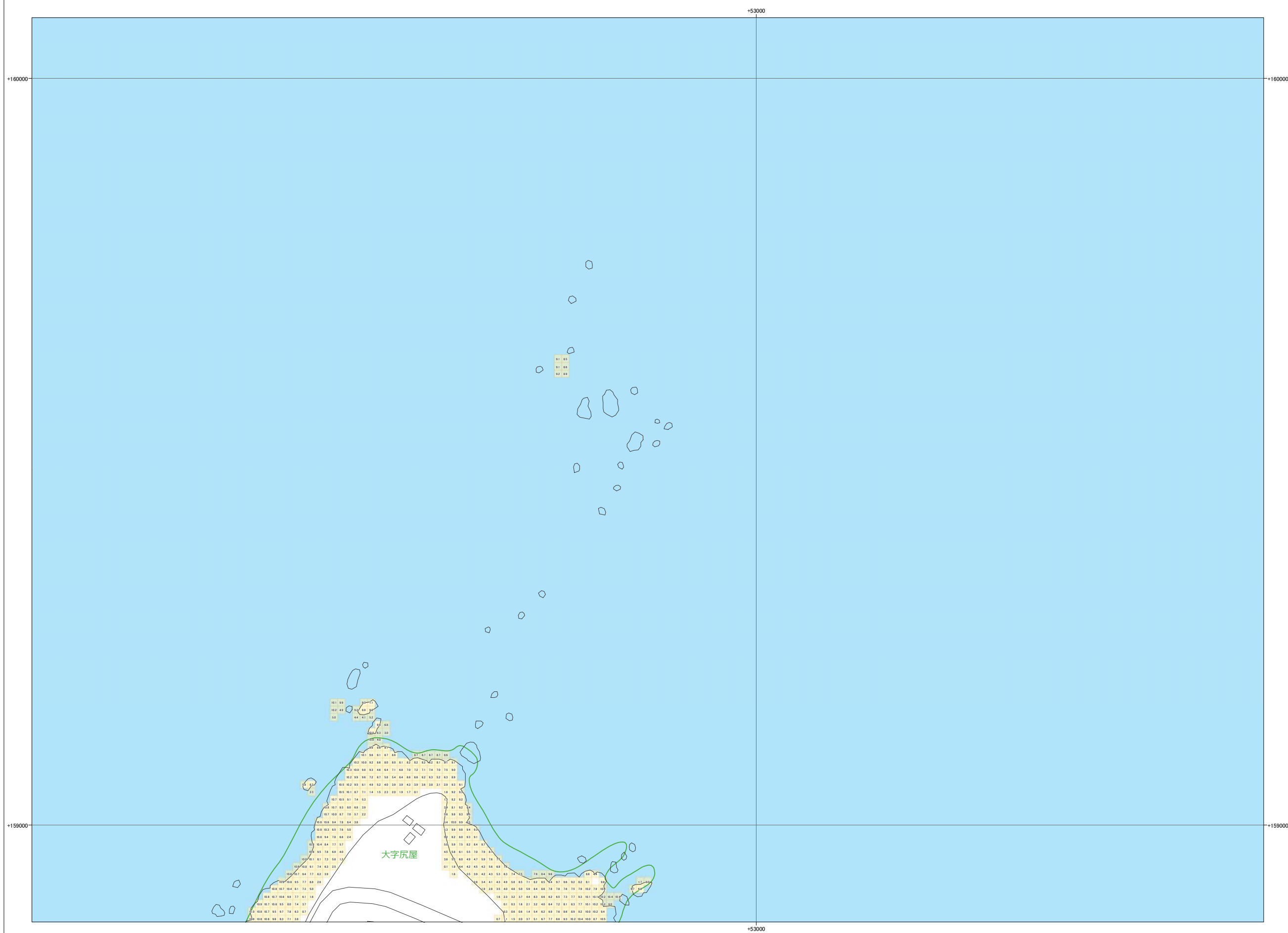


**【地形（標高）データ】**  
 ○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。  
**【背景地図】**  
 ○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	17 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等	
町丁・字等境界	平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ
背景地図	基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」
施設名称	東通村指定緊急避難場所
図枠外の座標値	世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



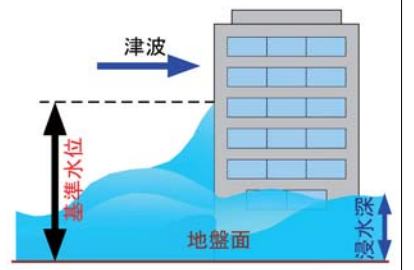
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

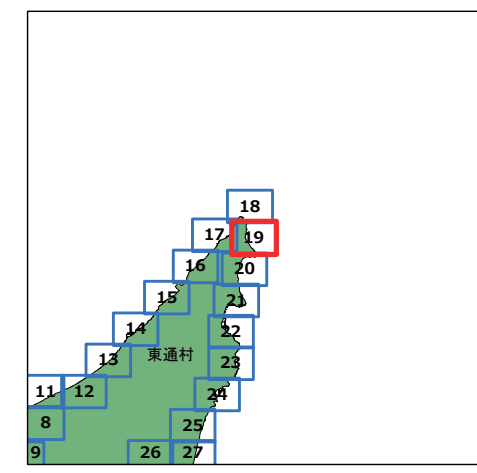
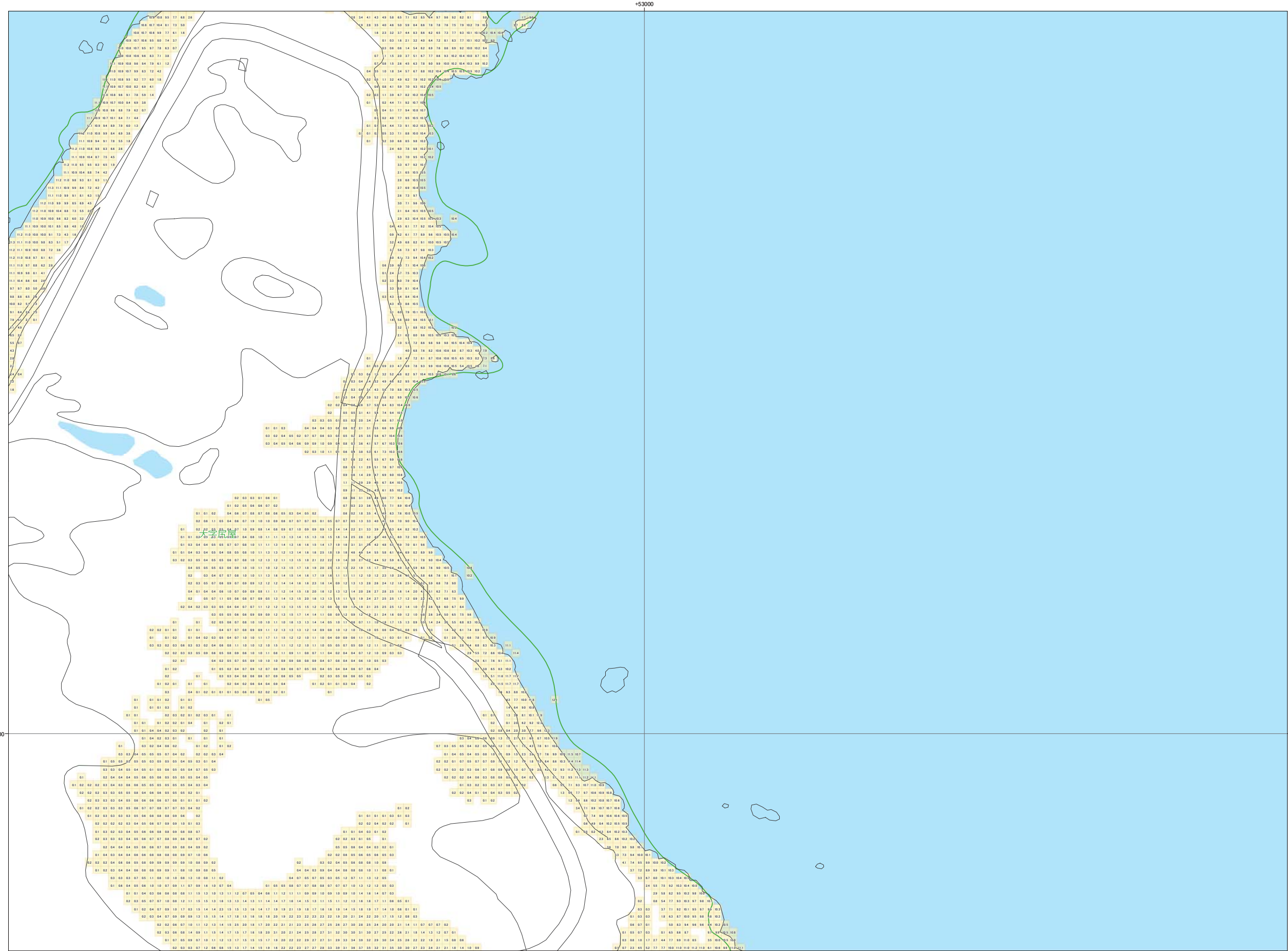
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	18 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) <small>※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。</small>	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



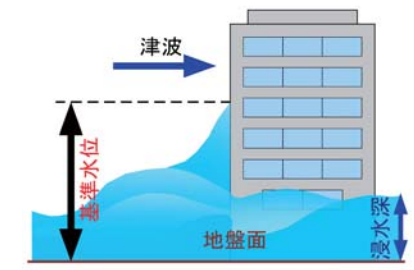
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



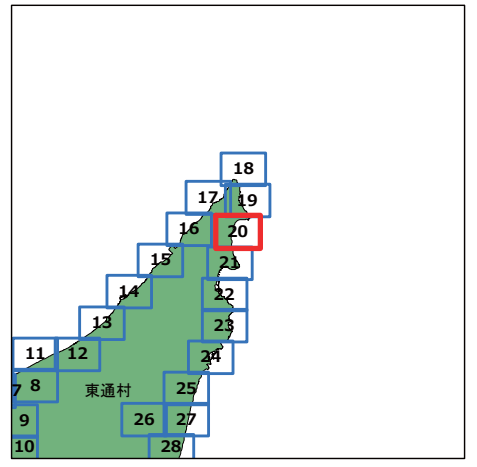
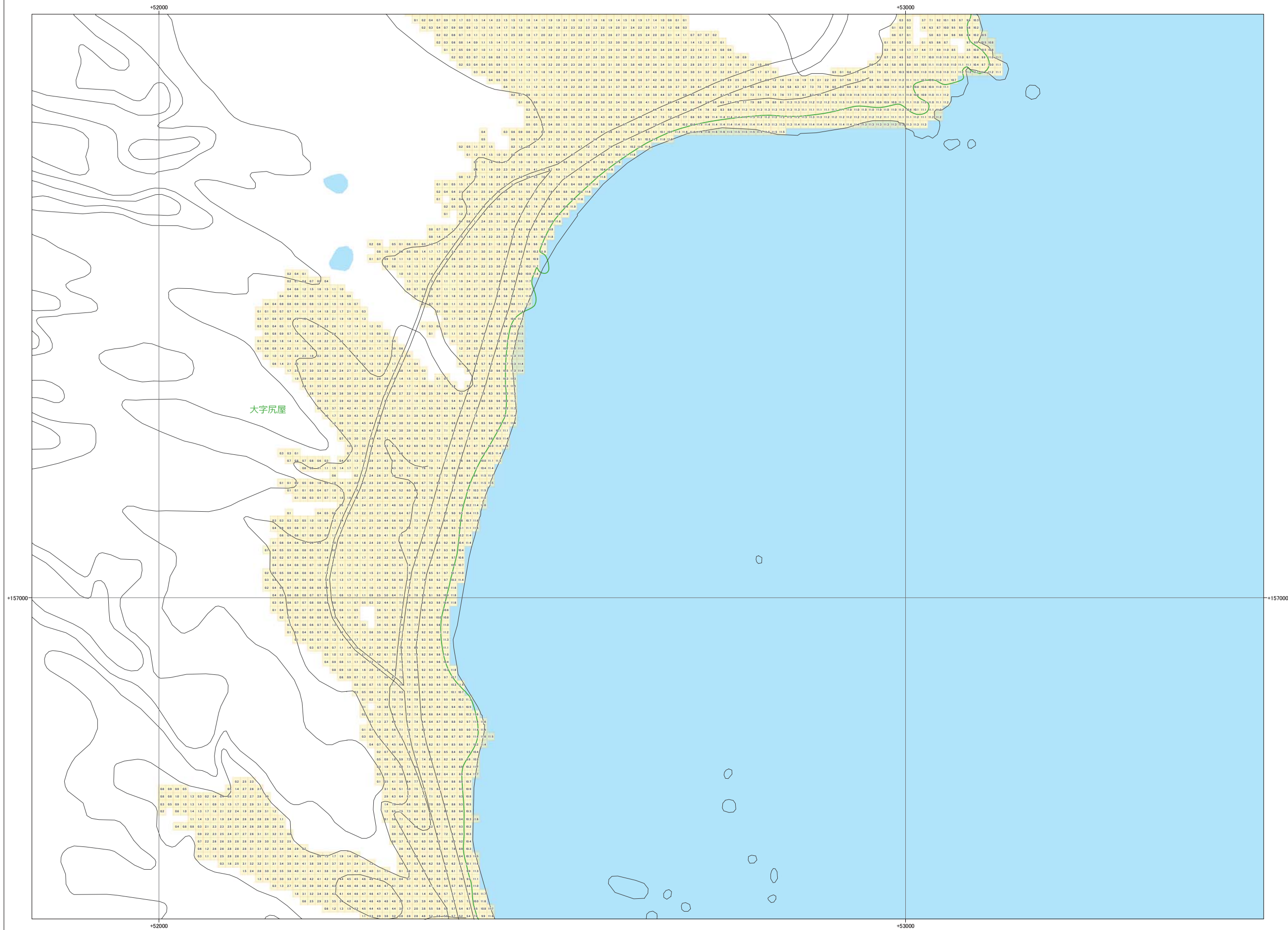
【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している建造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	19 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等	
町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ	
背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」	
施設名称：東通村指定緊急避難場所	
図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）	



**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

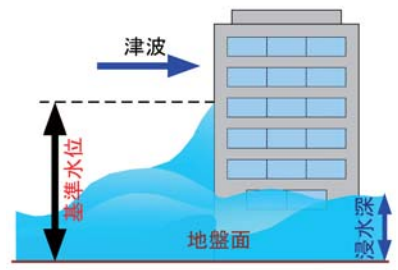
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

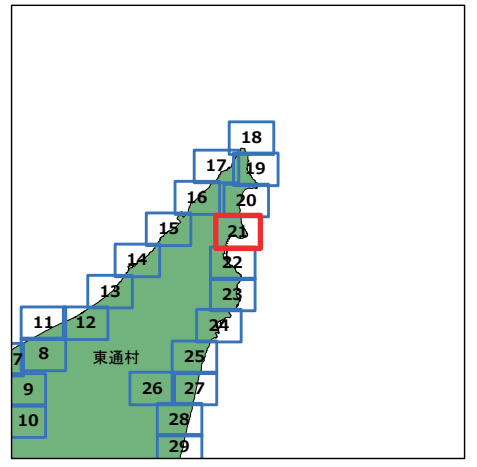
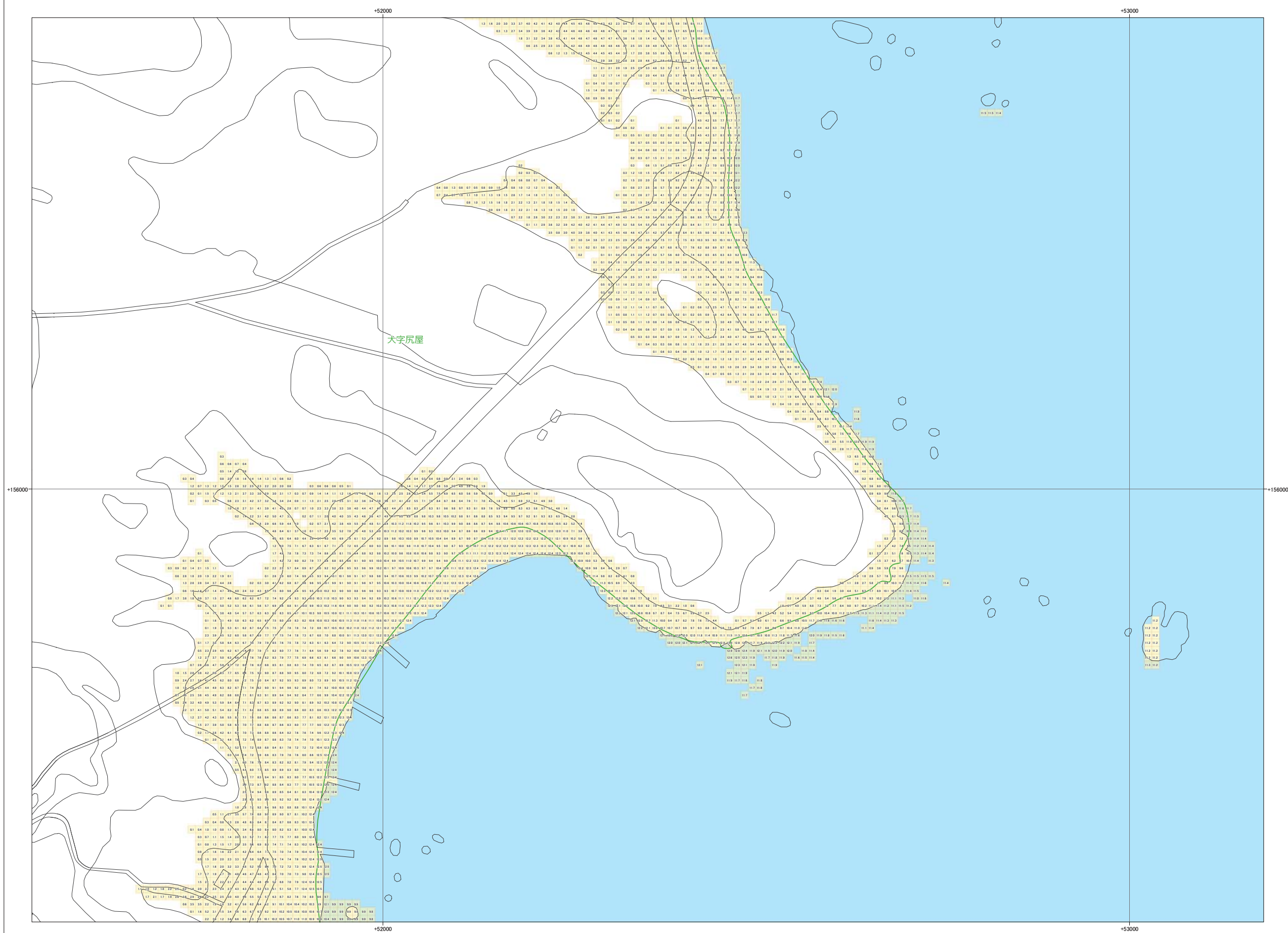
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	20 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





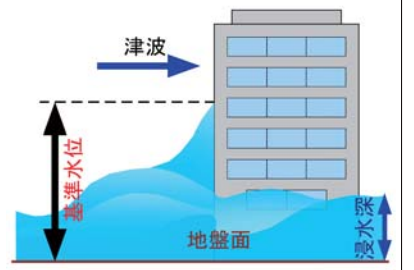
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

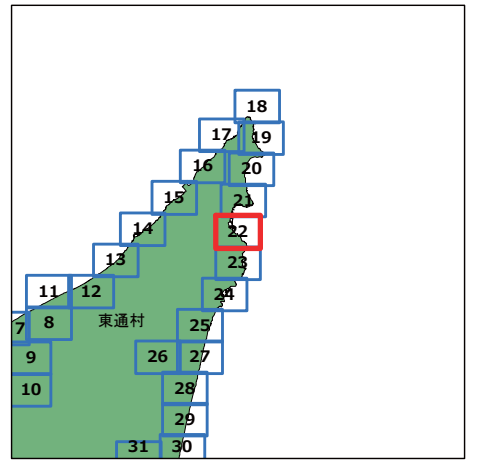
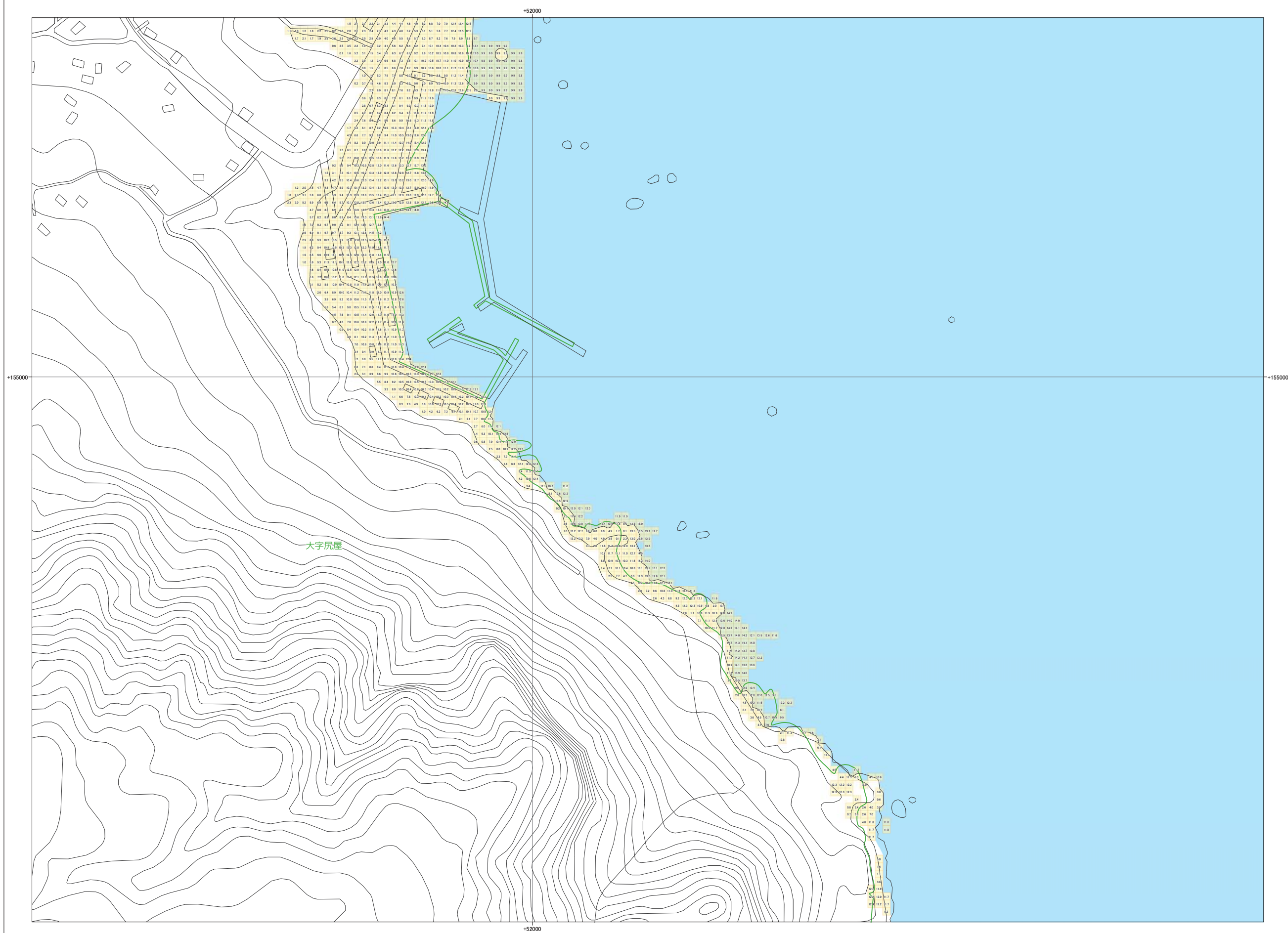
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	21 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位:メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



### 出典等

町丁・字等境界:平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図:基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs558」  
 施設名称:東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値:世界測地系2011 平面直角座標系第X系 (単位:メートル)



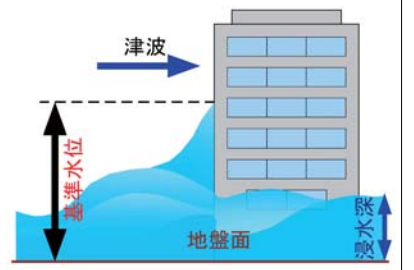
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

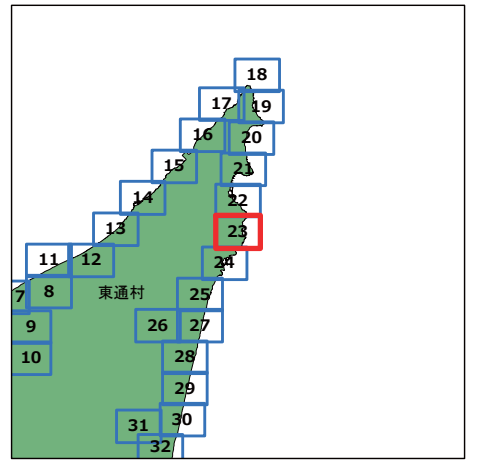
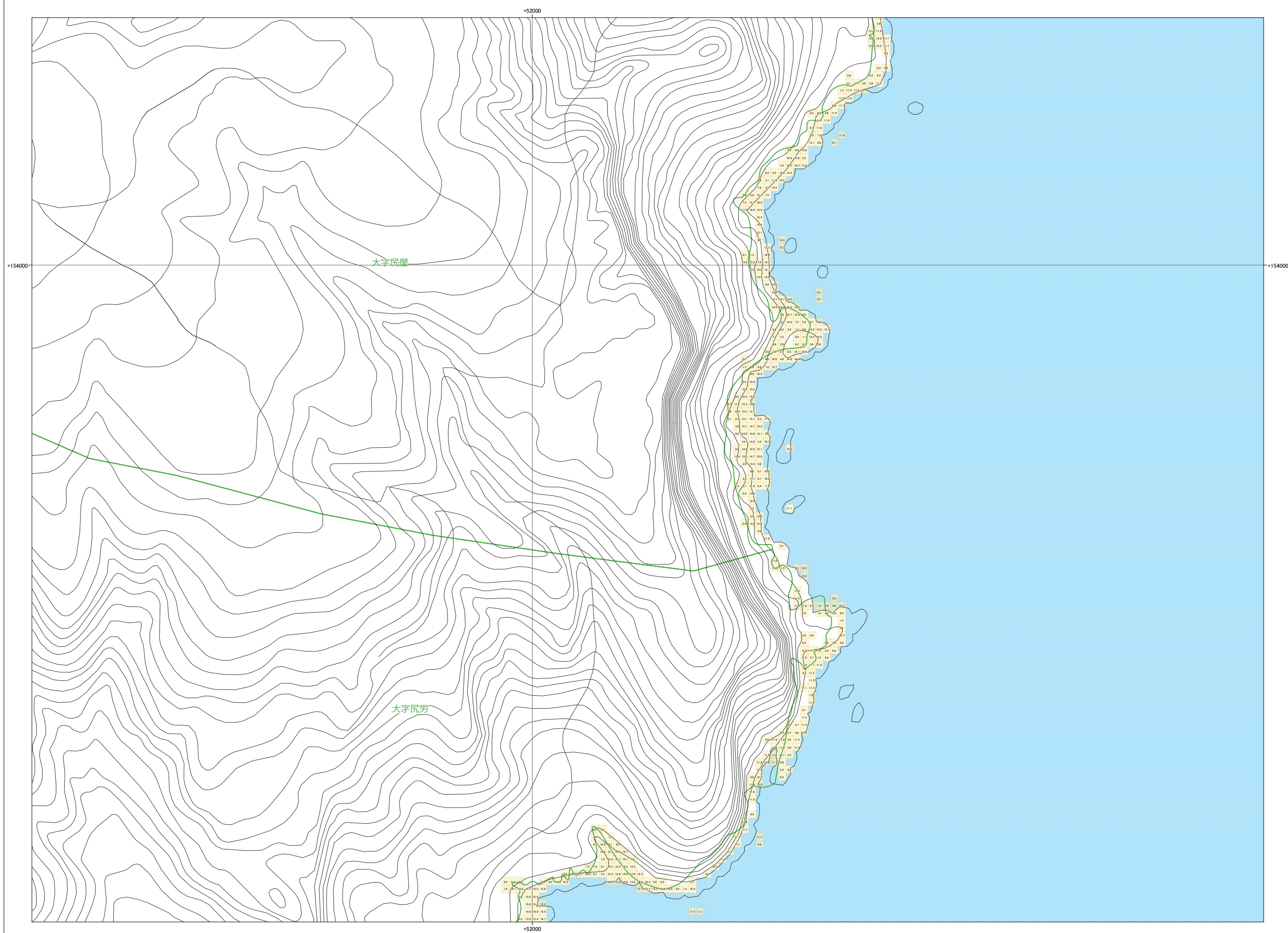
**【背景地図】**

- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	22 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



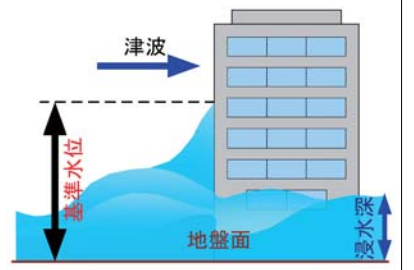
出典等	
町丁・字等境界	平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ
背景地図	基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」
施設名称	東通村指定緊急避難場所
図枠外の座標値	世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



<留意事項>

**【津波災害警戒区域】**  
 ○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。  
 ○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**  
 ○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。  
 ○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



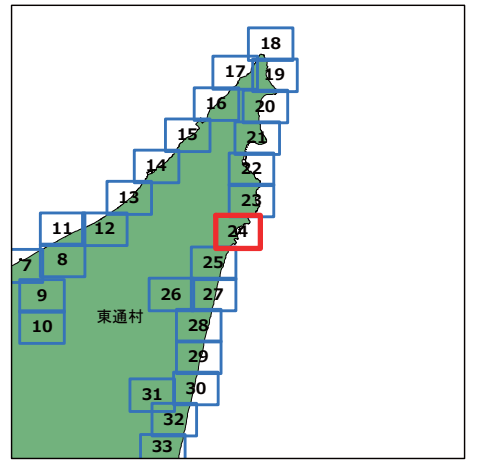
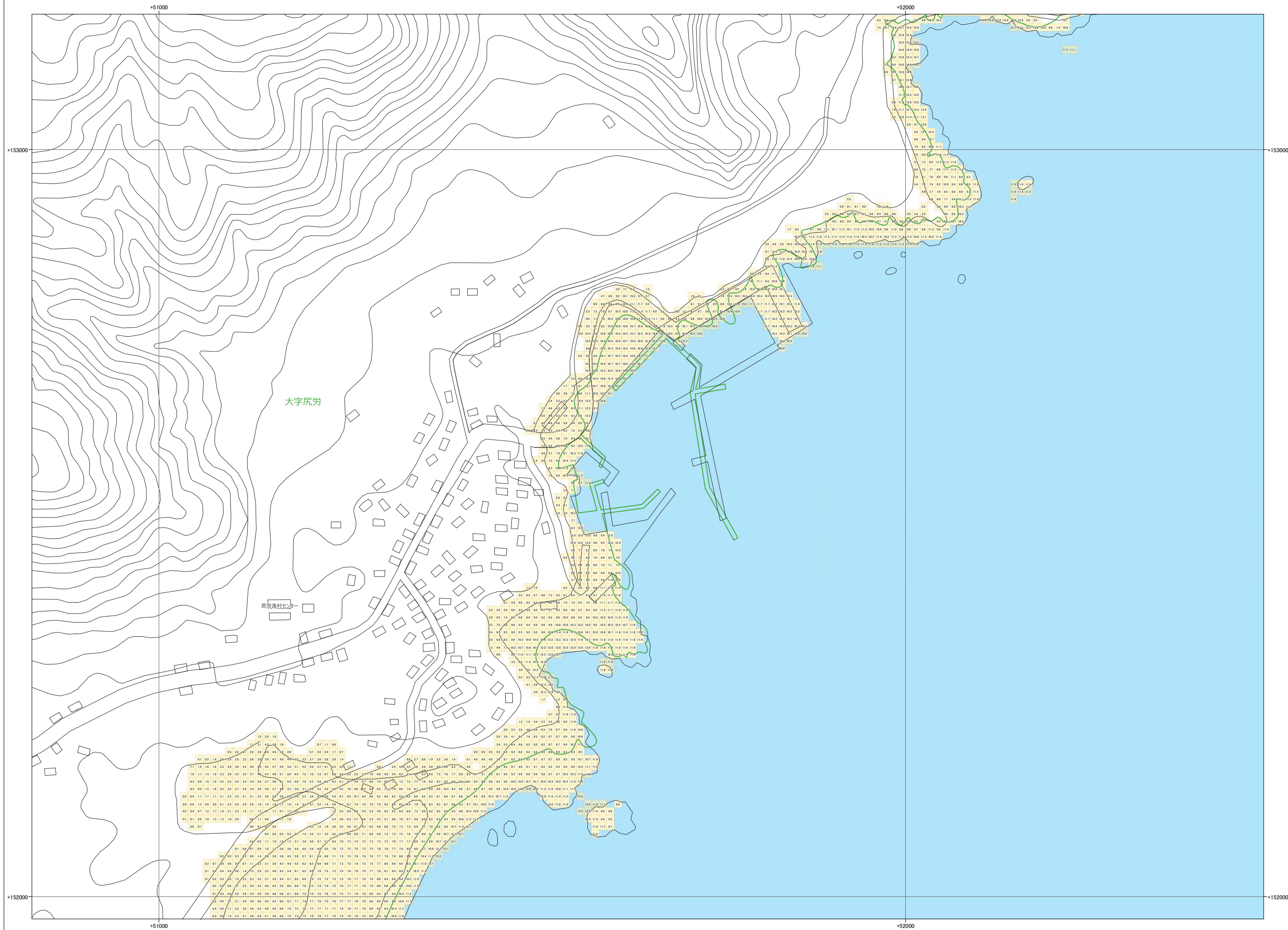
**【地形（標高）データ】**  
 ○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。  
**【背景地図】**  
 ○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	23 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出 典 等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



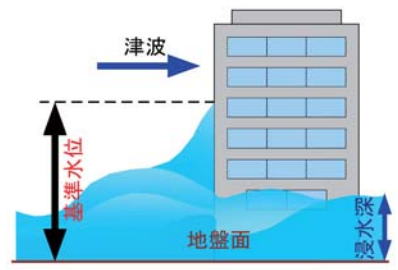
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している建造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

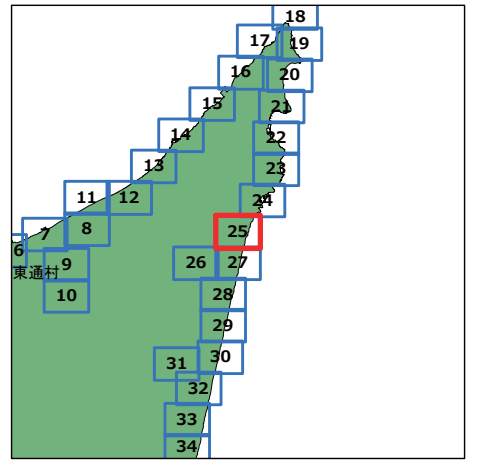
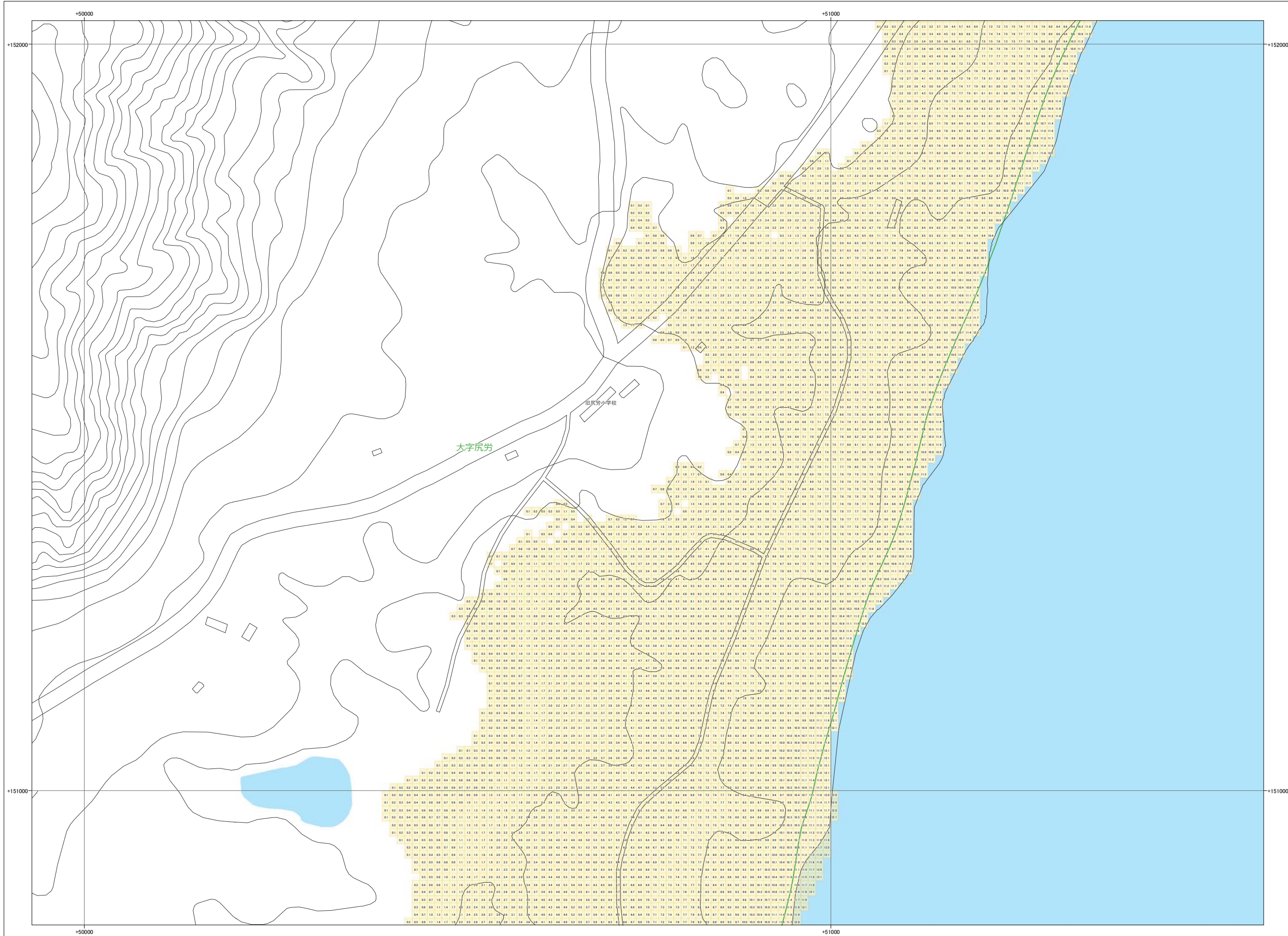
	東通村	24 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）





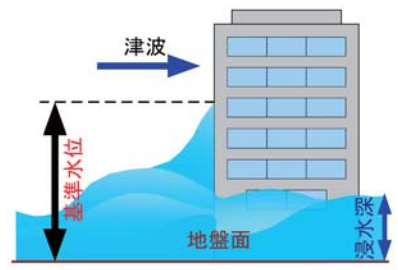
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

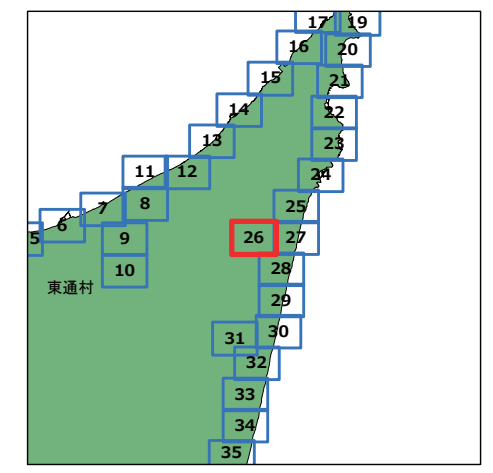
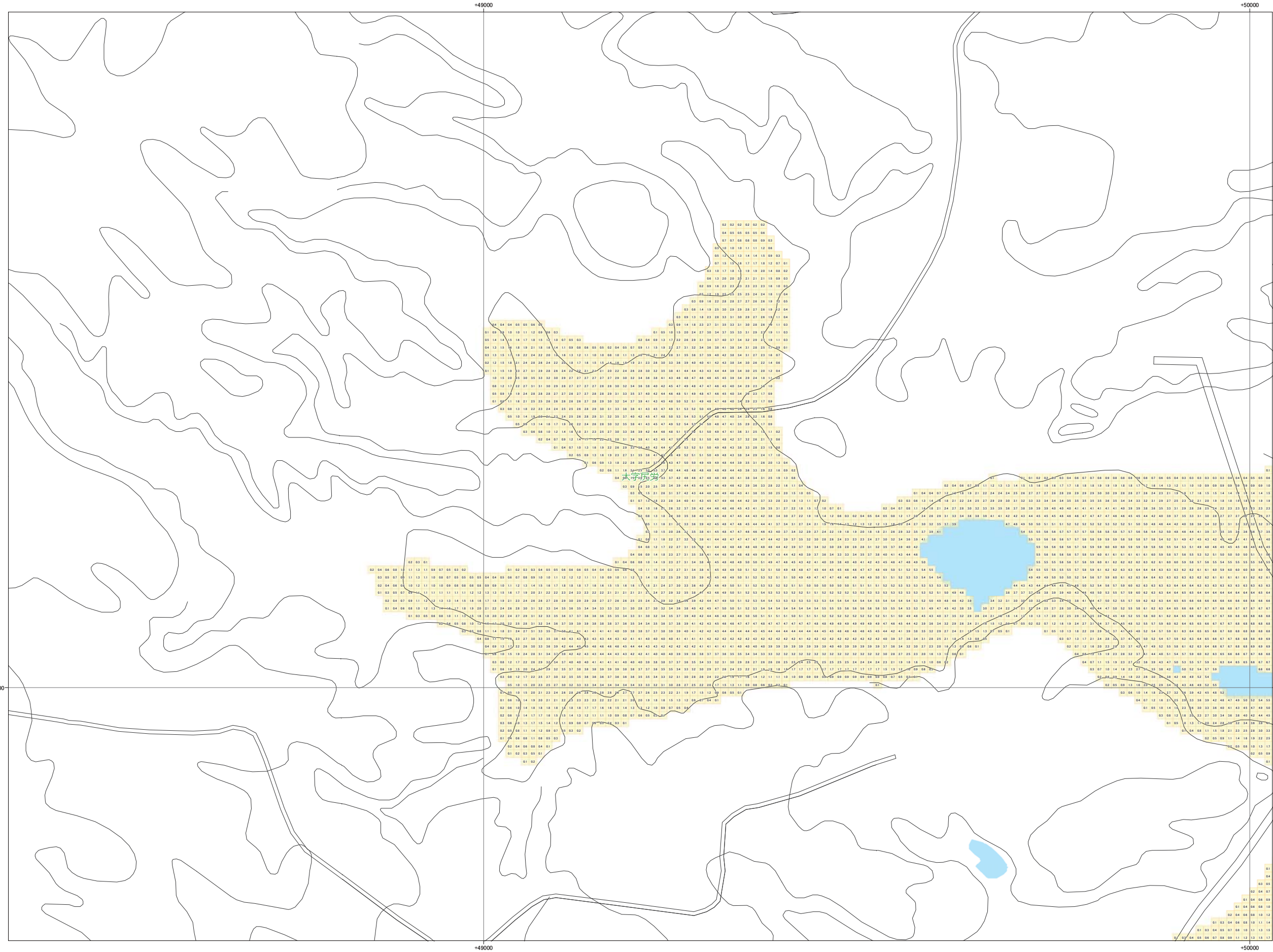
	東通村	25 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

# 津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書



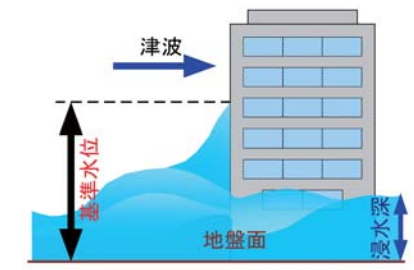
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

#### 【背景地図】

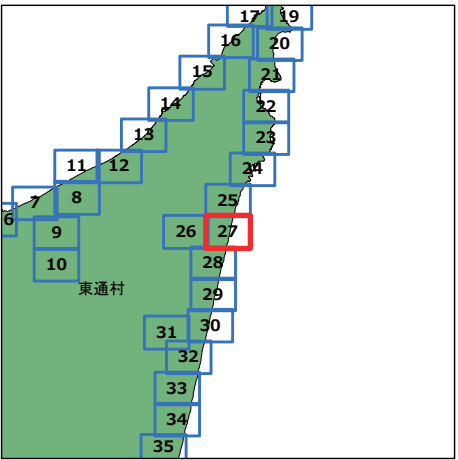
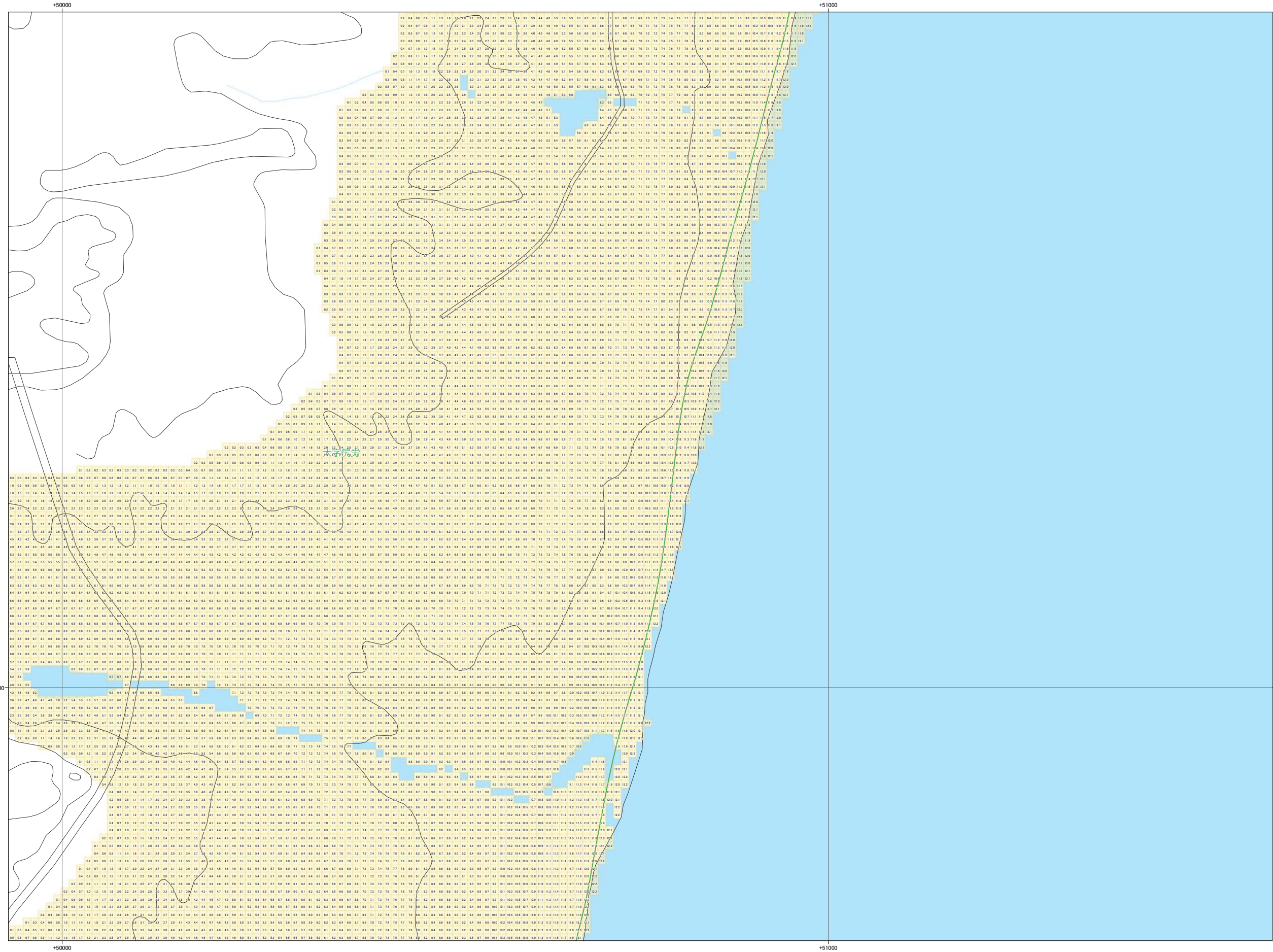
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	26 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



<留意事項>

【津波災害警戒区域】

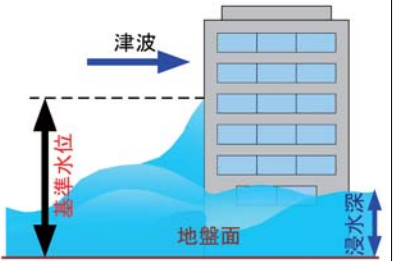
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

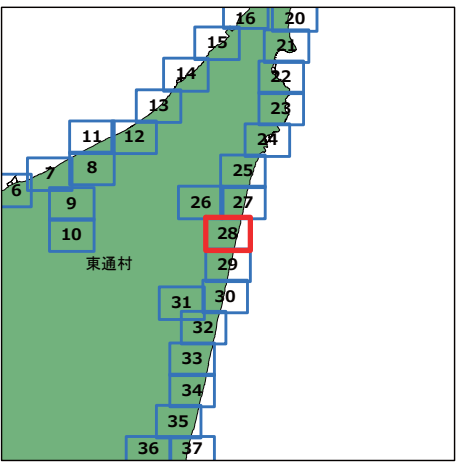
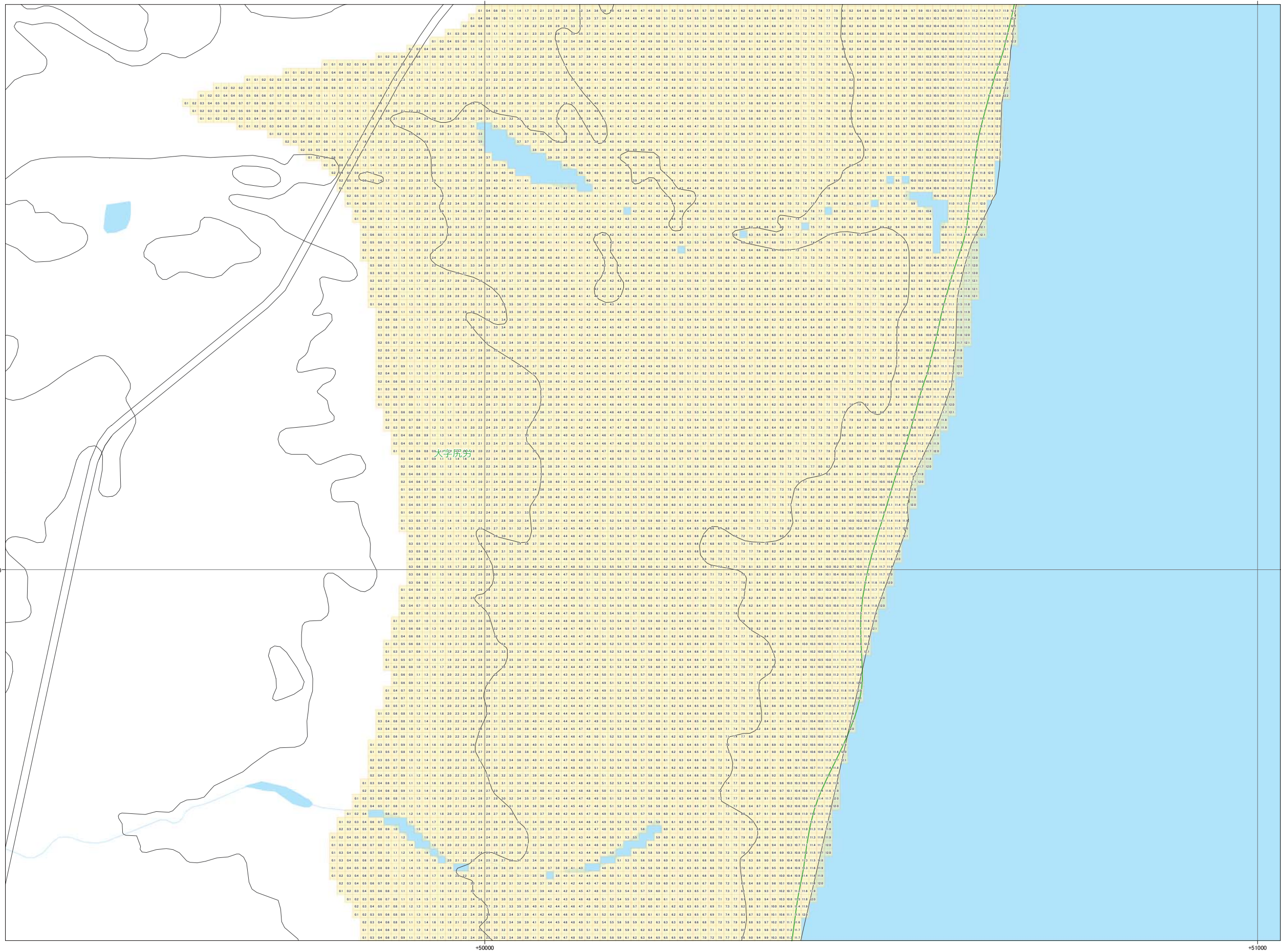
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	27 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル)	市町村界	
※基準水位の記載が無い区域は、付近の基準水位を参考とすること。				



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



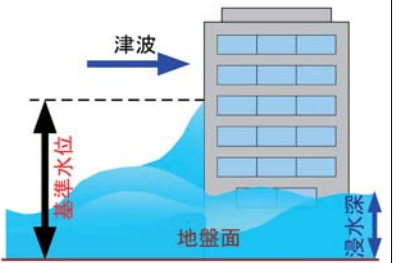
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

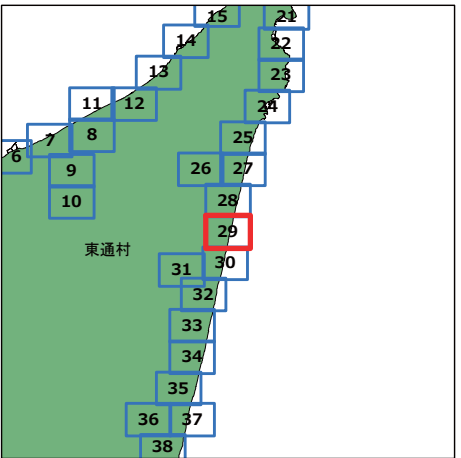
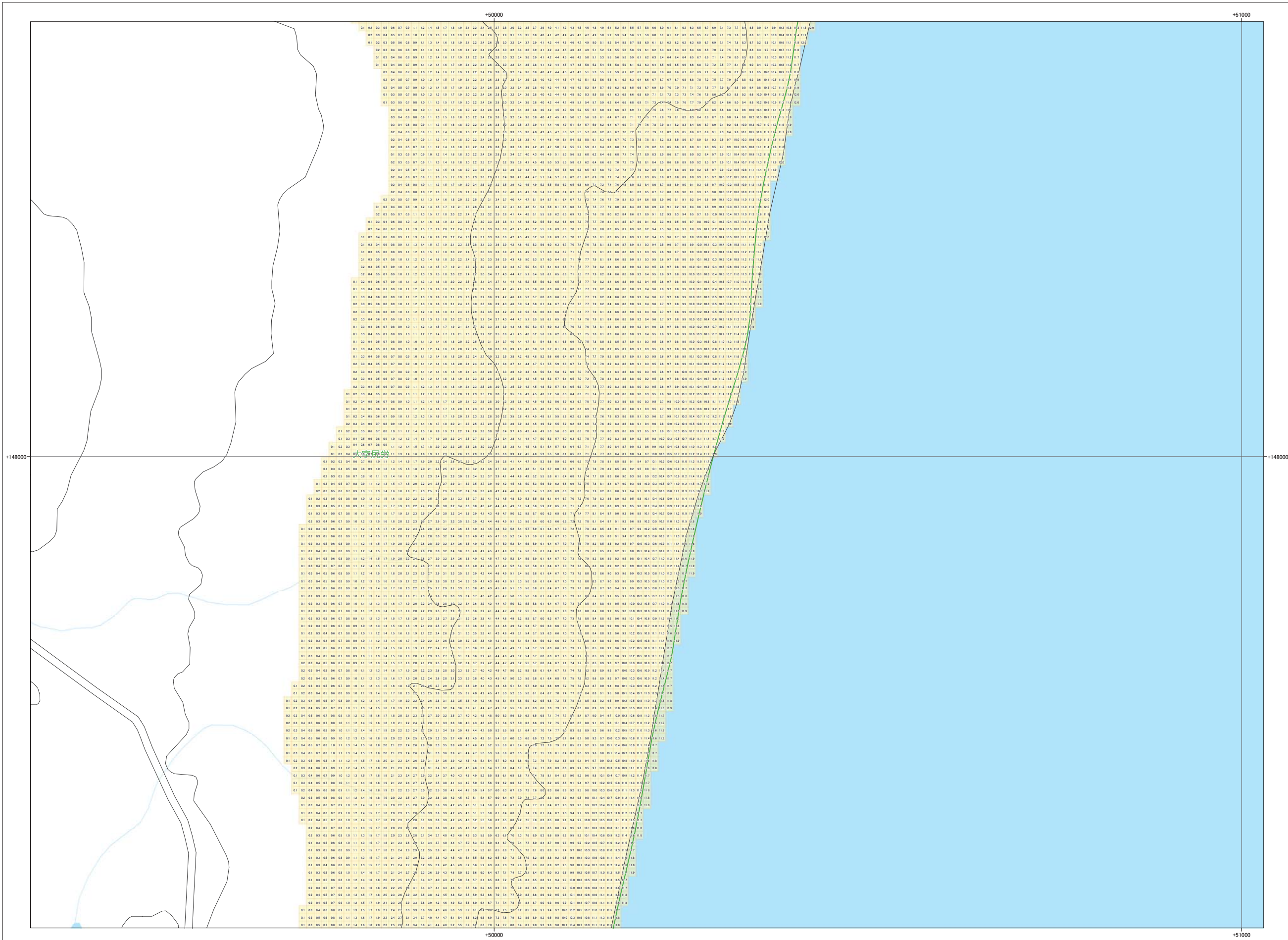
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	28 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





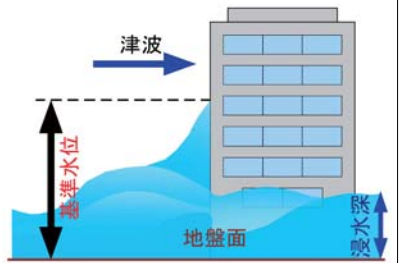
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

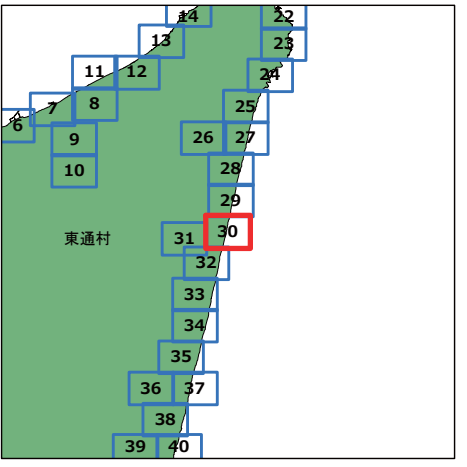
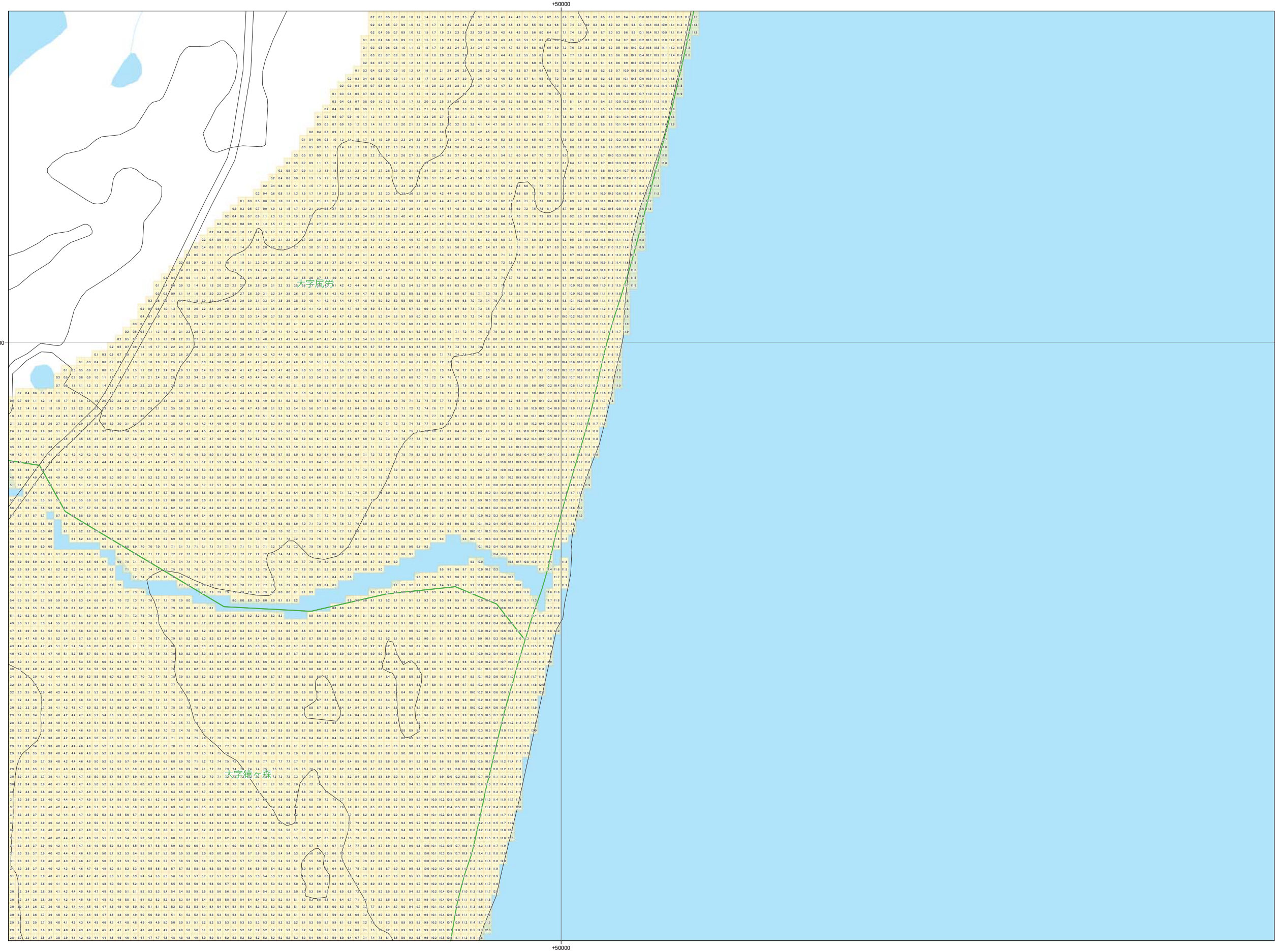
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	29 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





<留意事項>

【津波災害警戒区域】

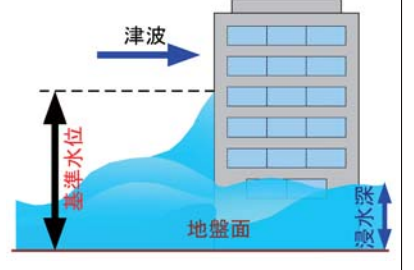
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

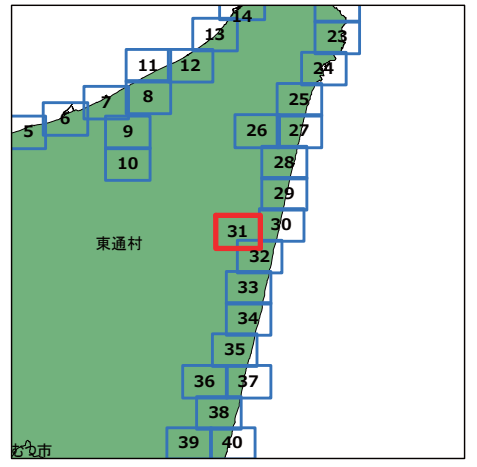
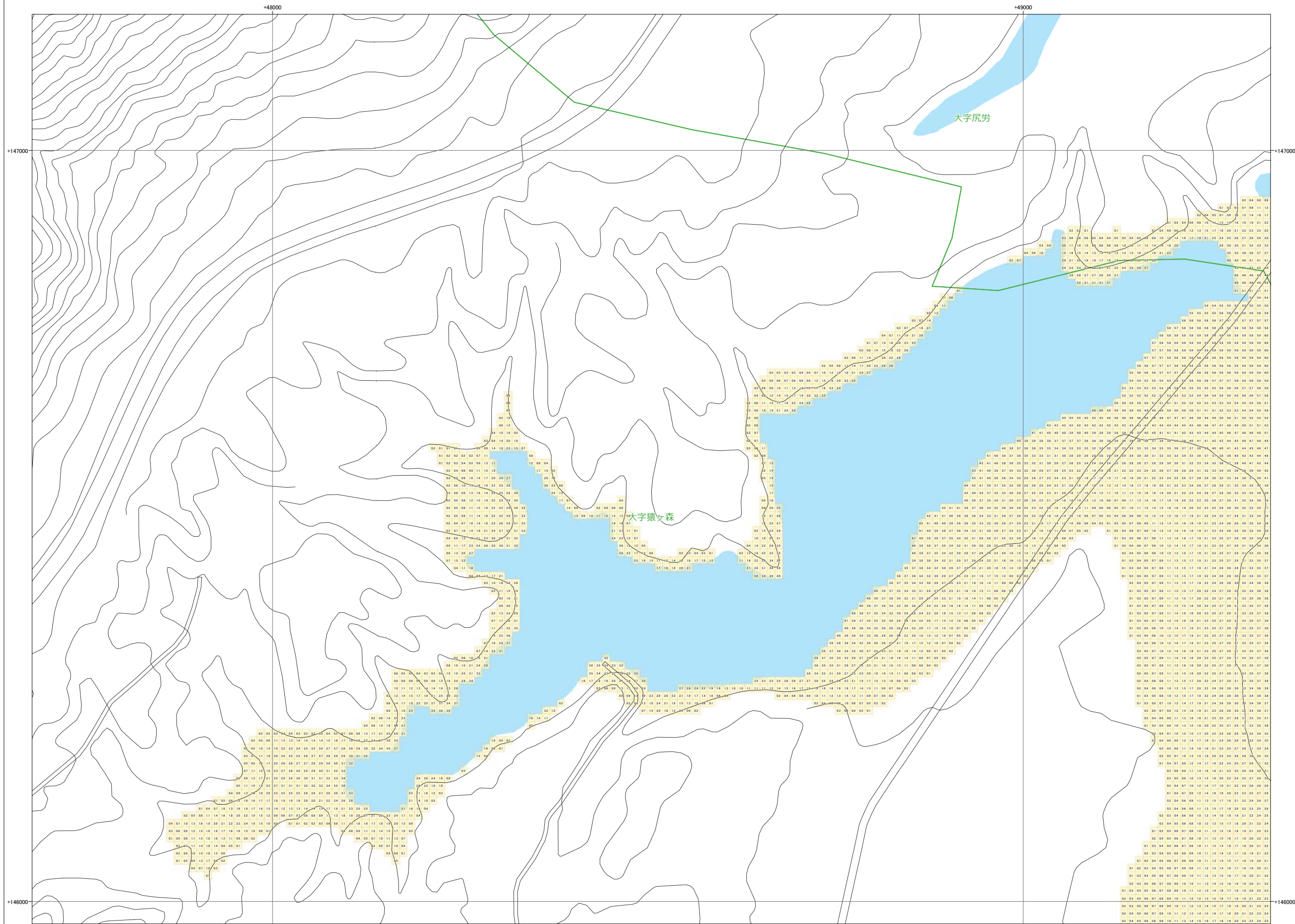
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	30 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	 基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



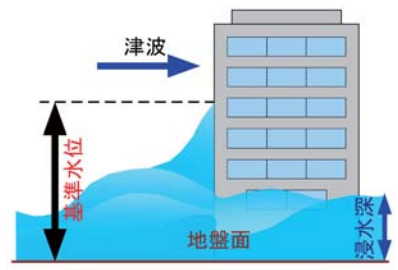
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

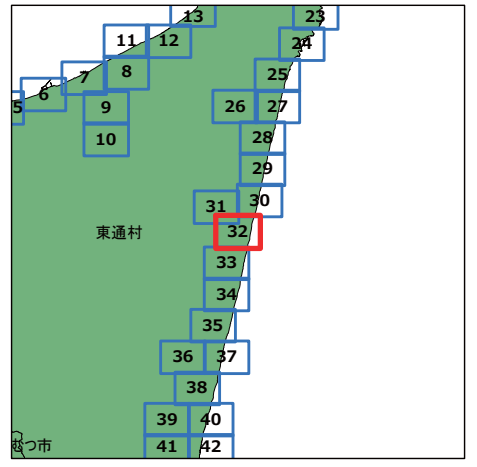
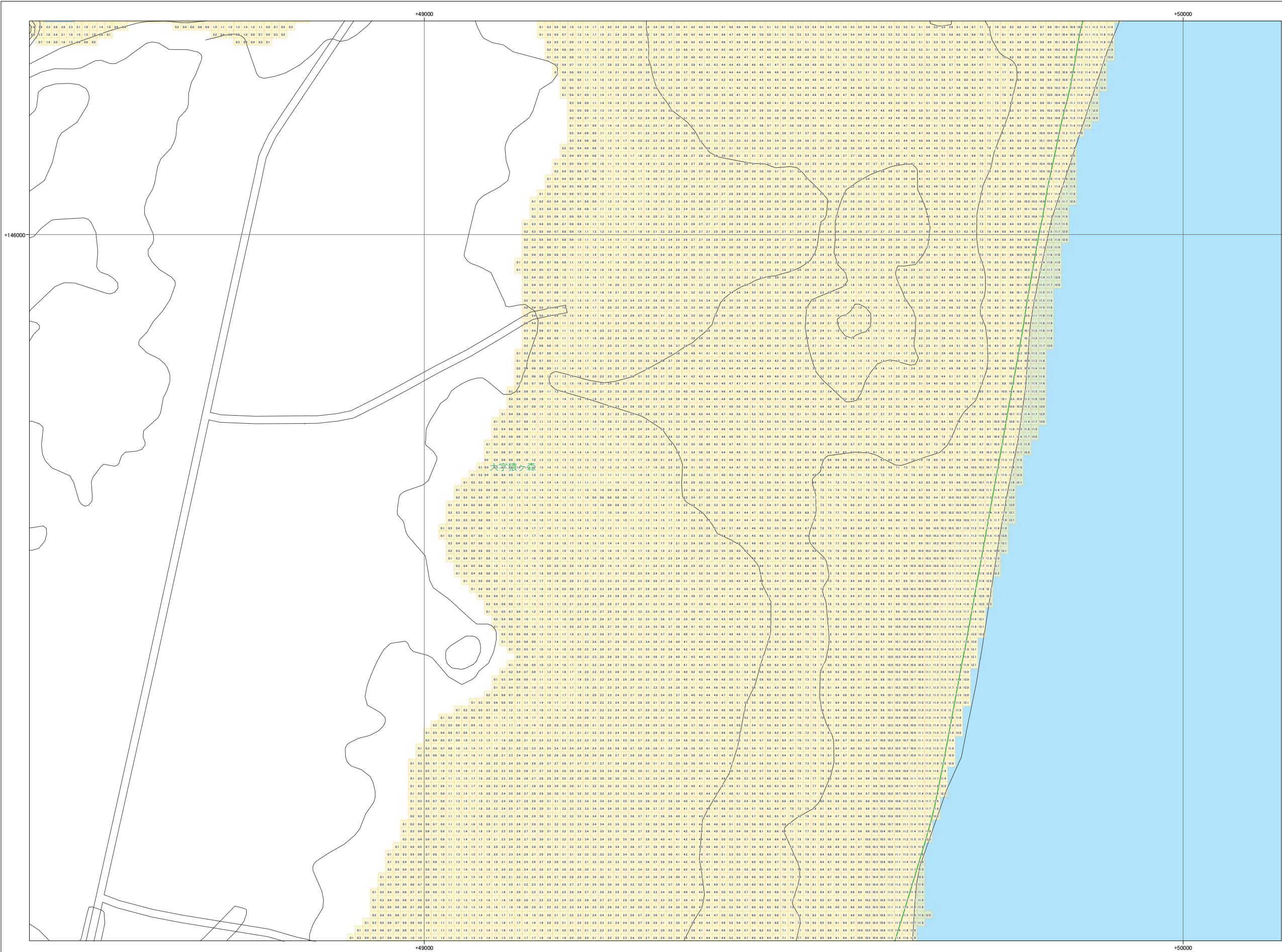
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	31 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

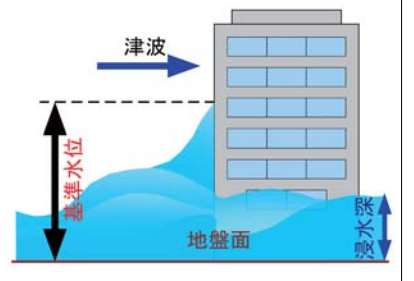
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

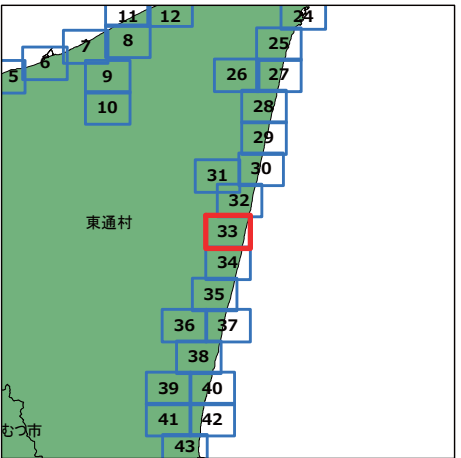
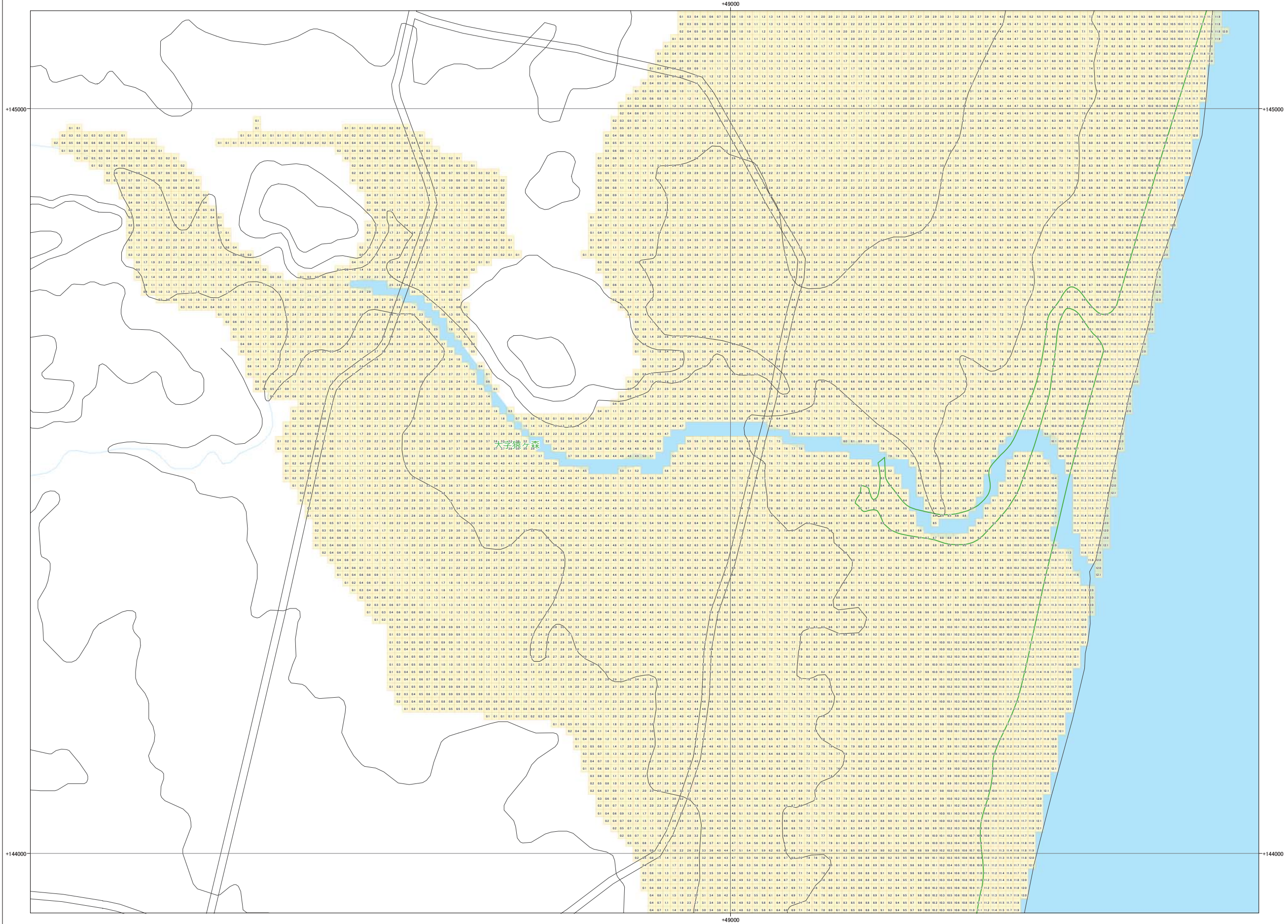
	東通村	32 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）





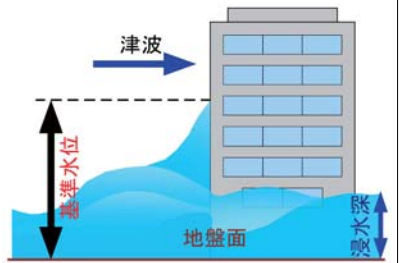
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

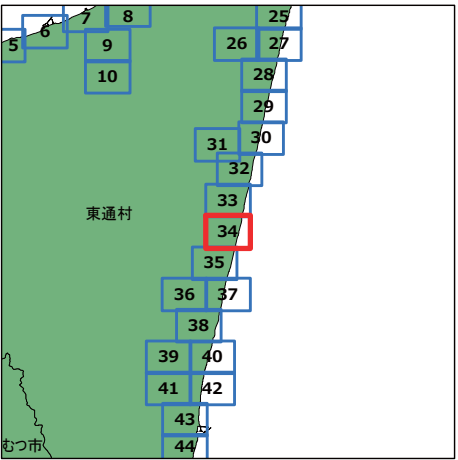
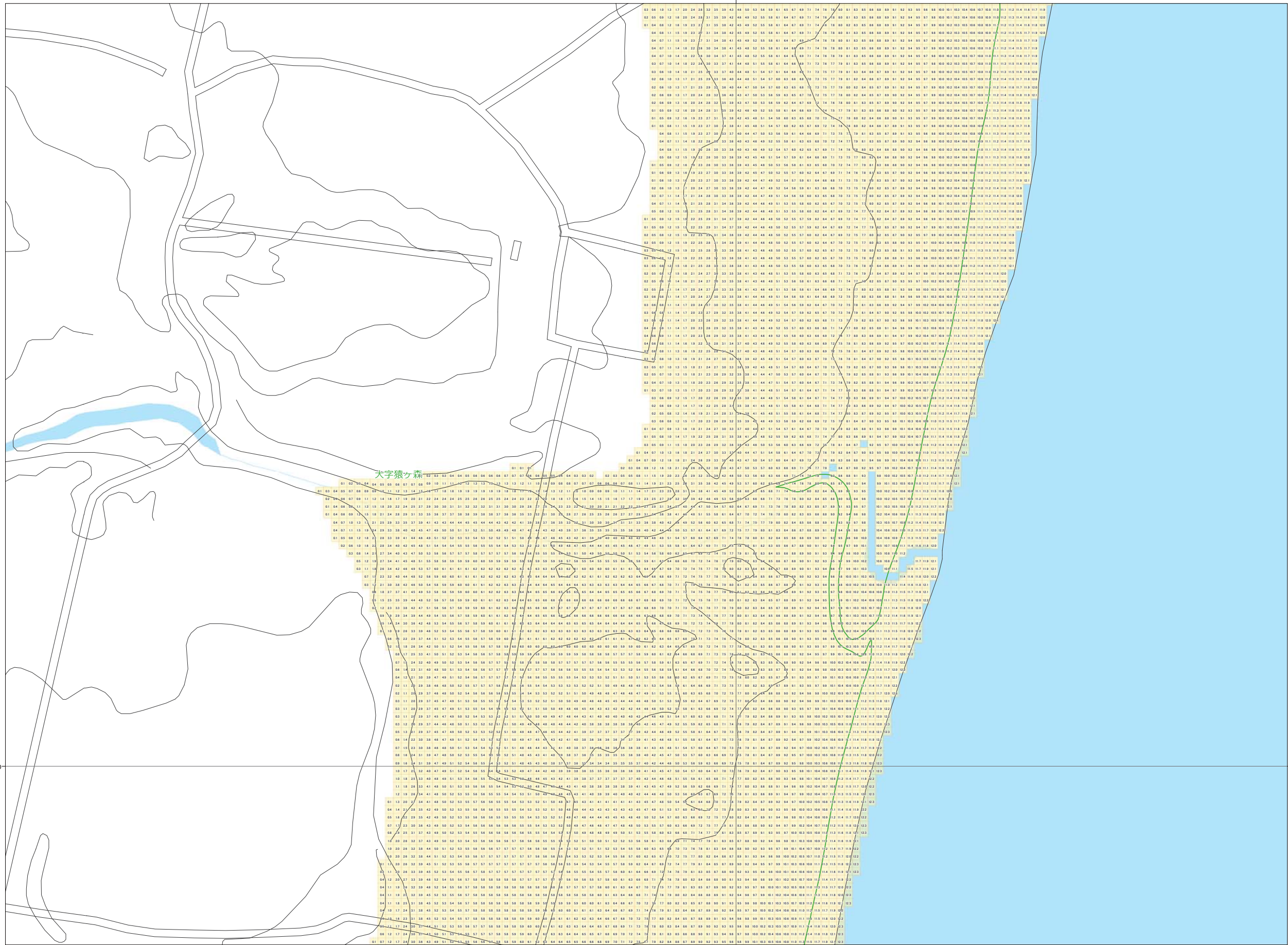
	東通村	33 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

# 津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書



**<留意事項>**

【津波災害警戒区域】

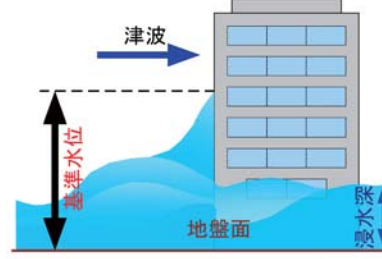
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

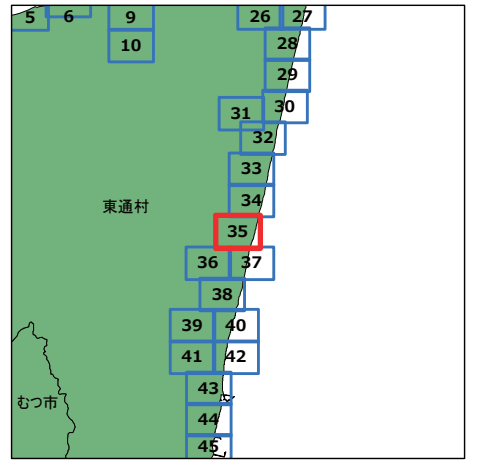
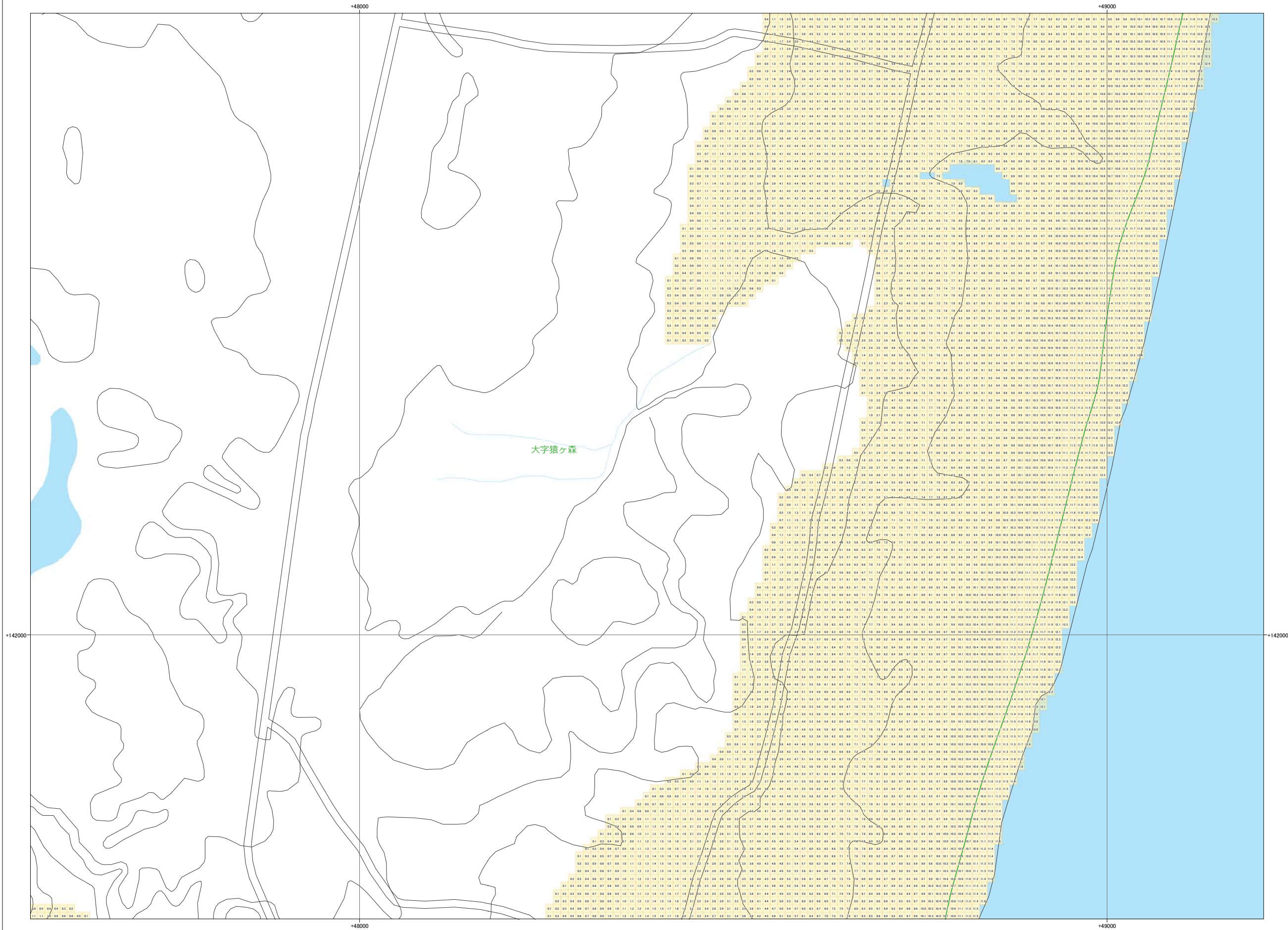
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	34 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位:メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



## 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



<留意事項>

【津波災害警戒区域】

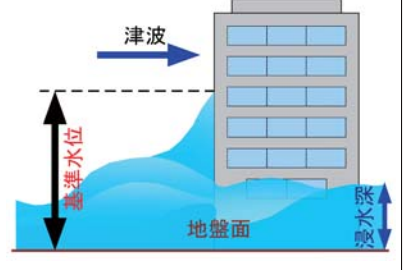
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	35 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



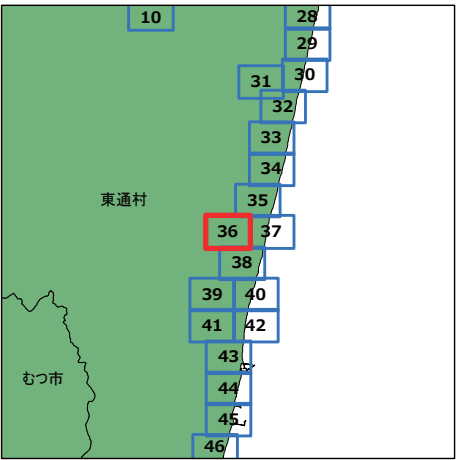
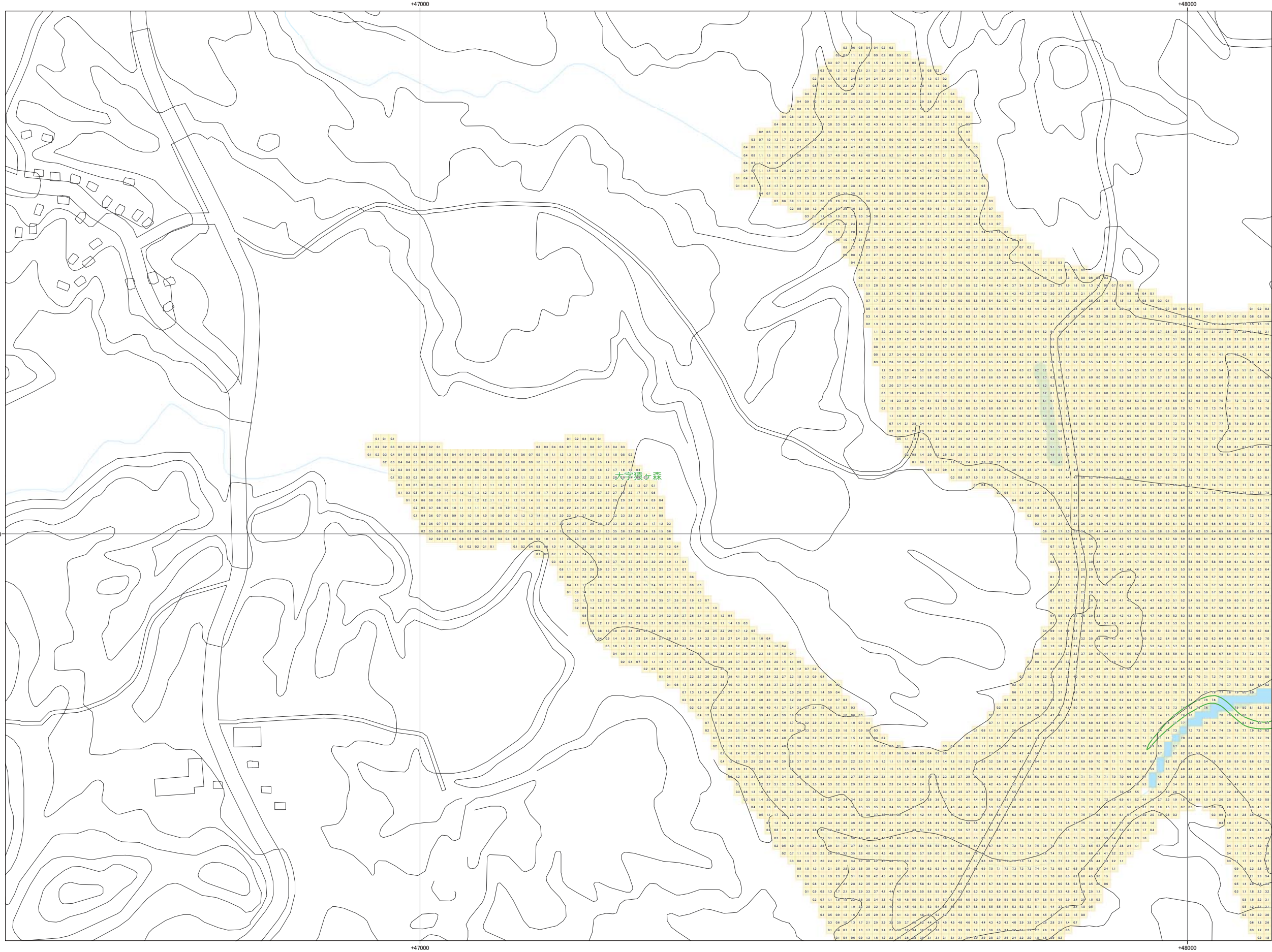
出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ

背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」

施設名称：東通村指定緊急避難場所

図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



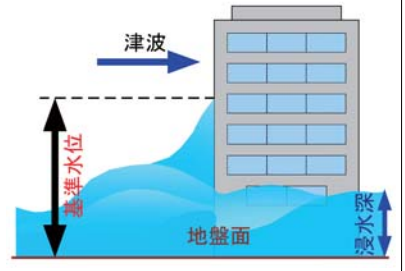
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

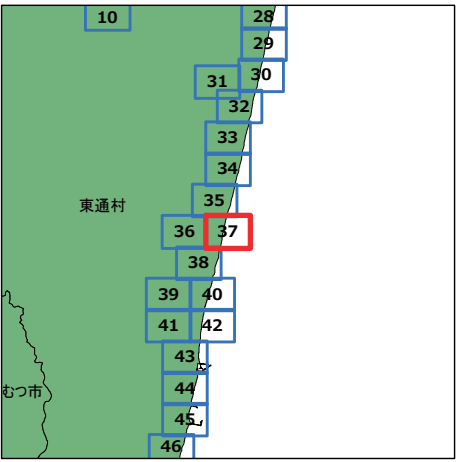
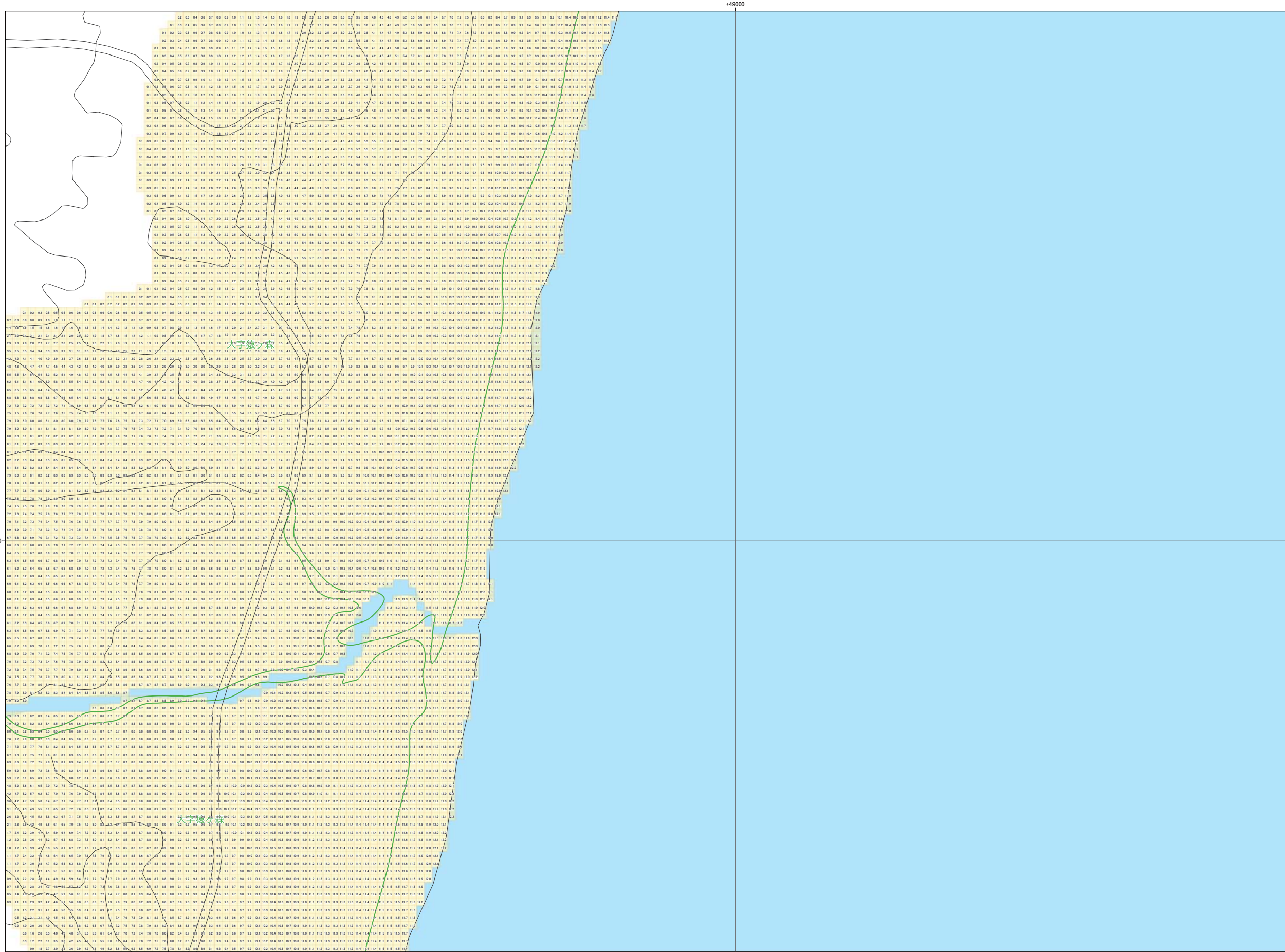
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	36 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



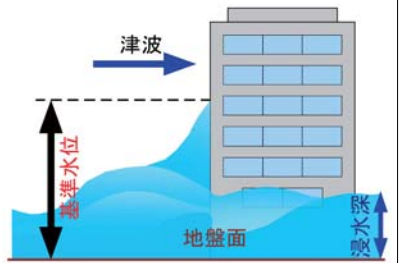
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

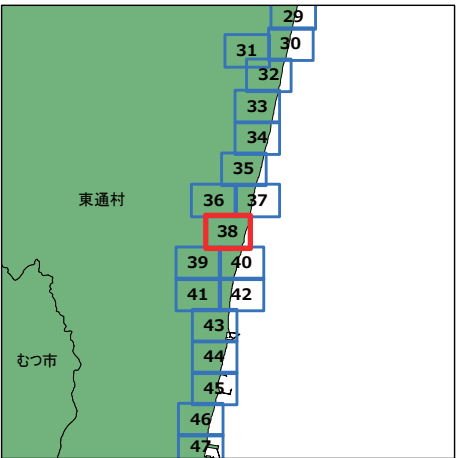
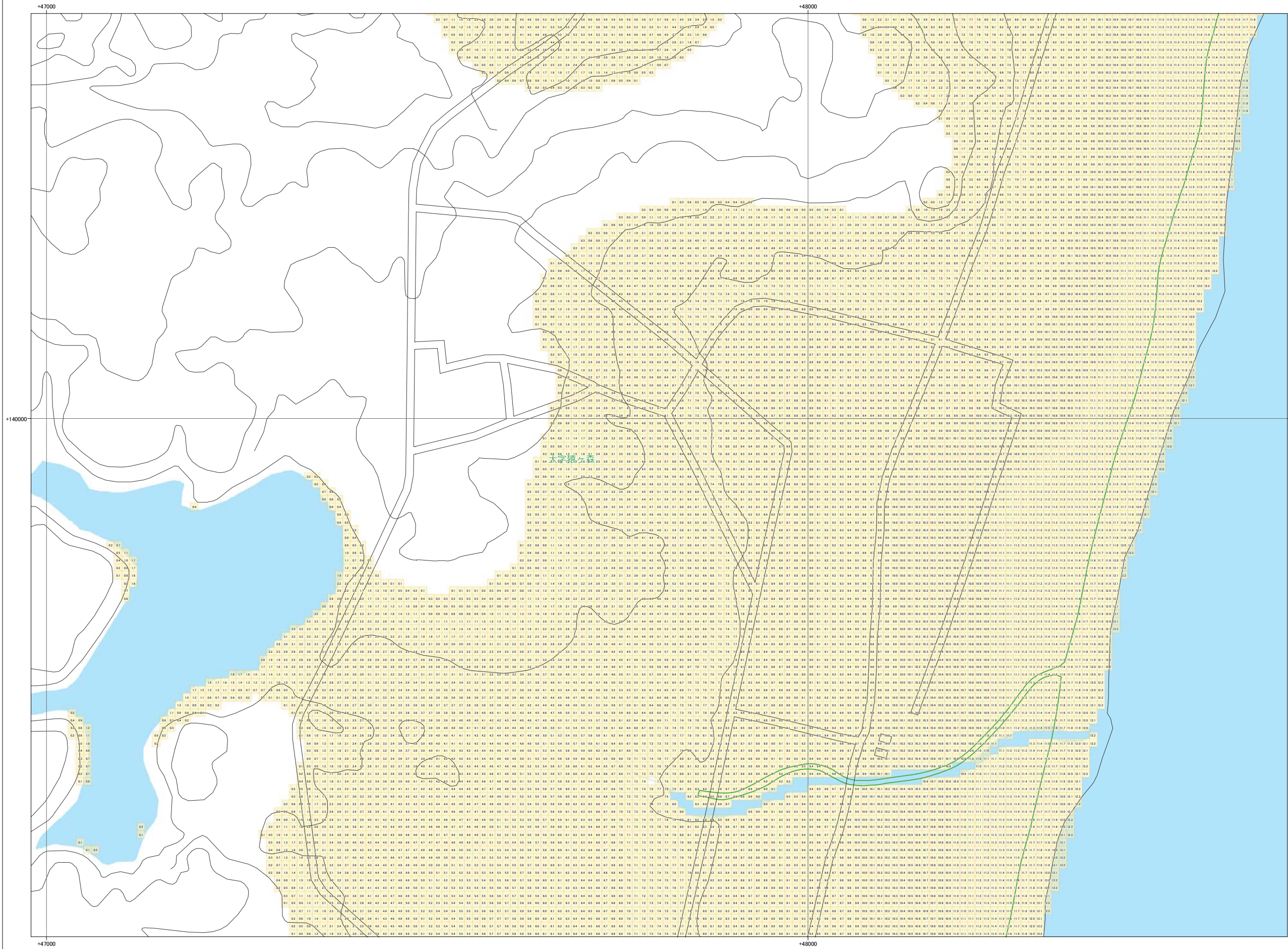
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	37 / 55	町丁・字等境界	
	縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



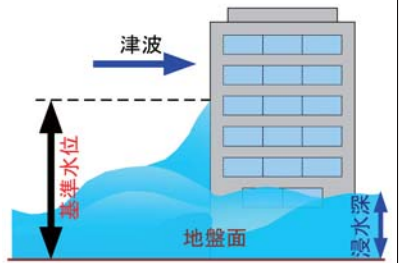
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

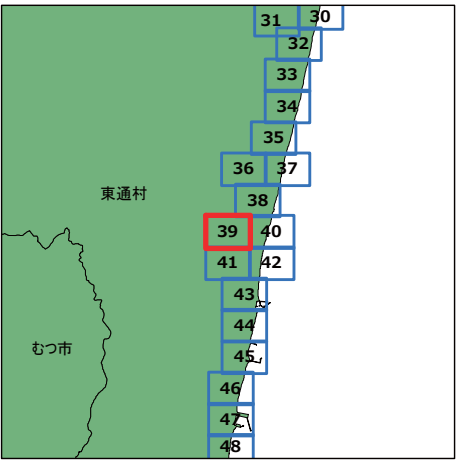
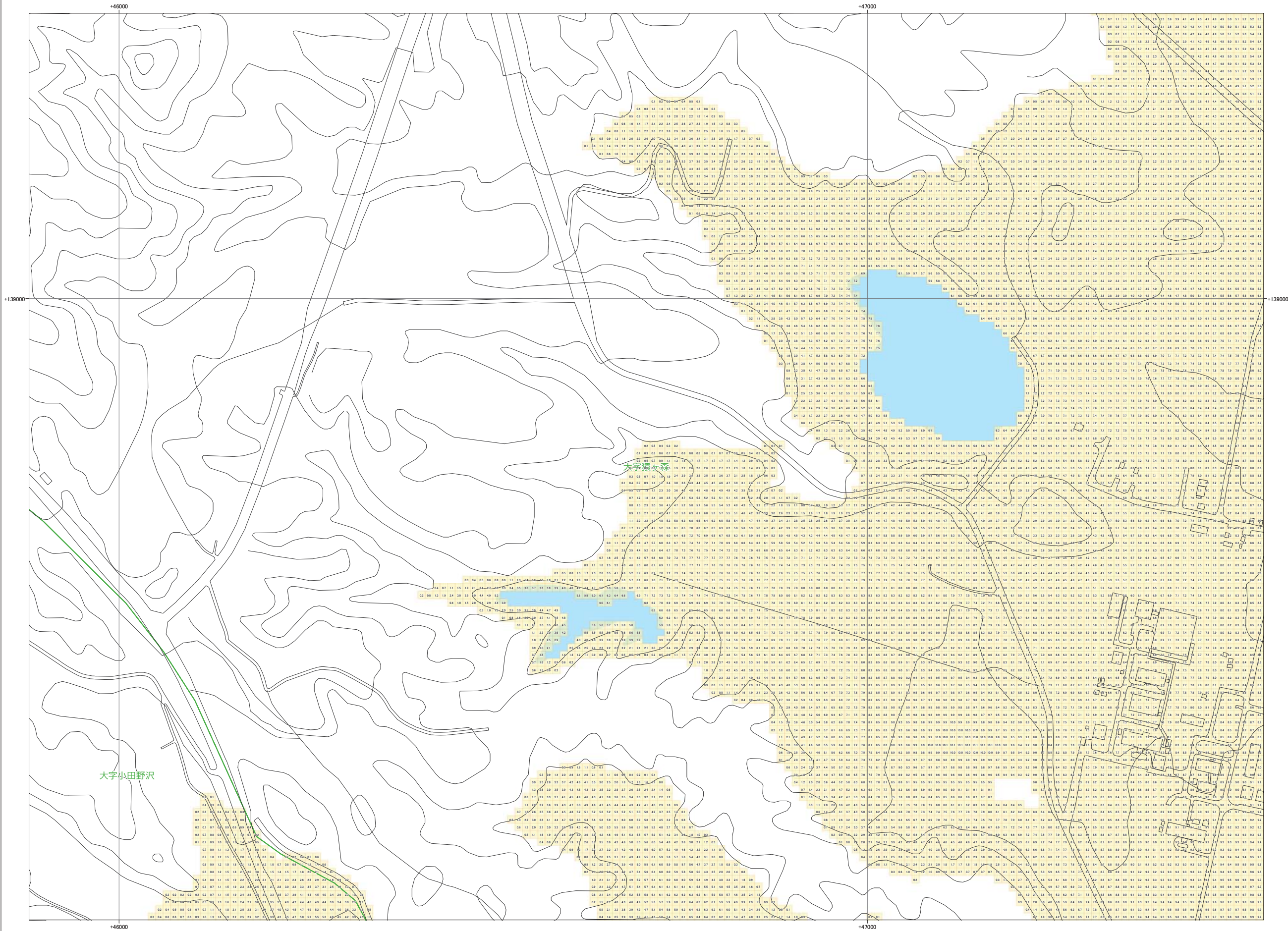
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



	東通村	38 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



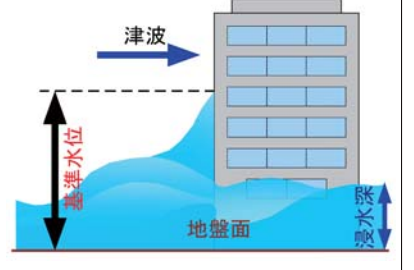
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

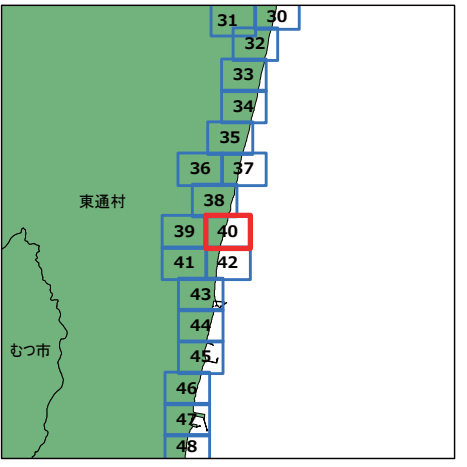
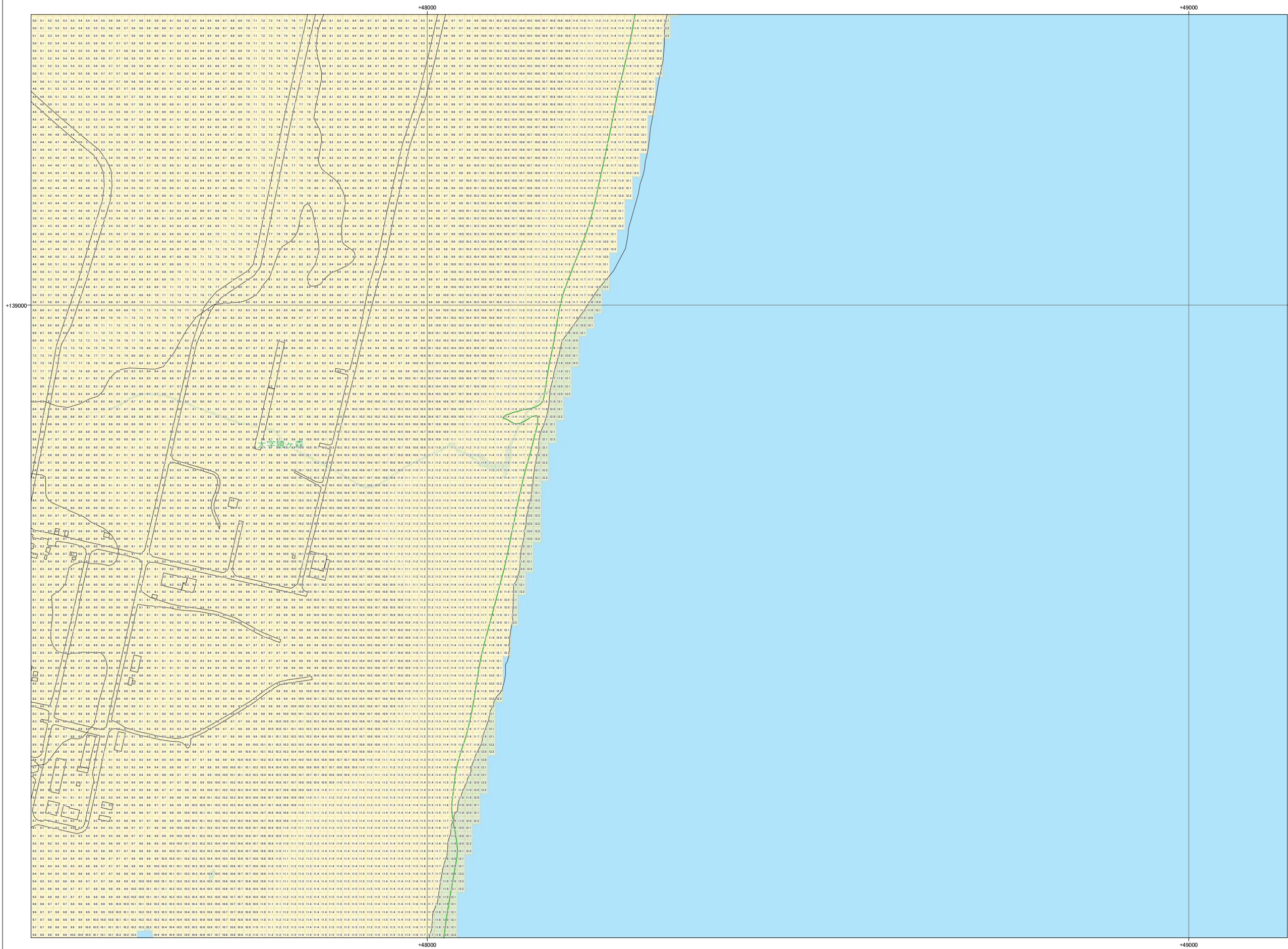
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	39 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





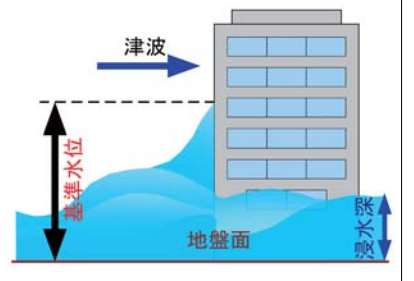
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

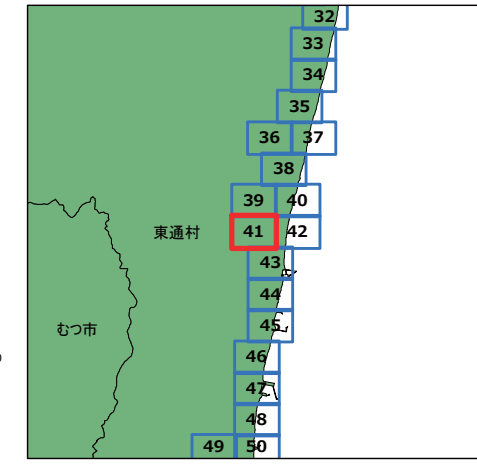
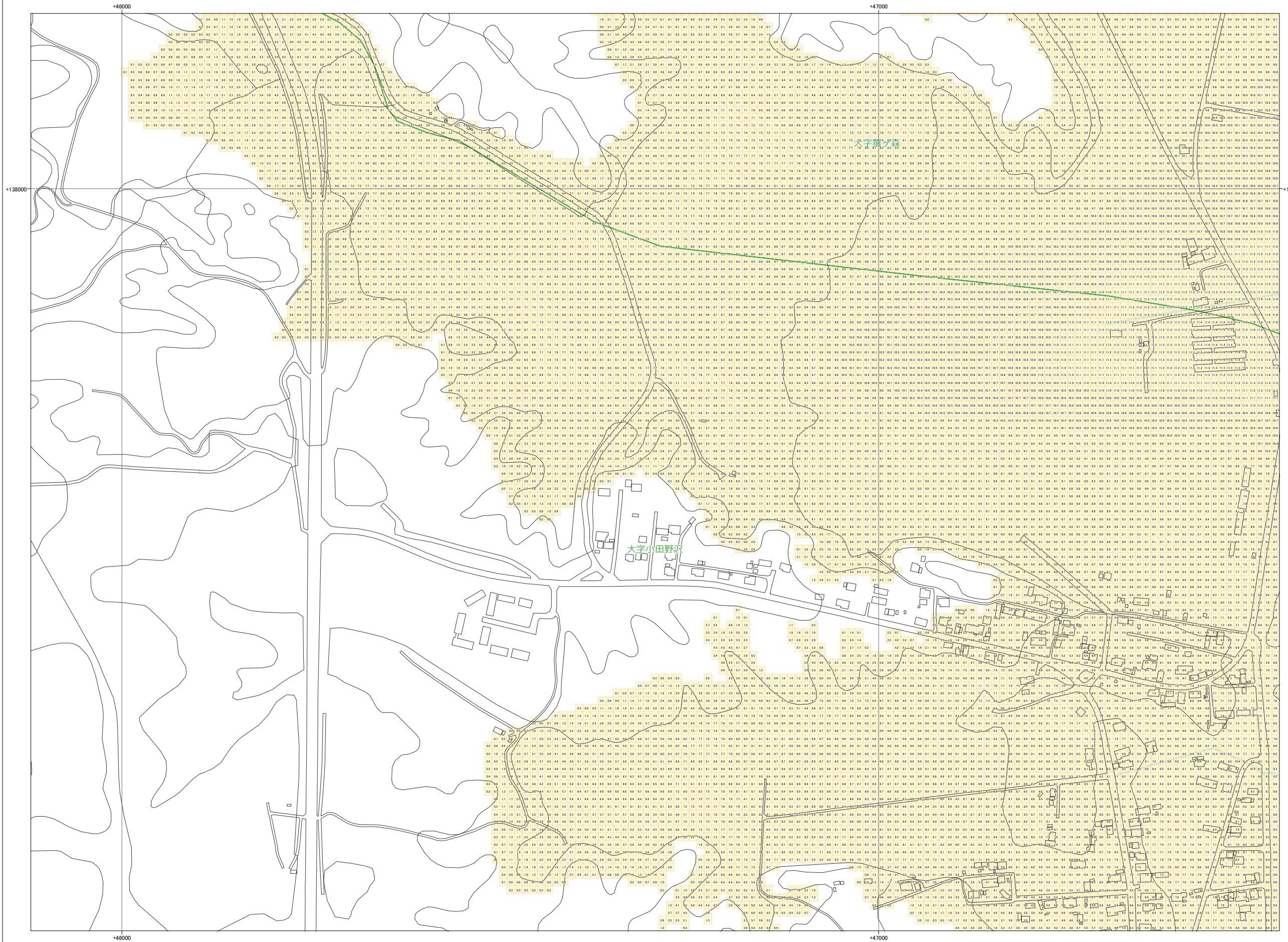
縮尺 1:2,500	東通村	40 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)		市町村界	
※基準水位の記載が無い区域は、付近の基準水位を参考とすること。				



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）





**<留意事項>**

【津波災害警戒区域】

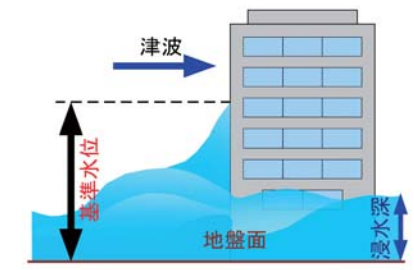
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

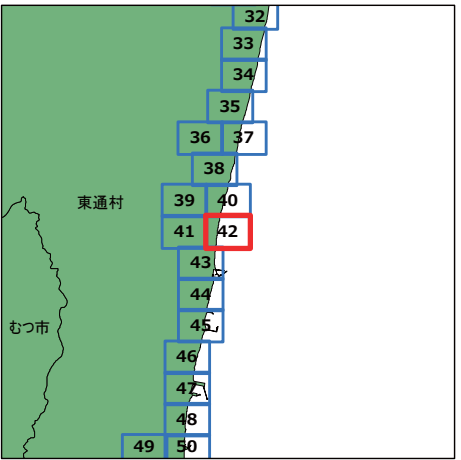
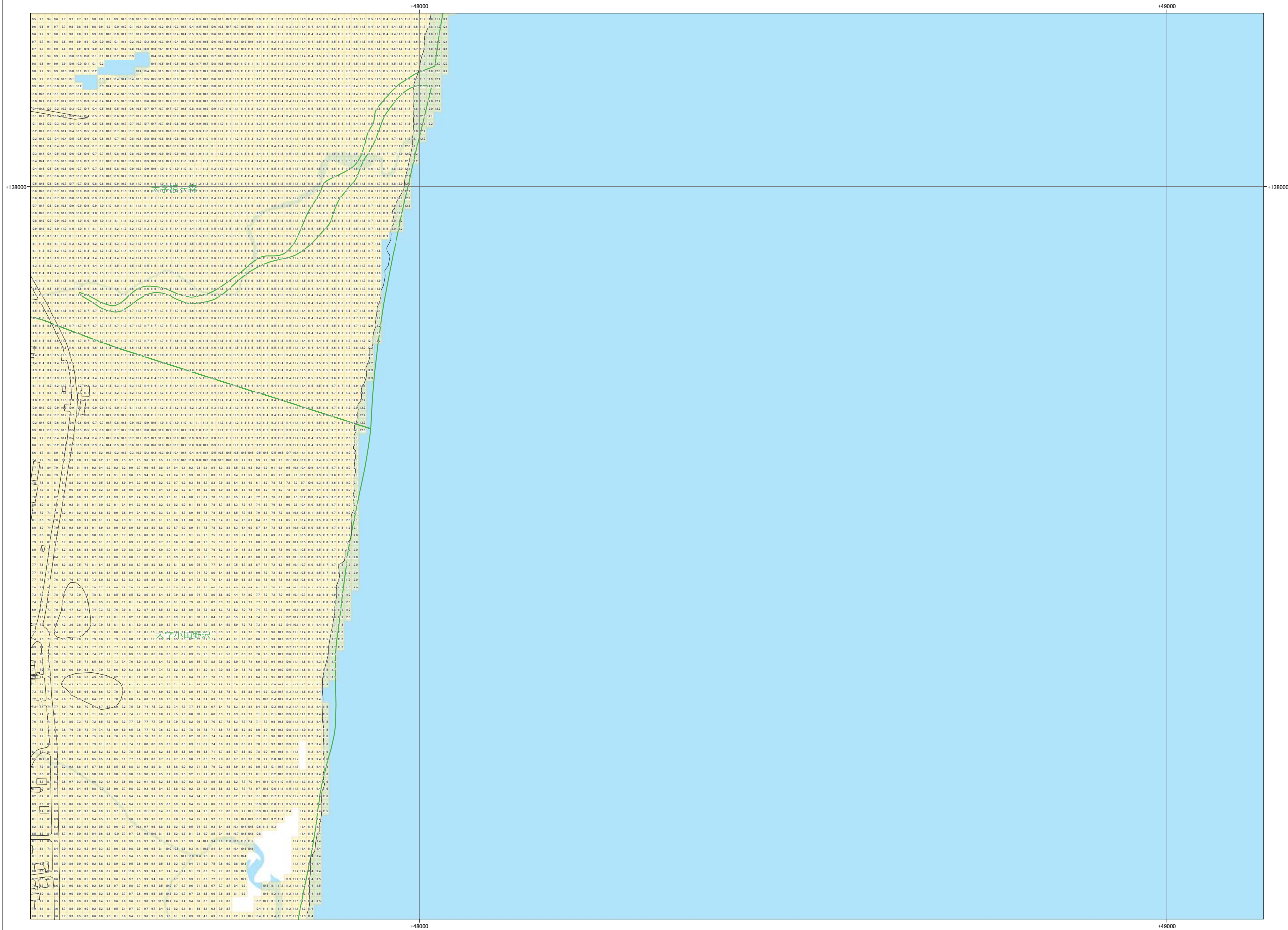
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	41 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



**<留意事項>**

【津波災害警戒区域】

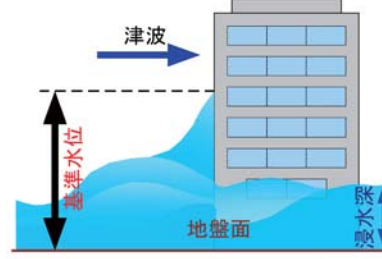
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

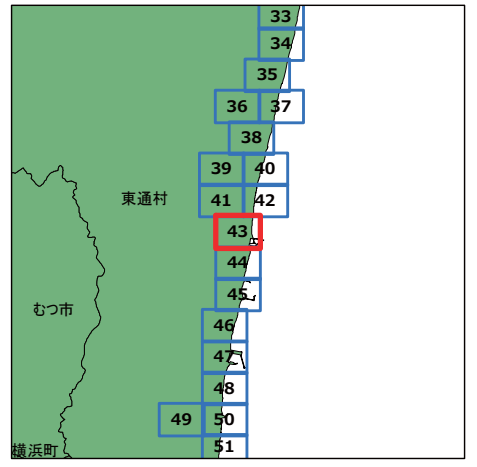
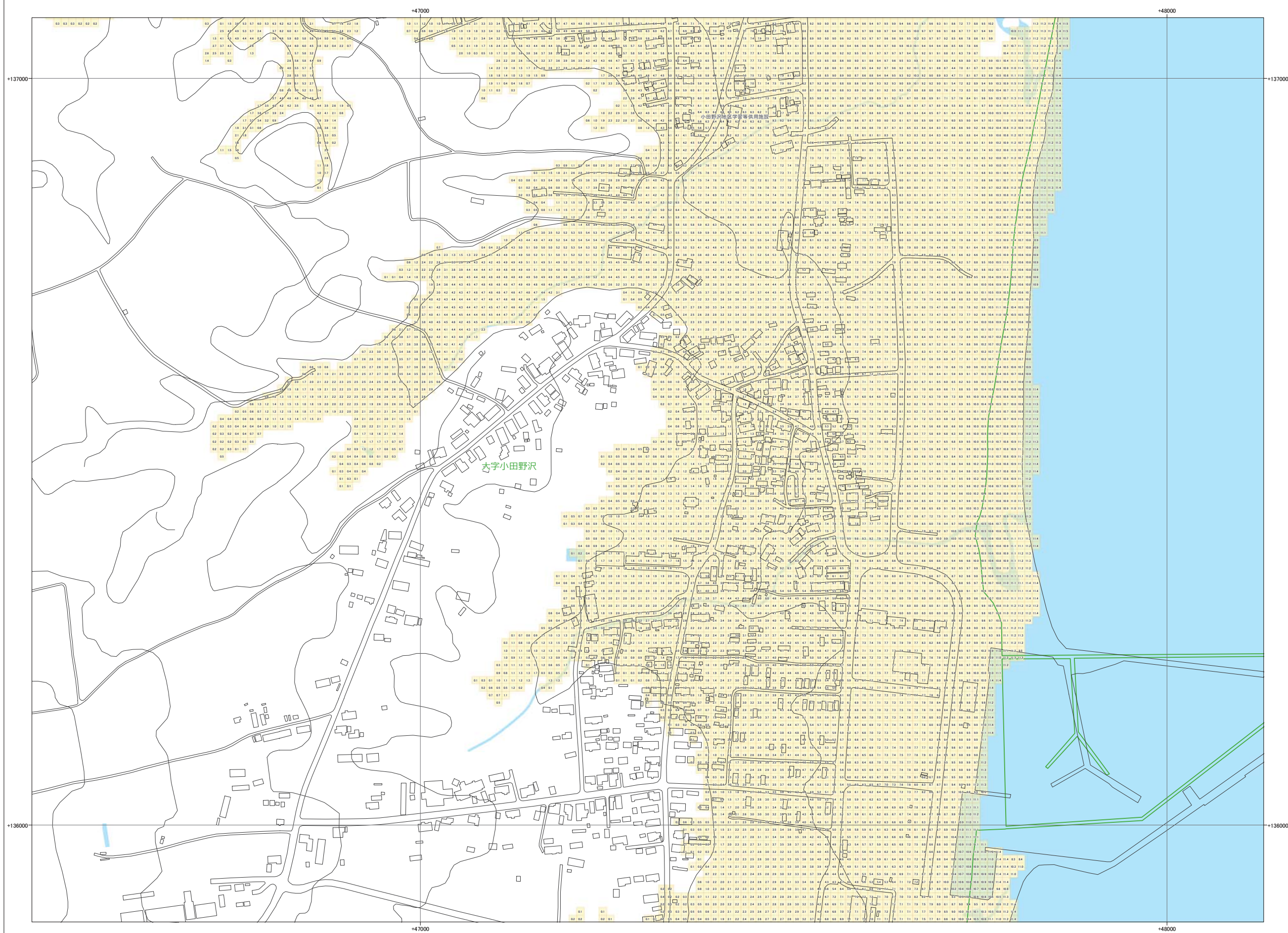
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	42 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位:メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



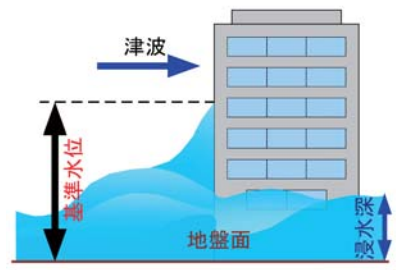
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



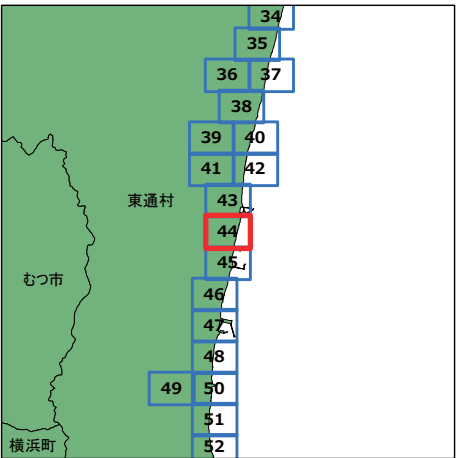
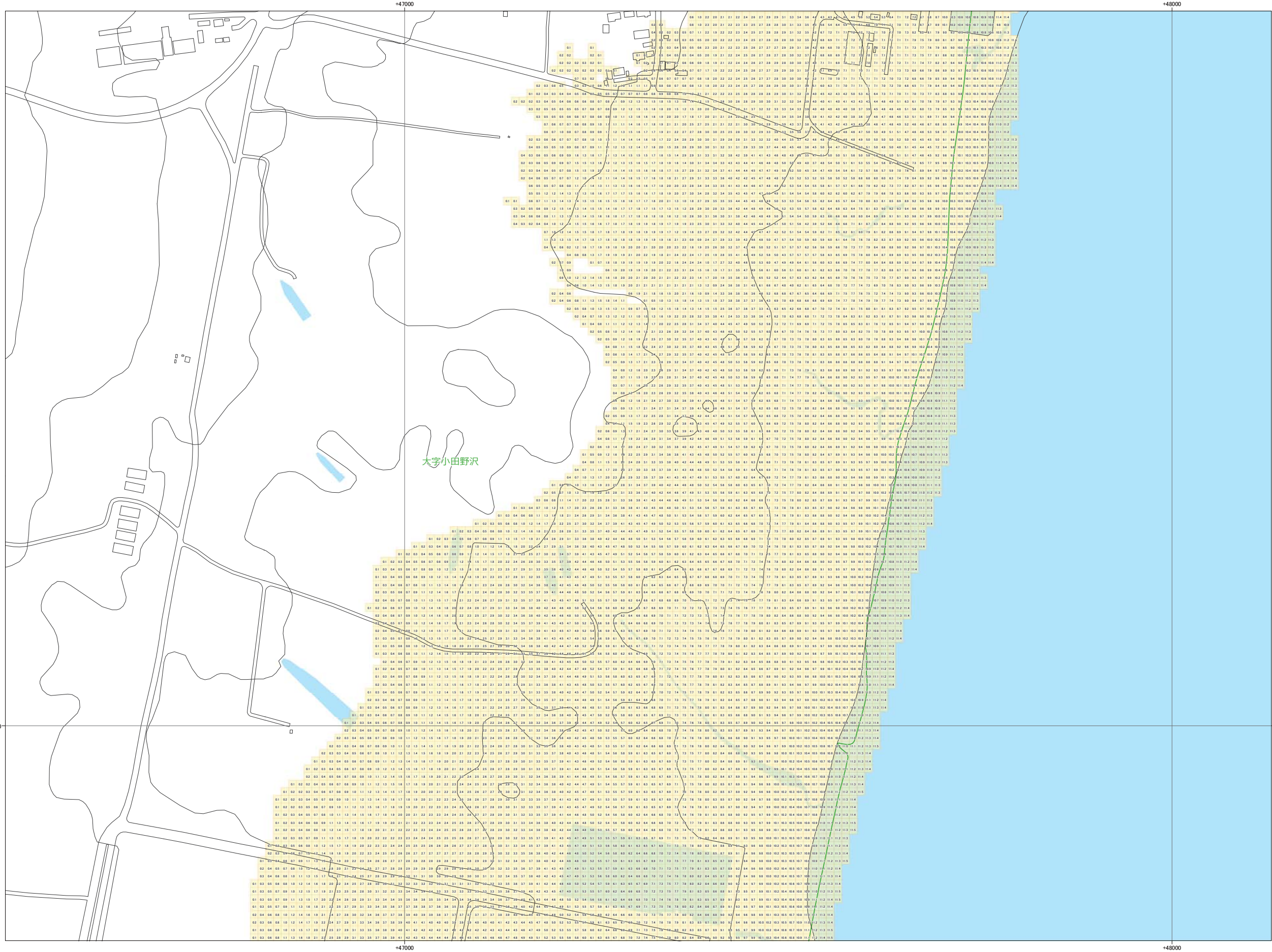
#### 【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	43 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等  
 町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



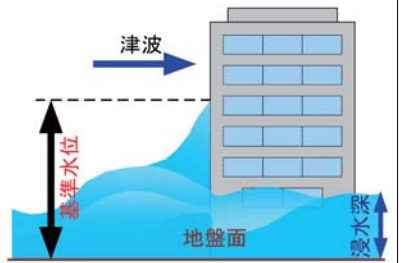
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

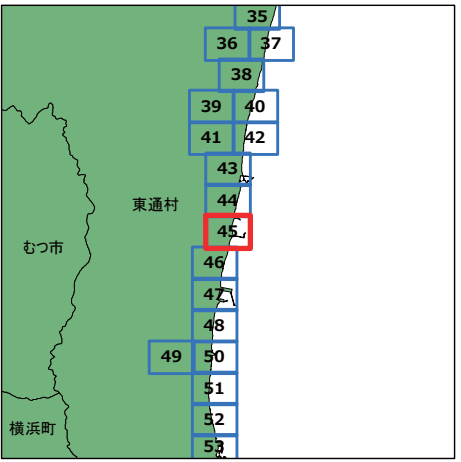
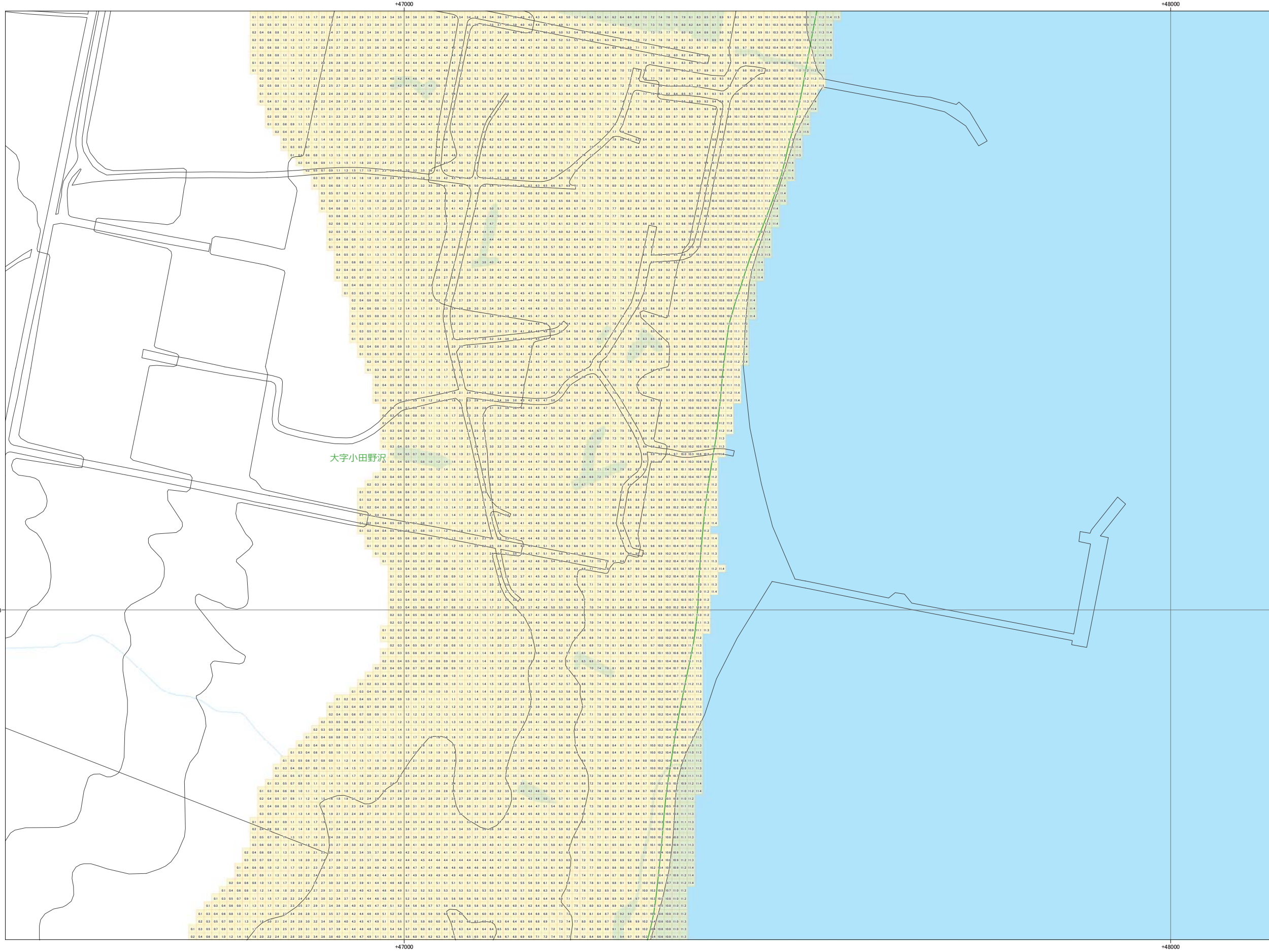
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	44 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



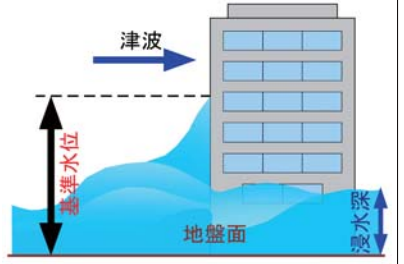
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

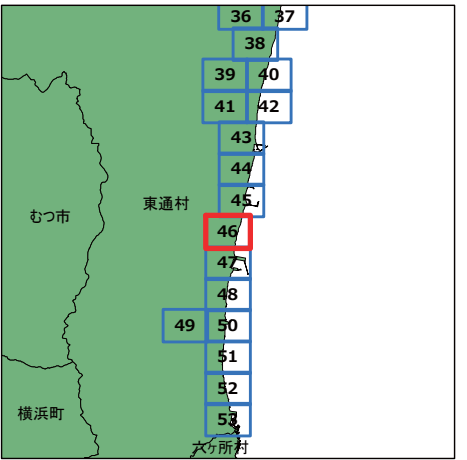
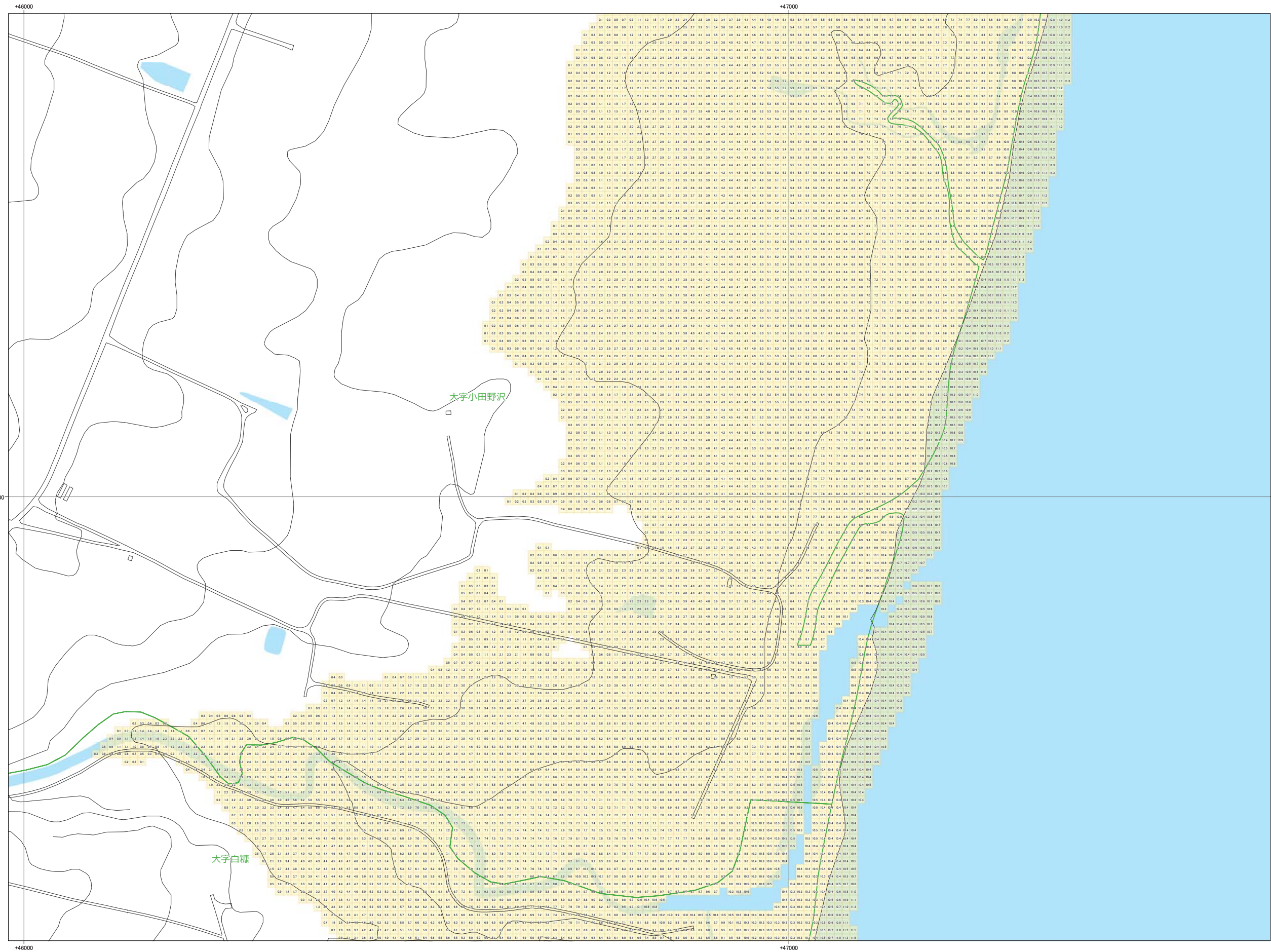
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	45 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





<留意事項>

【津波災害警戒区域】

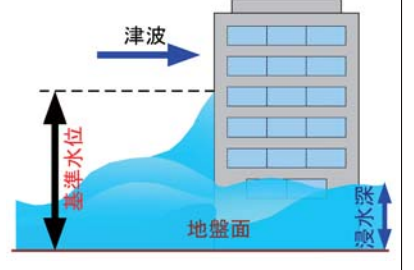
○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。

○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。

○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

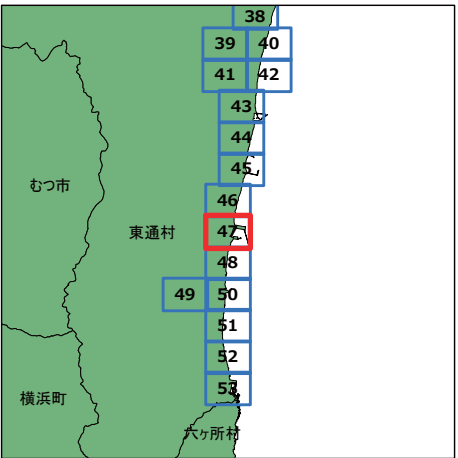
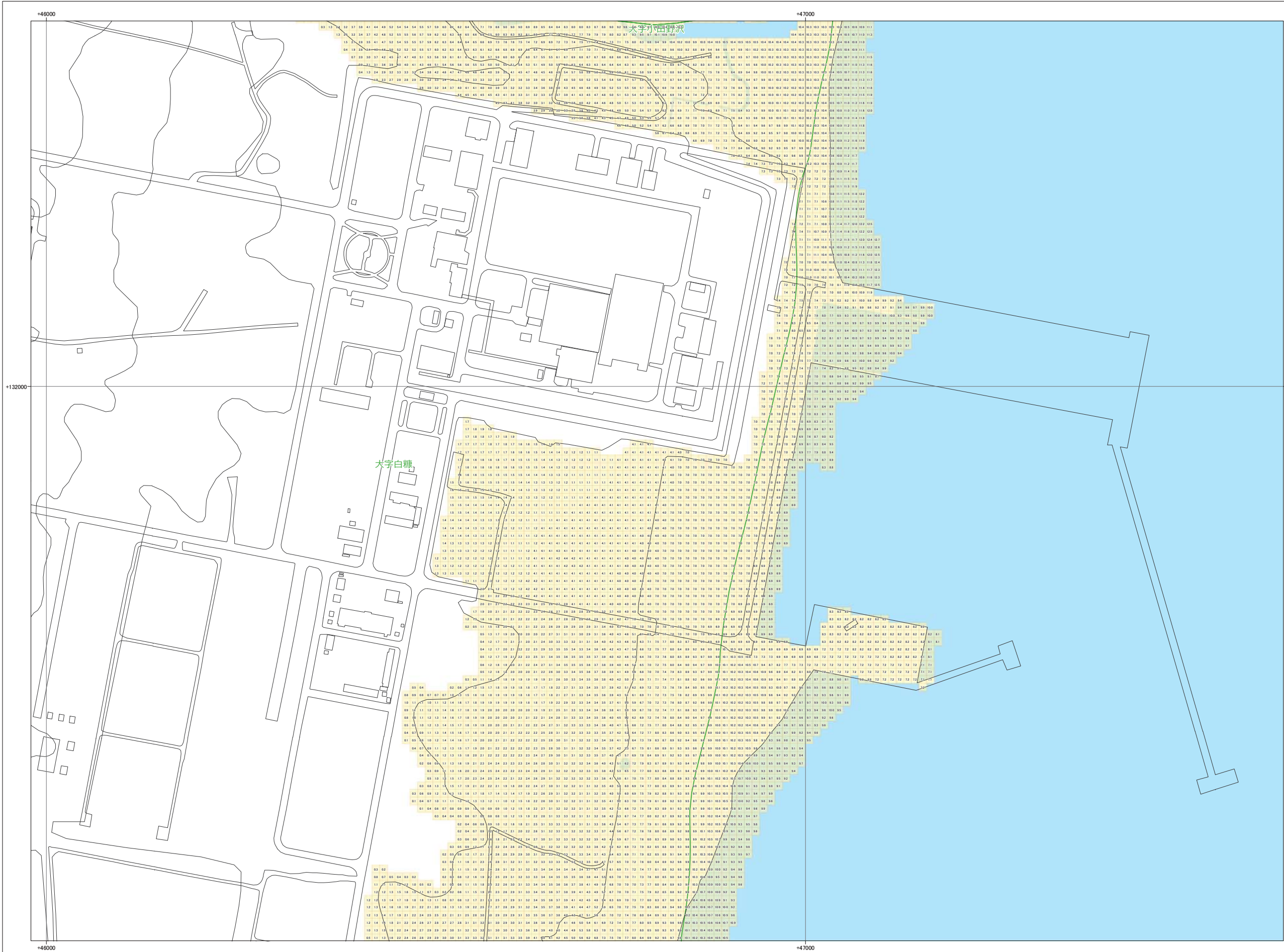
○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	46 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





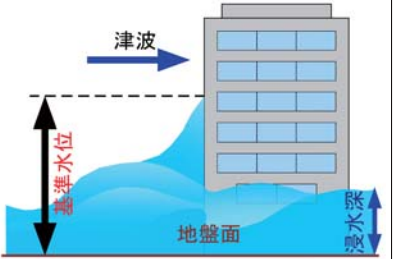
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

【背景地図】

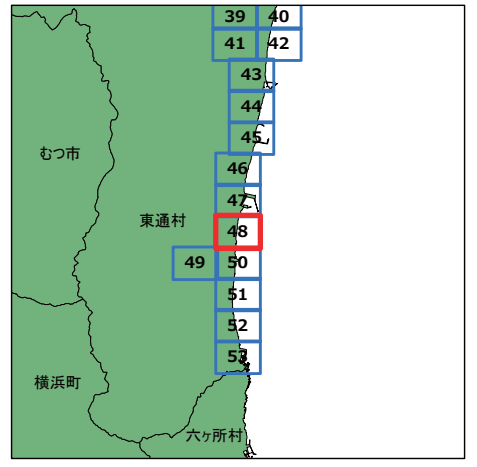
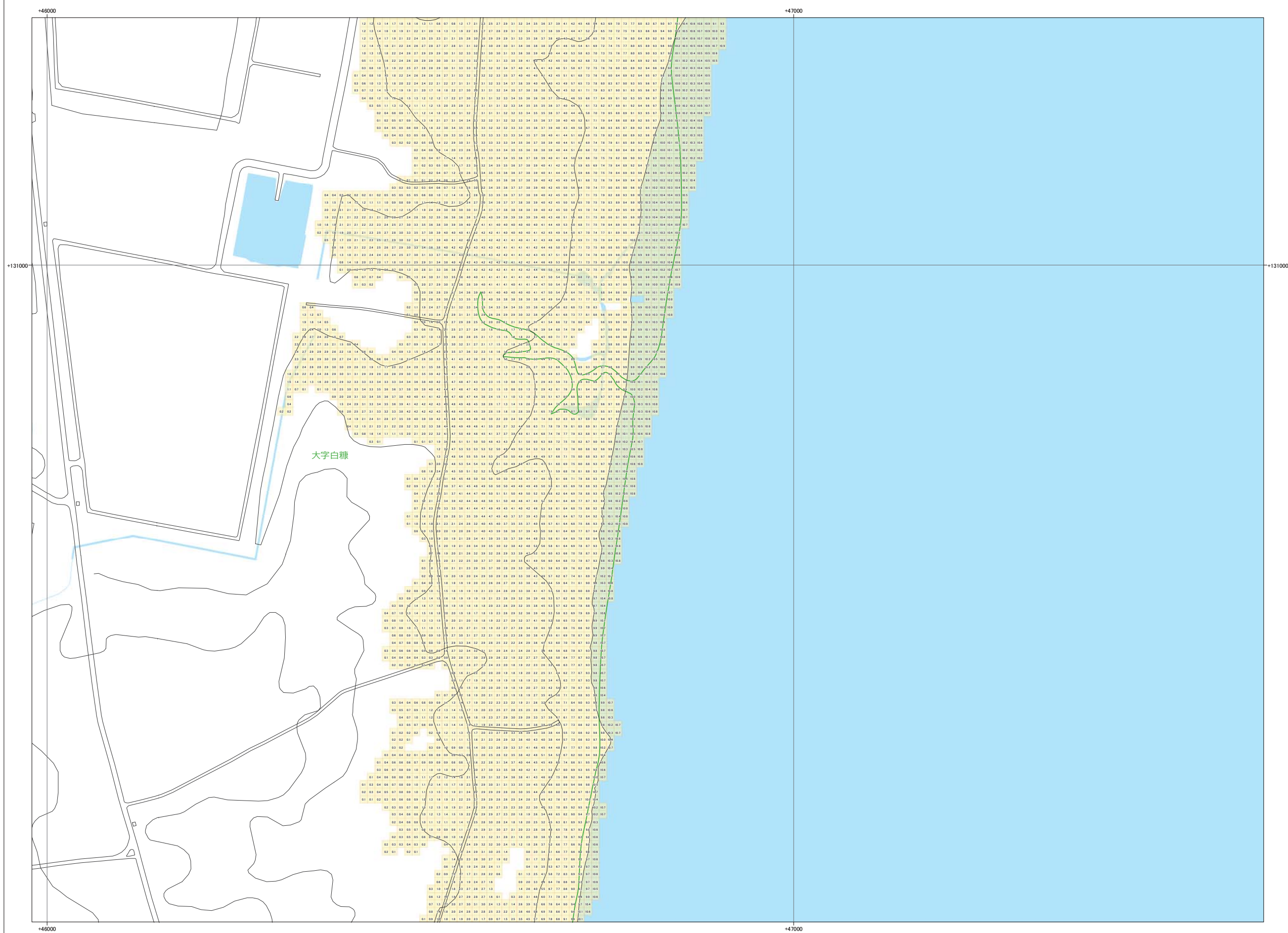
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	47 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等

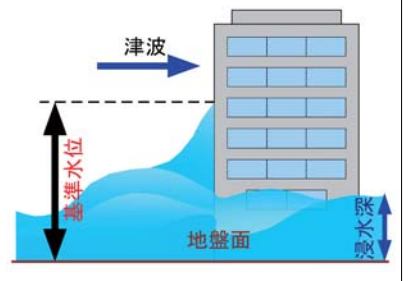
町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



<留意事項>

**【津波災害警戒区域】**  
 ○「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。  
 ○「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**  
 ○「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。  
 ○「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**  
 ○基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。  
**【背景地図】**  
 ○「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

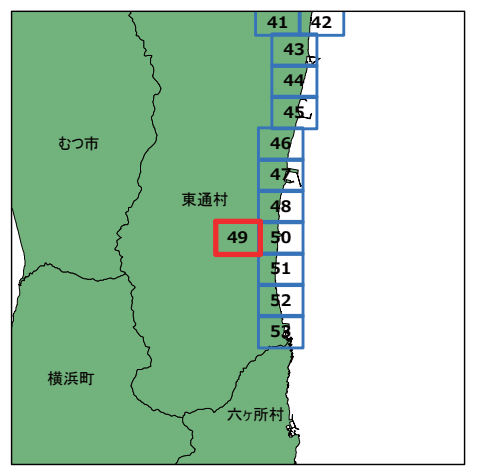
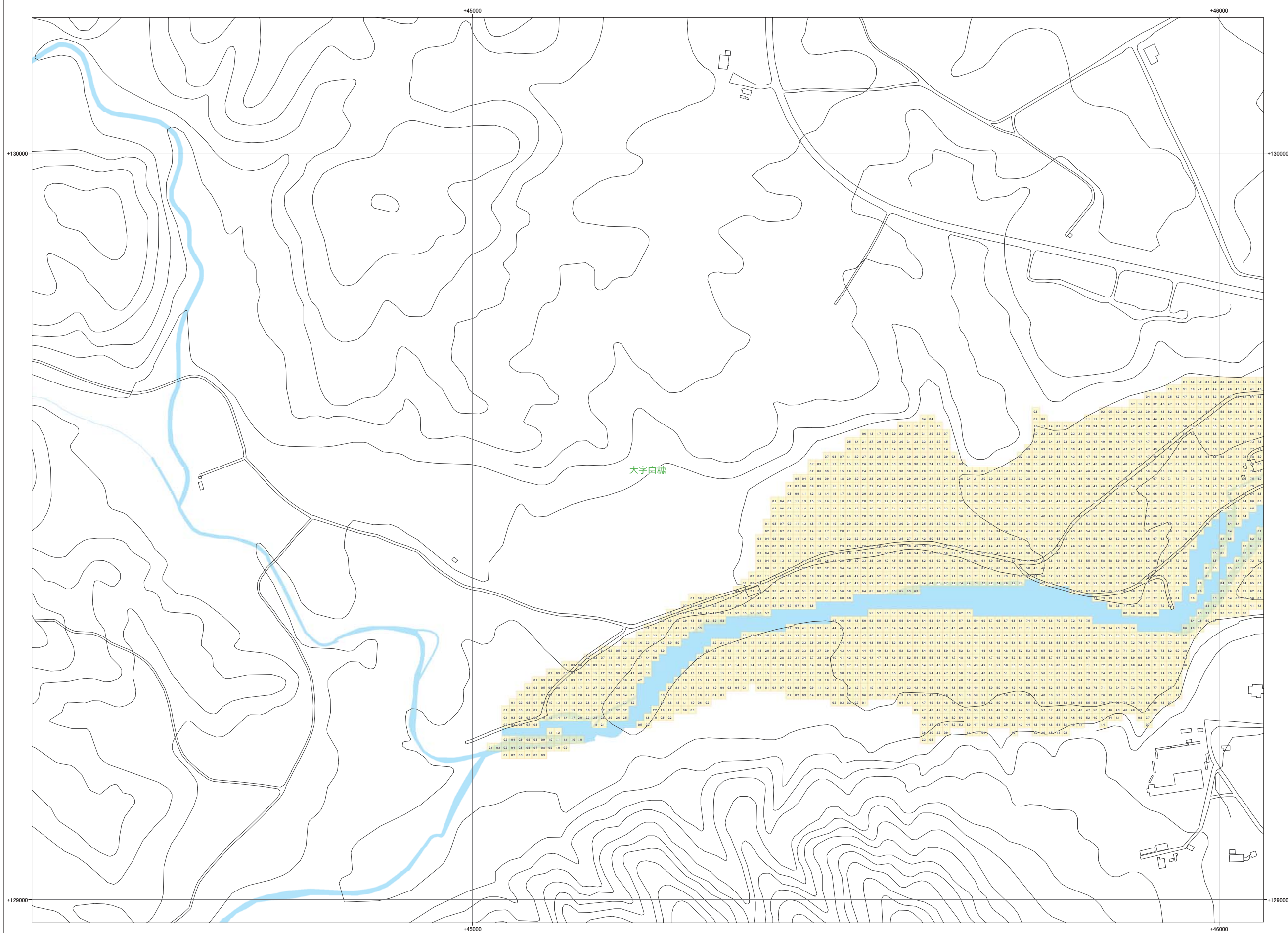
	東通村	48 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）





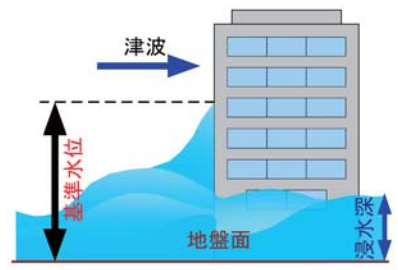
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

#### 【背景地図】

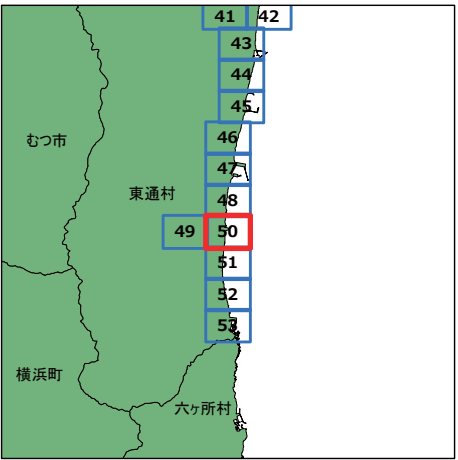
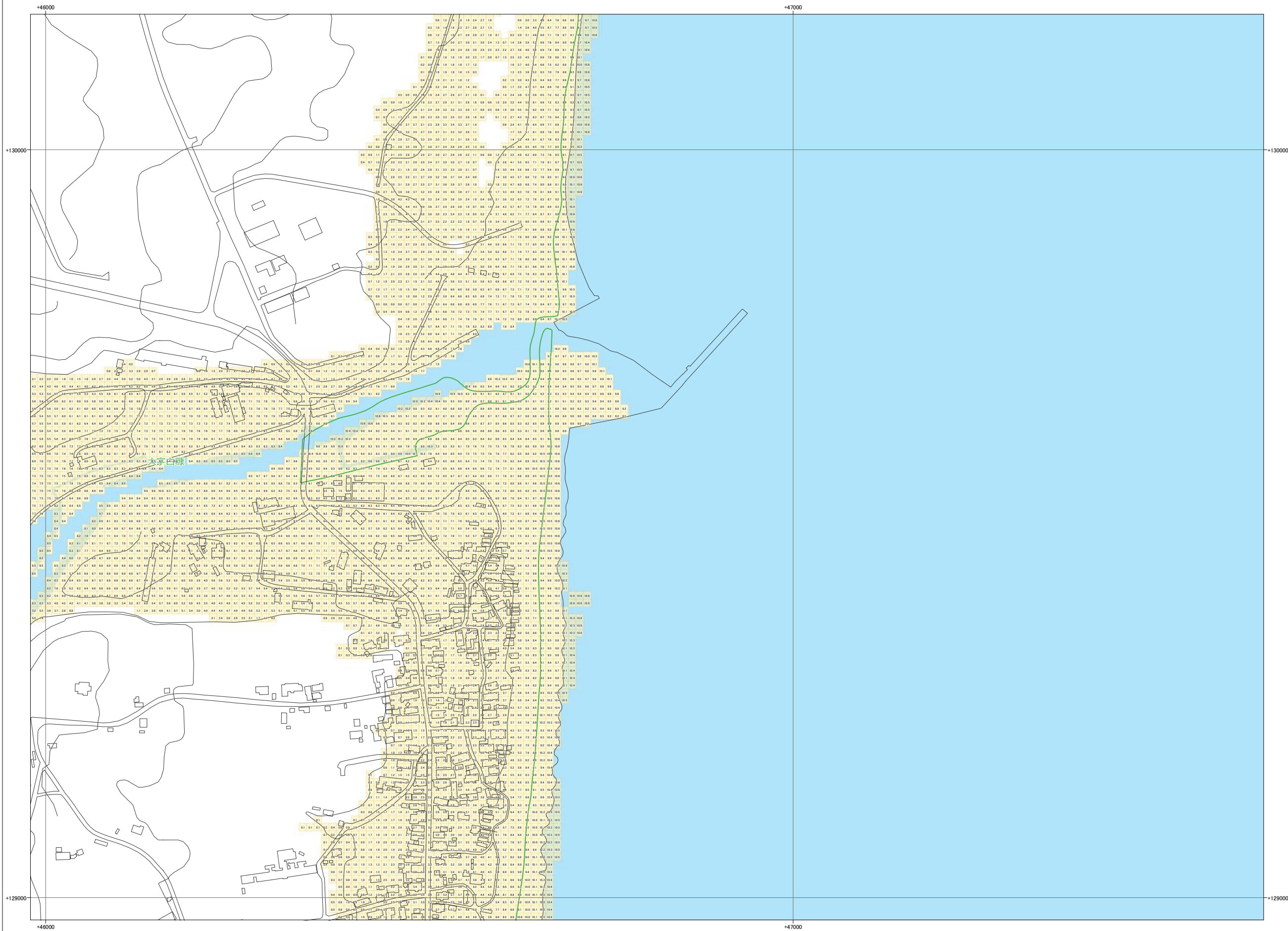
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jhs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	49 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





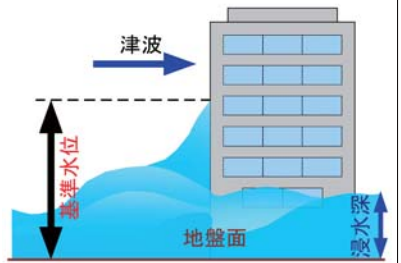
<留意事項>

【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】

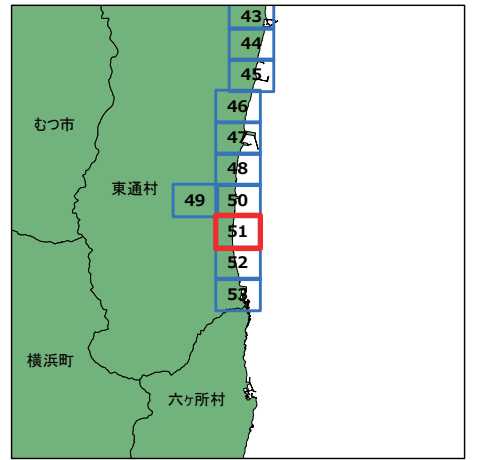
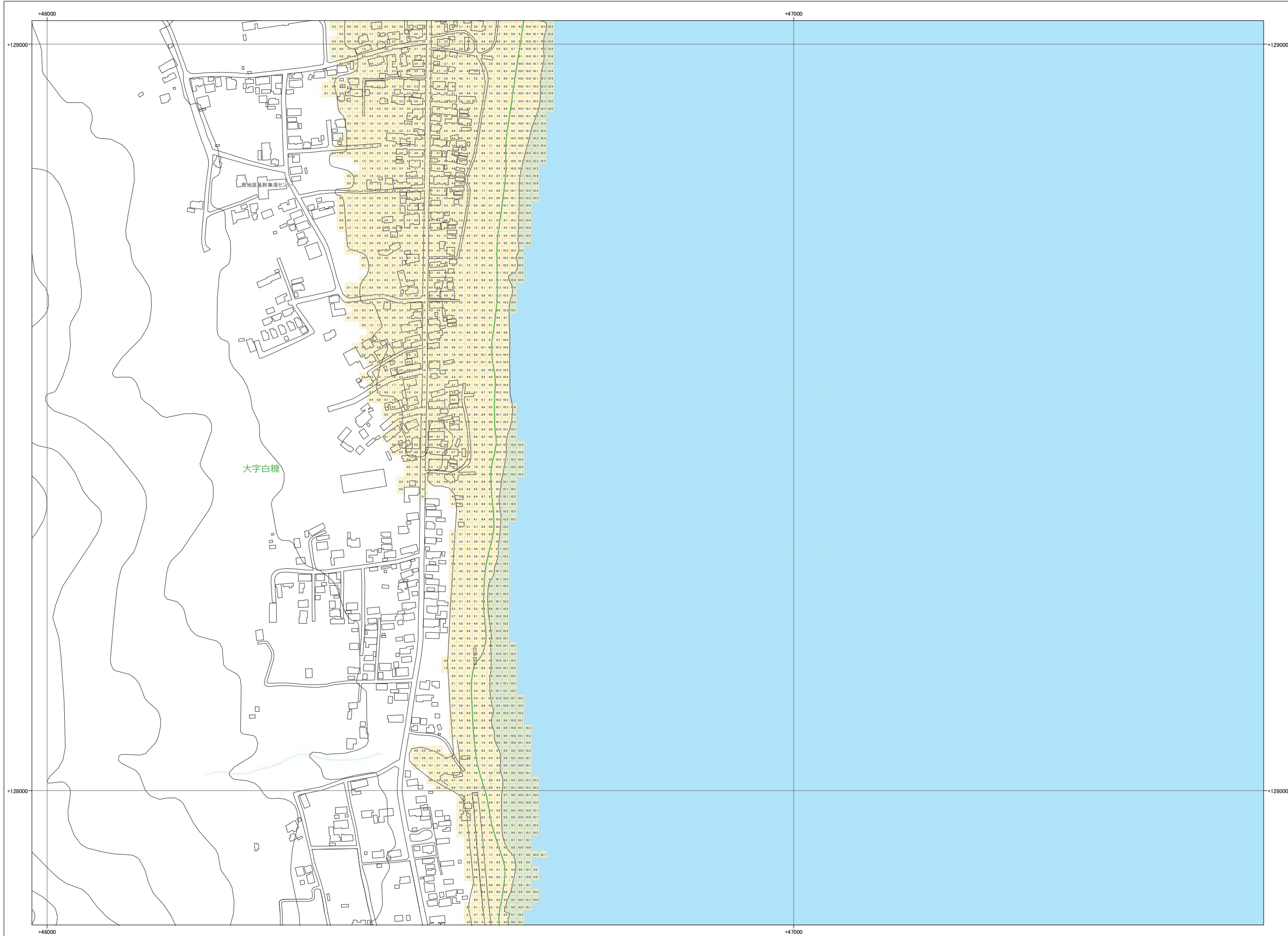
- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
- 【背景地図】
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

	東通村	50 / 55	町丁・字等境界	
縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





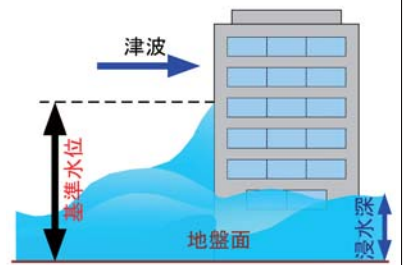
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

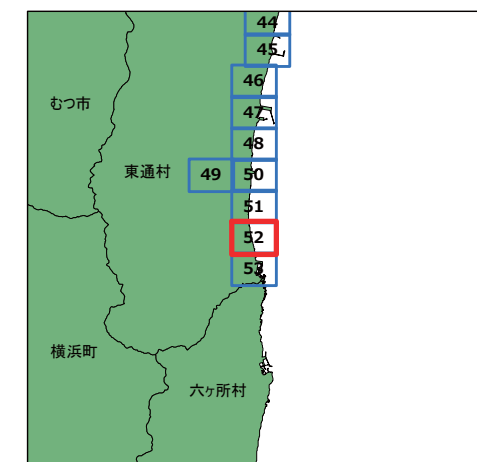
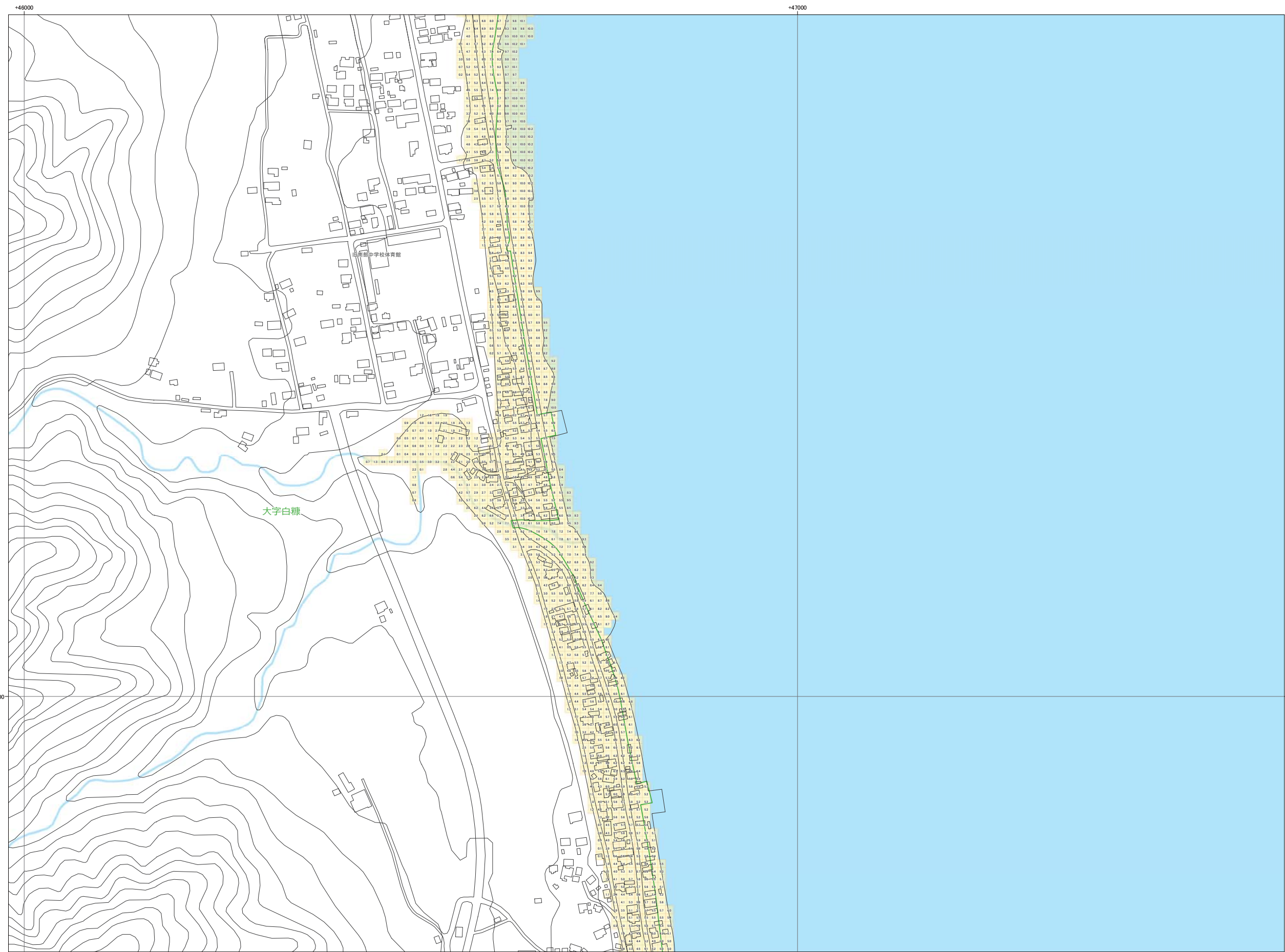
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

	東通村	51 / 55	町丁・字等境界	
	縮尺 1:2,500	津波災害警戒区域 (基準水位)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基準水位 (単位：メートル)</div> <small>※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。</small>	市町村界



**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



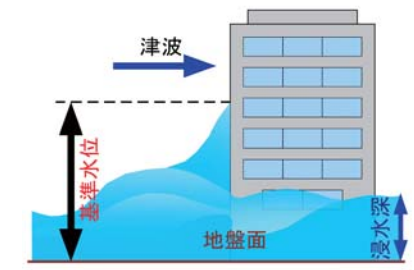
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

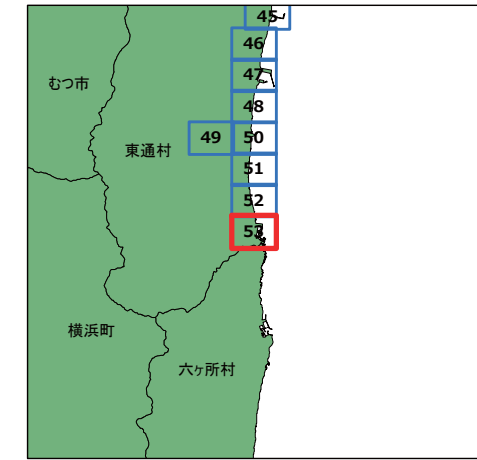
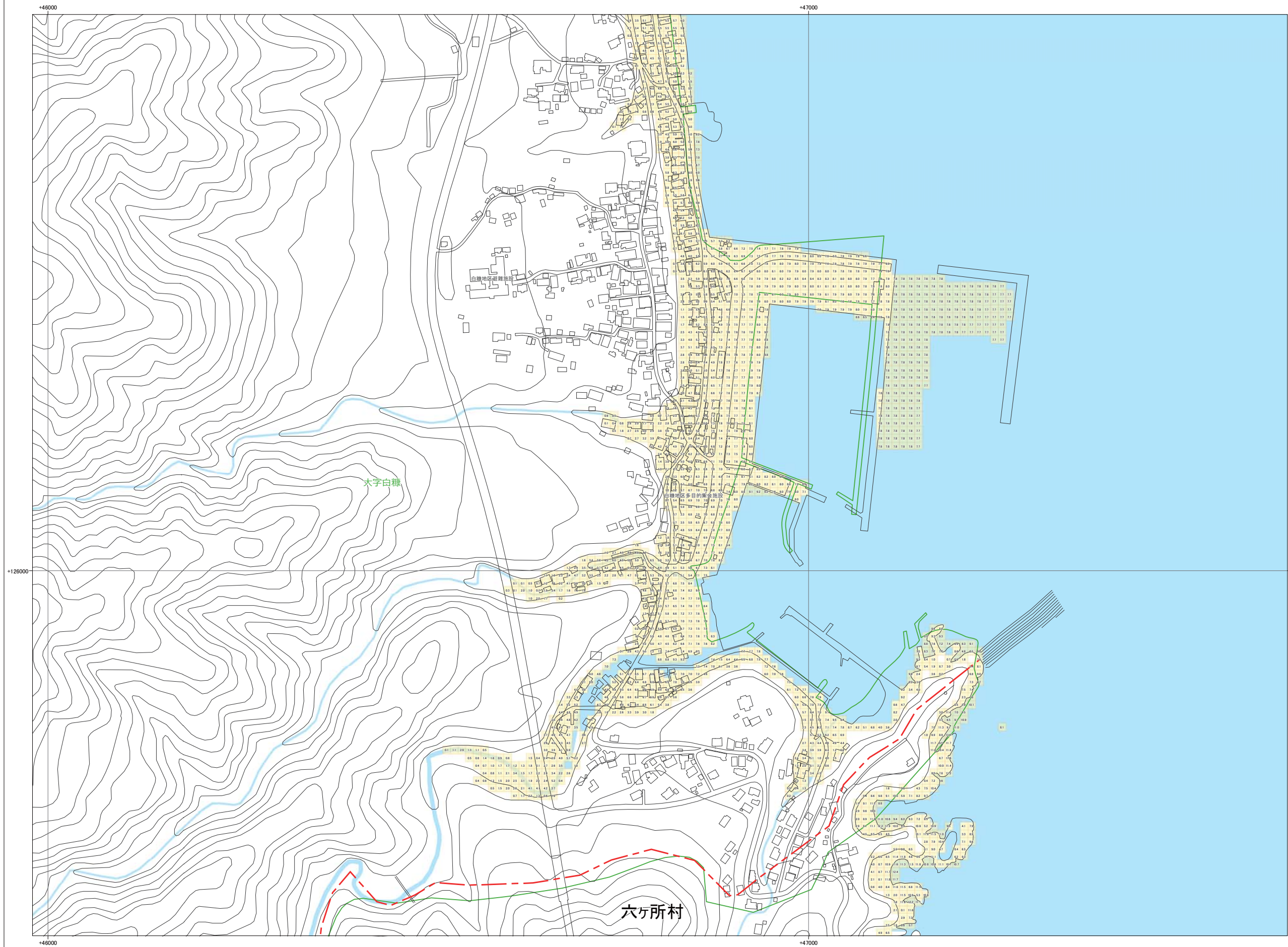
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	52 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



**出 典 等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）



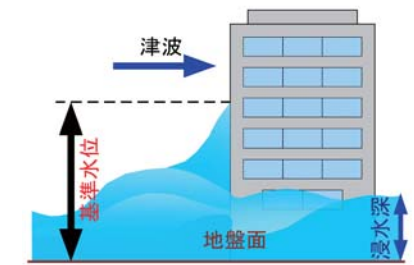
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

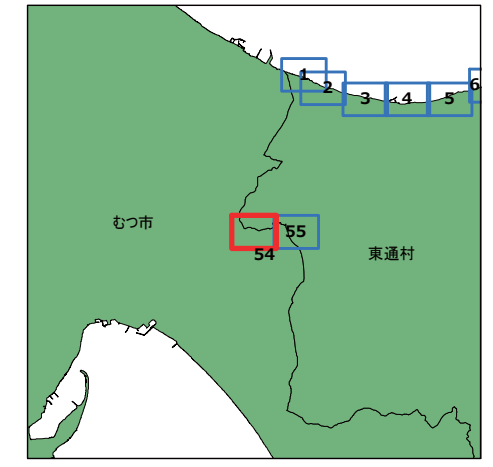
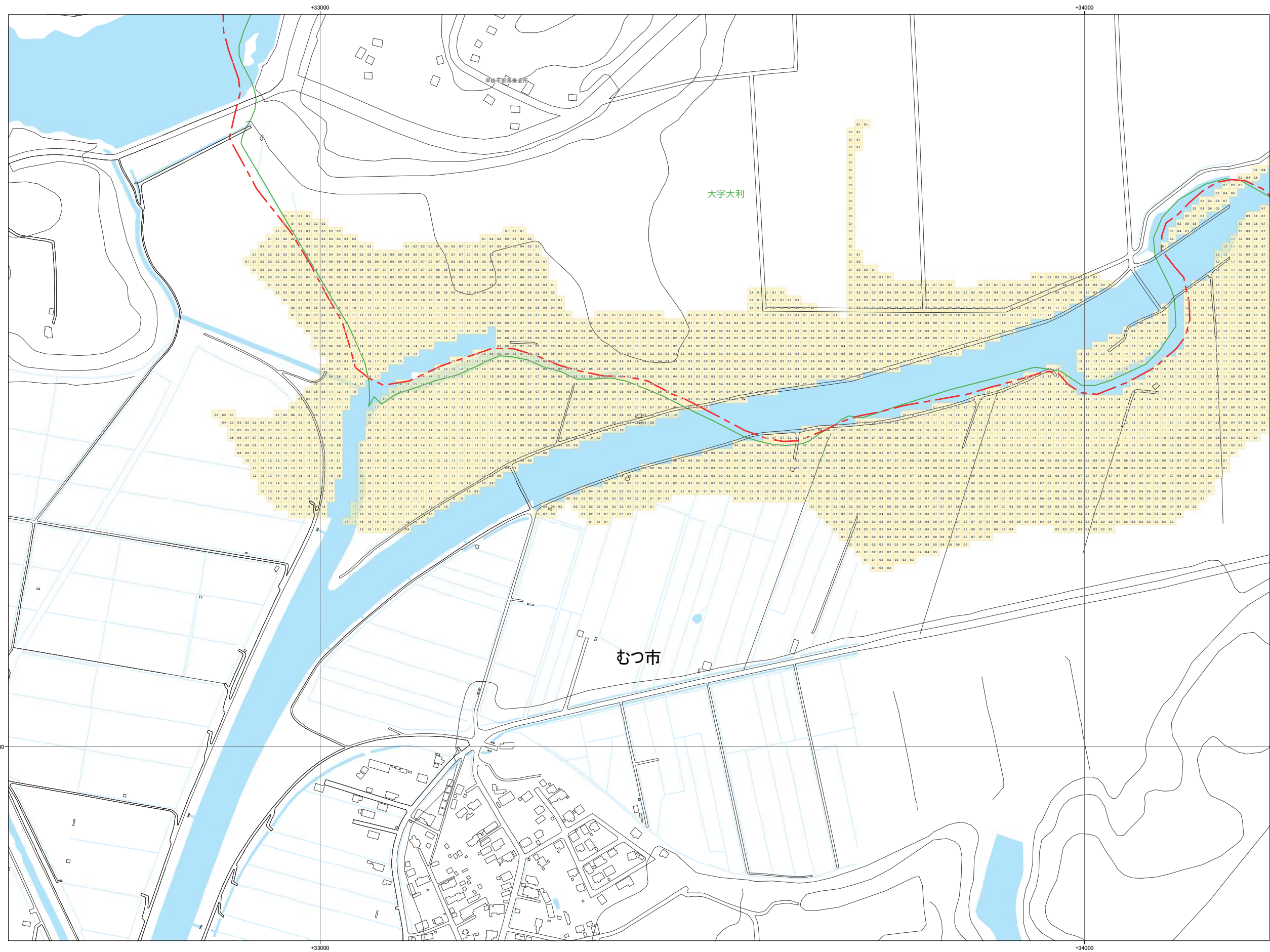
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

**出典等**

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	53 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





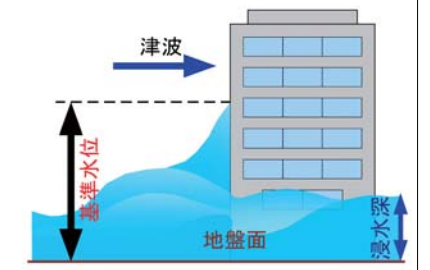
### <留意事項>

#### 【津波災害警戒区域】

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

#### 【基準水位】

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



#### 【地形（標高）データ】

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

#### 【背景地図】

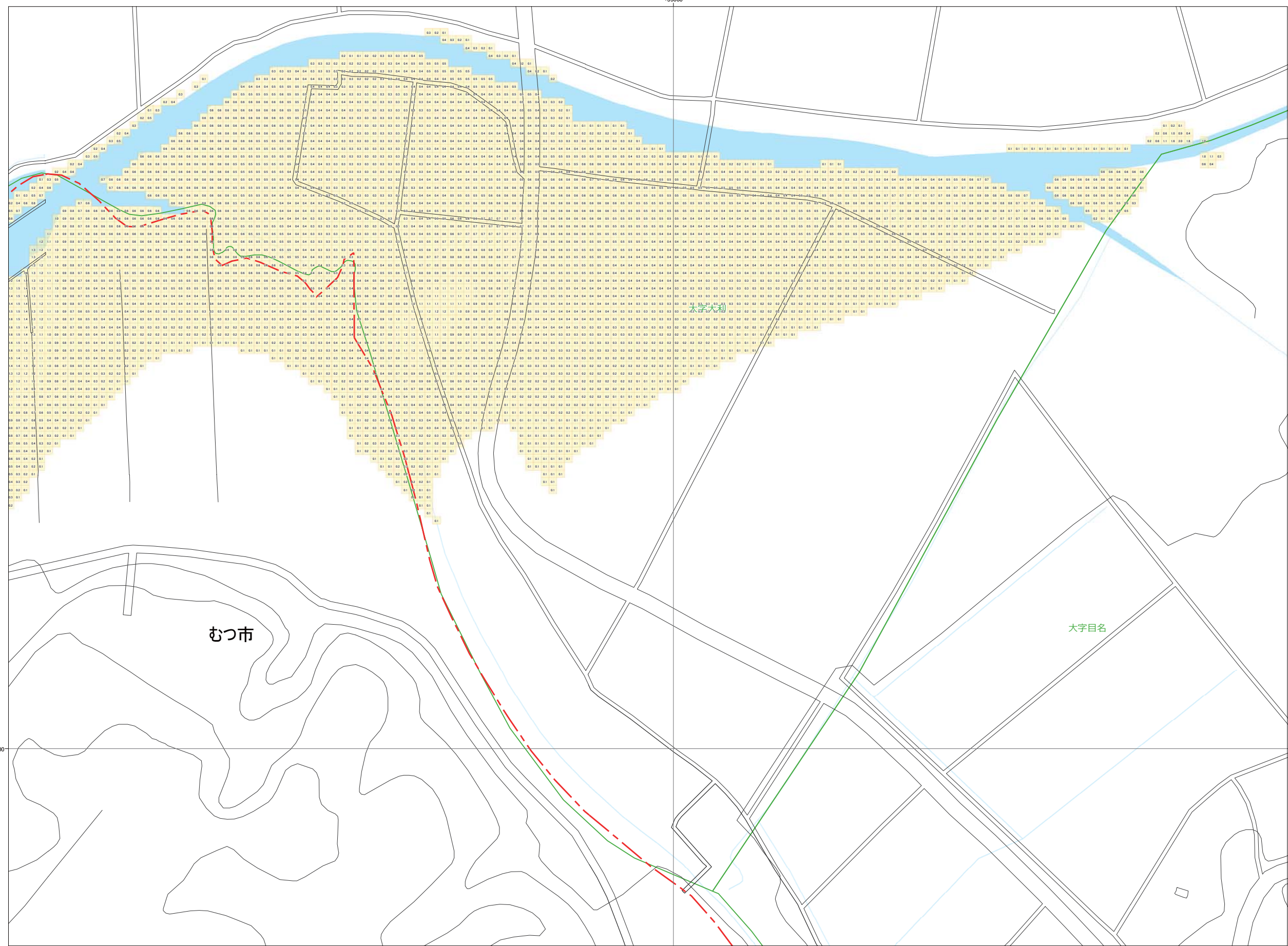
- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

### 出典等

町丁・字等境界：平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ  
 背景地図：基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」  
 施設名称：東通村指定緊急避難場所  
 図枠外の座標値：世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）

縮尺 1:2,500	東通村	54 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	





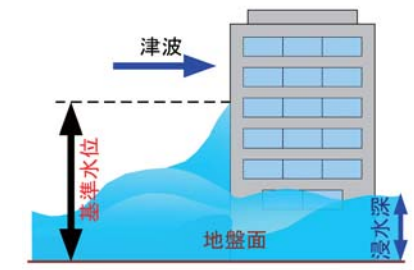
**<留意事項>**

**【津波災害警戒区域】**

- 「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律123号（以下「法」という））第53条第1項に基づく区域です。
- 「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

**【基準水位】**

- 「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
- 「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



**【地形（標高）データ】**

- 基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、収集した測量データおよび令和元年度末時点で完成している構造物の図面等を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。

**【背景地図】**

- 「背景地図」は、令和3年度時点で公表されている、国土地理院の基盤地図情報により作成されており、道路や建物等が現況と異なっている場合があります。

縮尺 1:2,500	東通村	55 / 55	町丁・字等境界	
	津波災害警戒区域 (基準水位)	基準水位 (単位：メートル) ※基準水位の記載が無い区域は、 付近の基準水位を参考とすること。	市町村界	



出典等	
町丁・字等境界	平成27年度国勢調査 町丁・字等境界データ
背景地図	基盤地図情報「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 558」
施設名称	東通村指定緊急避難場所
図枠外の座標値	世界測地系2011 平面直角座標系第X系（単位：メートル）